Ver. 2.0

ロンシール
シート防水システム
防水仕様書

JIS A 6008　合成高分子系ルーフィングシート

複合シート 一般複合タイプ 塩化ビニル樹脂系

ニューベストプルーフ

ベストプルーフ

ベストプルーフシャネツ

ロンプルーフエース

ロンプルーフエースリーガン

ロンプルーフシャネツ

国土交通省　公共建築工事標準仕様書

合成高分子系ルーフィングシート防水

塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート

S-F2（接着工法）

S-M2（機械的固定工法）

および断熱工法

ロンプルーフ防水事業協同組合

ロンシール工業株式会社

防水仕様書の改訂ならびに新制定の主旨と経緯について

日本で初めてシート防水を手がけて以来、50 年、総施工面積 7,000 万㎡以上にわたる実績を積み上げてきたロンシールの歩みは、シート防水の歴史であり進化の過程です。また、メーカー・組合員と連署で防水保証を行なう協同組合も 2004 年 4 月に東西合併し、「ロンプルーフ防水事業協同組合」として新生いたしました。

さて、防水技術の要である「仕様書」は、1969 年の「ロンプルーフ防水仕様書」発行以来、防水シート・副資材および工法の開発・改良にあわせて制改定を繰り返してまいりました。

この度、従来 2 本立てであった「ベストプルーフ防水仕様書」と「ロンプルーフエース防水仕様書」を断熱工法、US 工法、UD 工法を取り入れ整備し新たに「ロンシール　シート防水システム防水仕様書」として制定いたしました。

本仕様書が設計者によって適切に運用され、より良い建築防水に貢献することを願います。

2009 年 1 月

ロンプルーフ防水事業協同組合

技術委員会

― 目次 ―

項目		ページ
1. 総則		2
2. 適用範囲		2
3. ロンシールの塩ビシート防水材の特長		2
4. 工法の種類		3
5. 材料	5-1. 主材	5
	5-2. 副資材	10
6. 計画		39
7. 施工		40
8. 責任施工		61
9. 維持管理		62
10. 施工上の注意点		63
11. 保管・運搬上の注意点		64
12. 防水工事チェック表		64
13. 標準施工図		71

（付属資料）

改訂履歴	付属 1

1. 総則

本仕様は、ロンシールの塩化ビニル樹脂系シート防水材をより完全に施工するにあたって、傘下組合員に必要な基本を明確にし、需要家ならびに工事関係者の協力により、適切な施工を期する事を目的とする。

2. 適用範囲

露出防水として、建物の屋根・ベランダ・ひさし、またはこれに準ずる部位に塩ビシート防水材を用い、防水施工をする場合に用いる。
（なお、副資材の改良等により仕様の改善をすることがある。）

3. ロンシールの塩ビシート防水材の特長

耐候性	オゾン劣化に強く、紫外線、輻射熱による材質の変化が非常に少ない塩化ビニルを使用している。さらに耐寒性、耐薬品性、電気絶縁性にも優れた防水シートである。
寸法安定性	特殊処理した低モジュラスのガラス不織布、物理強度の高いガラスクロスを中間に積層、耐収縮性を追及した構造が、良好な寸法安定性を発揮する。
耐亀裂性	接着工法の場合の平場には、片面塗布タイプの弾性エキポシ系接着剤を使用する事で、柔軟性のある接着皮膜を形成、下地の亀裂挙動に対し緩衝効果を示す。 機械的固定工法においては、接着剤を用いず防水シートを躯体に留め付けるため、下地のムーブメントを受けにくい工法である。
水密性	熱風融着、溶剤溶着によりシート同士を一体とできることから、作業性の向上と仕上がりの均一性が期待でき、高い水密性を確保した工法である。
カラフルな屋根	シート自体を着色していることから、カラフルな美しい屋根、屋上、ベランダとすることができる。
メンテナンス性	露出防水工法のため、キズ等を発見しやすく補修も容易にできる。
耐鳥害性	カラスなどの、鳥のついばみに対して抵抗性がある。
経済性	耐久性、作業性、イニシャルコストを総合しても経済的な露出防水である。
副資材	防水のポイントとなる雨仕舞を完全にするため、専用副資材を備えており、品質のチェック、維持に努めている。
多様な工法	一般的な接着工法、下地処理が軽減できる機械的固定工法、省エネ効果の外断熱工法など多様化する建築物にも対応できる数々の工法が可能である。
施工体制	防水工事の重要性を考慮して、事業協同組合を結成し、全国各地に信頼できる施工店を配置、施工技術・施工品質の向上とアフターサービスに努めている。

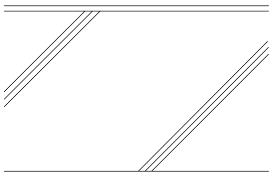
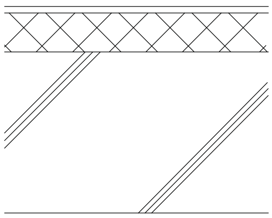
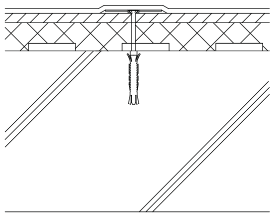
4.　工法の種類

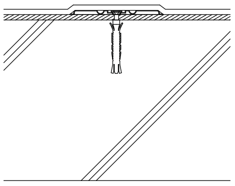
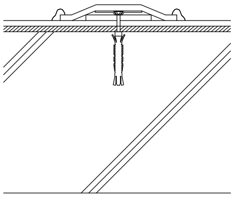
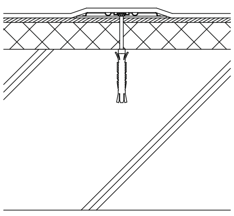
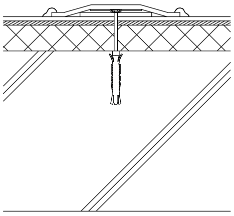
仕様記号の説明

LA - 2 1 0 UD

ルーフィングの種類	工法	機能	断熱材の種類	機械的固定工法の種別
NBP:ニューベストプルーフ BP:ベストプルーフ BSN:ベストプルーフシャネツ LA:ロンプルーフエース LSN:ロンプルーフシャネツ	1:露出接着 2:露出機械的固定	1:非断熱 2:断熱	0:非断熱 3:LP フォーム （架橋ポリエチレン） 4:YB ボード （ビーズ法ポリスチレン） 5:ポリスチレンフォーム （押出法ポリスチレン） 7:ベストボード IN （イソシアヌレート）	UD:UD 工法 （先付け工法） US:US 工法 （後付け工法） ※機械的固定工法の場合のみ表示

仕様の概要

国土交通省 標準仕様書*[1]	S-F2	SF-2 相当（特記仕様）	SF-2 相当（特記仕様）
日本建築学会 JASS 8*[2]	S-PF	S-PFT	S-PF（特記仕様）
仕様番号	110	123	124・125・127
防水シートの種類	ニューベストプルーフ・ベストプルーフ・ベストプルーフシャネツ・ロンプルーフエース・ロンプルーフシャネツ		
工法	全面接着		
	一般	断熱（外断熱）	
防水層の構成			
工程	①　プライマー（ALC） ②　接着剤 ③　防水シート	①　プライマー（ALC） ②　接着剤 ③　断熱材 ④　接着剤 ⑤　防水シート	①　断熱材 ②　OL パネル ③　固定金具 （エポキシ注入） ④　接着剤 ⑤　防水シート
工法の概要	下地に接着剤を用い防水シートを張り付ける最も一般的な工法。露出で歩行可能な唯一のシート防水工法を含む広い範囲の部位に適用できる。	下地に断熱材を張り、その面に防水シートを接着する断熱工法。外気温から躯体を保護し、下地の挙動を緩衝する。非歩行の部位に適用する。	断熱材と無機質強化板を機械的に固定し、堅固な下地を作り、防水シートを接着する歩行用断熱工法。

<table>
<tr><td>国土交通省
標準仕様書*1</td><td colspan="2">S-M2</td><td colspan="2">S-M2 相当（特記仕様）</td></tr>
<tr><td>日本建築学会
JASS 8*2</td><td colspan="2">S-PM</td><td colspan="2">S-PMT</td></tr>
<tr><td>仕様番号</td><td>210UD</td><td>210US</td><td>224･225･227UD</td><td>224･225･227US</td></tr>
<tr><td>防水シートの
種類</td><td colspan="4">ニューベストプルーフ・ベストプルーフ・ベストプルーフシャネツ・
ロンプルーフエース・ロンプルーフシャネツ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">工法</td><td colspan="4">機械的固定（絶縁）</td></tr>
<tr><td colspan="2">一般</td><td colspan="2">断熱（外断熱）</td></tr>
<tr><td>防水層の
構成</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>工程</td><td>① 絶縁用シート
② 固定金具
（エポキシ注入）
③ 防水シート</td><td>① 絶縁用シート
② 防水シート
③ 固定金具
（エポキシ注入）
④ 補強用セット</td><td>① 断熱材
② 絶縁用シート
(224･225 仕様のみ)
③ 固定金具
（エポキシ注入）
④ 防水シート</td><td>① 断熱材
② 絶縁用シート
(224･225 仕様のみ)
③ 防水シート
④ 固定金具
（エポキシ注入）
⑤ 補強用セット</td></tr>
<tr><td>工法の概要</td><td colspan="2">接着剤を用いず、防水シートを固定金具で機械的に固定する絶縁工法。施工時の気象条件や下地の影響を受けにくく、ふくれの発生がない。</td><td colspan="2">接着剤を用いず、断熱材と防水シートを機械的に固定する絶縁工法。施工時の気象条件や下地の影響を受けにくく、ふくれの発生がない。</td></tr>
</table>

*1 国土交通省　標準仕様書　：　国土交通省　公共建築工事標準仕様書　（平成 19 年度版）
*2 日本建築学会　JASS 8　：　日本建築学会　建築工事標準仕様書　JASS 8 防水工事

5.　材料

5-1.　主材

JIS　A　6008　合成高分子系ルーフィングシート

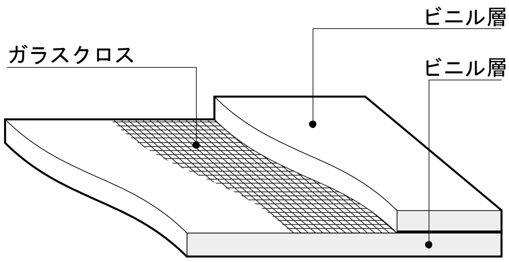
（複合シート・一般複合タイプ・塩化ビニル樹脂系（一般複合塩ビ））

認証機関　JICQA　認証番号　QA0307073

(1)　ニューベストプルーフ

ニューベストプルーフは、ガラスクロスに塩ビ層を積層した構造で、寸法安定性にすぐれ、接着工法、機械的固定工法など（いずれも非歩行用途）に適用する。立上り面にも使用する。幅広品（1,800mm）は、漏水の原因となりやすい接合部を低減できる。

●構造



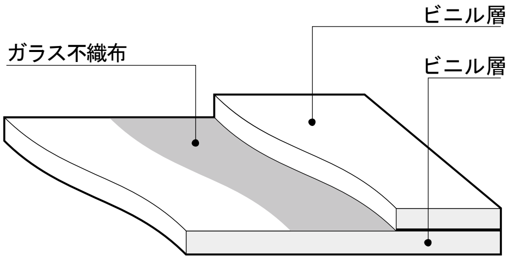
●規格

厚さ	1.5mm	
幅	1,200mm	
	1,800mm:NBP-51,NBP-54 のみ	
長さ	10m(巻)	
重量	2.0kg/m²	
色数	5 色	NBP-51：ホワイトグレー NBP-52：ブラウン NBP-53：グリーン NBP-54：グレー NBP-56：ライトグリーン

(2)　ベストプルーフ

ベストプルーフは、ガラス不織布に塩ビ層を積層した構造で、寸法安定性にすぐれ、接着工法、機械的固定工法など（いずれも非歩行用途）に適用する。立上り面には立上り用シートを使用する。

●構造



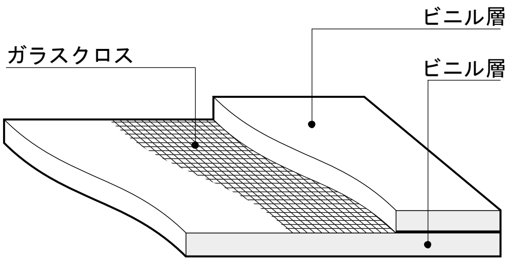
●規格

厚さ	1.5mm	
幅	1,230mm	
長さ	10m ,20m(巻)	
重量	1.9kg/m²	
色数	5 色	P-51：ホワイトグレー P-52：ブラウン P-53：グリーン P-54：グレー P-56：ライトグリーン

(3)　ベストプルーフ立上り用シート

ガラスクロスにベストプルーフと同じ塩ビ層を積層した構造で、寸法安定性にすぐれる。
ベストプルーフの立上り面に使用する。

●構造



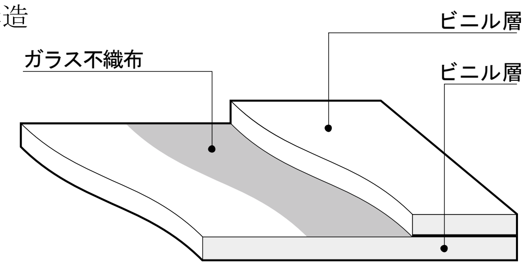
●規格

厚　　　　さ	1.5mm
幅	1,830mm
長　　　　さ	10m(巻)
重　　　　量	1.9kg/m^2
色　　　　数	5 色　P-51：ホワイトグレー P-52：ブラウン P-53：グリーン P-54：グレー P-56：ライトグリーン

(4)　ベストプルーフシャネツ

ベストプルーフに遮熱性能を付与することで、ベストプルーフの基本性能はそのままで、防水面を高日射反射率にすることができる。また、遮熱性能の付与により高耐久を実現した。
立上り面には、ベストプルーフシャネツ立上り用シートを使用する。

●構造



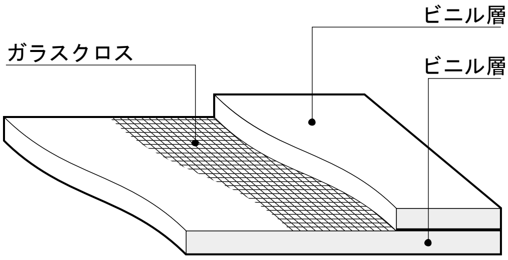
●規格

厚　　　　さ	1.5mm
幅	1,230mm
長　　　　さ	20m(巻)
重　　　　量	1.9kg/m^2
色　　　　数	2 色　BSN-51：ホワイトグレー BSN-54：グレー

(5)　ベストプルーフシャネツ立上り用シート

ガラスクロスにベストプルーフシャネツと同じ塩ビ層を積層した構造で、立上り面を高日射反射率にすることができ、寸法安定性にすぐれる。
ベストプルーフシャネツの立上り面に使用する。

●構造



●規格

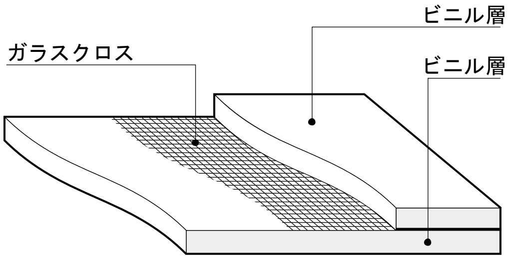
厚　　　　さ	1.5mm
幅	1,830mm
長　　　　さ	10m(巻)
重　　　　量	1.9kg/m^2
色　　　　数	2 色　BSNT-51：ホワイトグレー BSNT-54：グレー

(6)　ロンプルーフエース

ガラスクロスに塩ビ層を積層した構造で、寸法安定性にすぐれ、歩行用途にも適用できます。

幅広品（1,800mm）は、漏水の原因となりやすい接合部を低減できる。

●構造



●規格

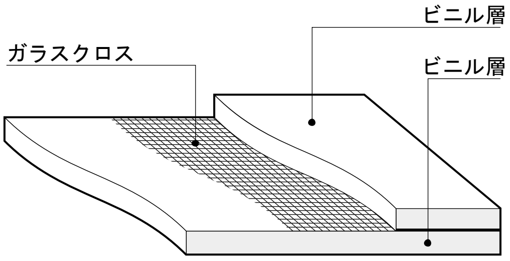
厚　　さ	2.0mm (2.5mm：受注生産品)
幅	1,200mm 1,800mm：PA-51,PA-54 のみ
長　　さ	10m(巻)
重　　量	2.9kg/m² （3.6kg/m²）
色　　数	5 色　PA-31：ホワイトグレー PA-32：ブラウン PA-33：グリーン PA-34：グレー PA-36：ライトグリーン

ロンプルーフエースリーガン

ガラスクロスに塩ビ層を積層し、表面に意匠性と軽防滑性のために絞を付与した構造。寸法安定性・耐衝撃性にすぐれ、歩行用途にも適用できる。

※絞有り部の接合は熱融着とする。

●構造



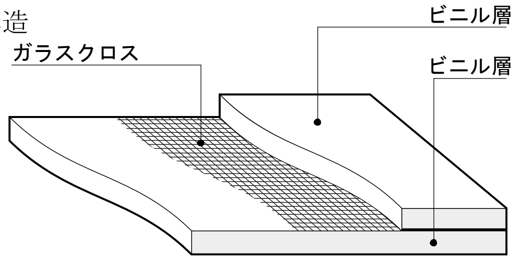
●規格

厚　　さ	2.0mm
幅	1,200mm
長　　さ	10m(巻)
重　　量	2.9kg/m²
色　　数	5 色　PA-31R：ホワイトグレー PA-32R：ブラウン PA-33R：グリーン PA-34R：グレー PA-36R：ライトグリーン

(7)　ロンプルーフシャネツ

ロンプルーフに遮熱性能を付与することで、ロンプルーフの基本性能はそのままで、防水面を高日射反射率にすることができる。また、遮熱性能の付与により高耐久を実現した。

●構造



●規格

厚　　さ	2.0mm
幅	1,200mm
長　　さ	10m(巻)
重　　量	2.9kg/m²
色　　数	2 色　LSN-51：ホワイトグレー LSN-54：グレー

物性データ

			ニューベストプルーフ		ベストプルーフ		ベストプルーフ立上り用		JIS A 6008 一般複合タイプ規格値
			長手方向	幅方向	長手方向	幅方向	長手方向	幅方向	
引張性能	引張強さ (N/cm)		186	148	200	210	166	188	100 以上
	伸び率 (%)		330	253	272	298	266	310	150 以上
引裂性能	引裂強さ (N)		76	73	84	90	80	93	50 以上
温度依存性	試験温度 60℃ (N/cm)		89	70	114	120	89	104	40 以上
	試験温度 -20℃(%)		61	35	66	64	55	52	10 以上
加熱伸縮性状 (mm)			-0.19	-0.15	-0.02	0.05	0.19	0.11	伸び 2 以下、 縮み 4 以下
劣化処理後の引張性能	引張強さ比 (%)	加熱処理	99	100	99	98	100	97	80 以上
		促進曝露処理	99	103	106	103	98	95	80 以上
		アルカリ処理	98	102	99	101	100	97	80 以上
	伸び率比 (%)	加熱処理	99	98	100	94	118	89	70 以上
		促進曝露処理	95	91	107	98	100	95	80 以上
		アルカリ処理	93	98	99	99	97	98	80 以上
伸び時の劣化性状		加熱処理	合格	合格	合格	合格	合格	合格	いずれの試験片にも、ひび割れがないこと
		促進曝露処理	合格	合格	合格	合格	合格	合格	
		オゾン処理	合格	合格	合格	合格	合格	合格	
接合性状		加熱処理	合格		合格		合格		基準線からのずれ及びはく離の長さが 5mm 以下で、かつ有害なずれなど異常箇所のないこと
		促進曝露処理	合格		合格		合格		
		アルカリ処理	合格		合格		合格		

			ベストプルーフシャネツ		ベストプルーフシャネツ立上り用		JIS A 6008 一般複合タイプ規格値
			長手方向	幅方向	長手方向	幅方向	
引張性能	引張強さ (N/cm)		196	182	188	166	100 以上
	伸び率 (%)		330	305	283	195	150 以上
引裂性能	引裂強さ (N)		90	87	85	76	50 以上
温度依存性	試験温度 60℃ (N/cm)		112	102	104	156	40 以上
	試験温度 -20℃(%)		79	62	85	55	10 以上
加熱伸縮性状 (mm)			-0.02	0.08	0.10	-0.10	伸び 2 以下、 縮み 4 以下
劣化処理後の引張性能	引張強さ比 (%)	加熱処理	98	99	95	95	80 以上
		促進曝露処理	103	104	104	97	80 以上
		アルカリ処理	97	99	99	98	80 以上
	伸び率比 (%)	加熱処理	98	97	99	112	70 以上
		促進曝露処理	98	95	101	115	80 以上
		アルカリ処理	93	92	98	110	80 以上
伸び時の劣化性状		加熱処理	合格	合格	合格	合格	いずれの試験片にも、ひび割れがないこと
		促進曝露処理	合格	合格	合格	合格	
		オゾン処理	合格	合格	合格	合格	

※ 上記の物性試験は、JIS A 6008 一般複合タイプ塩化ビニル樹脂系に準拠しておこなったもので、規格値をクリアーしています。

※ データは、試験値であり保証値ではありません。

			ロンプルーフエース		ロンプルーフエース リーガン		ロンプルーフ シャネツ		JIS A 6008 一般複合タイプ 規格値
			長手方向	幅方向	長手方向	幅方向	長手方向	幅方向	
引張性能	引張強さ (N/cm)		186	160	250	217	198	172	100 以上
	伸び率 (%)		200	160	290	247	280	215	150 以上
引裂性能	引裂強さ (N)		104	92	194	183	92	85	50 以上
温度依存性	試験温度 60℃ (N/cm)		116	112	126	168	100	87	40 以上
	試験温度 -20℃(%)		42	28	76	52	50	44	10 以上
加熱伸縮性状 (mm)			-0.09	-0.15	-0.50	1.40	0.24	0.26	伸び 2 以下、縮み 4 以下
劣化処理後の引張性能	引張強さ比 (%)	加熱処理	102	104	102	101	97	101	80 以上
		促進曝露処理	99	105	96	107	102	103	80 以上
		アルカリ処理	100	104	99	100	100	101	80 以上
	伸び率比 (%)	加熱処理	96	99	101	98	94	104	70 以上
		促進曝露処理	92	92	96	101	98	96	80 以上
		アルカリ処理	101	99	99	95	95	101	80 以上
伸び時の劣化性状		加熱処理	合格	合格	合格	合格	合格	合格	いずれの試験片にも、ひび割れがないこと
		促進曝露処理	合格	合格	合格	合格	合格	合格	
		オゾン処理	合格	合格	合格	合格	合格	合格	
接合性状		加熱処理	合格		合格		合格		基準線からのずれ及びはく離の長さが5mm 以下で、かつ有害なずれなど異常箇所のないこと
		促進曝露処理	合格		合格		合格		
		アルカリ処理	合格		合格		合格		

※ 上記の物性試験は、JIS A 6008 一般複合タイプ塩化ビニル樹脂系に準拠しておこなったもので、規格値をクリアーしています。

※ データは、試験値であり保証値ではありません。

5-2. 副資材

＜一覧＞

種類	品名
(1) 下地調整剤	ロンバインダー・スピリットモルタル・ウレタンプラサフ
(2) 接着剤	プルーフセメント A・プルーフセメント NR・ロンタックセメント
(3) 絶縁緩衝用シート	ラジアルシート L600・ラジアルシート A
(4) 防湿フィルム	防湿フィルム
(5) 目地処理材	P テープ・ロンテープ M・ジョイントテープ・バックアップ材
(6) 断熱材	LP フォーム・YB ボード L-30・ポリスチレンフォーム・ ベストボード IN
(7) 無機質強化板	OL パネル
(8) 溶着剤	プルーフソルベント
(9) 固定金具	BP 鋼板・UD 鋼板・BS 鋼板・断熱ファスナー
(10) 緩衝用パッチ	UD 緩衝用パッチ
(11) 溶接材	プルーフシーラー
(12) シーリング材	ロンシーラント L・ロンシーラント S・ロンシーラント S 専用プライマー・ ロンシーラント TB・ロンシーラント MB
(13) 押え金物	プルーフアングル
(14) 水切り金物	ロンフラッシング F-1
(15) プラグ・ビス	プラグ・ビス
(16) エポキシ注入剤	EL-2001
(17) 成形役物	プルーフコーナーN・US コーナー
(18) 補強用シート	補強用セット
(19) ドレイン	鋳物製 シート防水専用推奨品・積雪寒冷地用ステンレス製シート防水専 用推奨品・アルミダイキャスト製シート防水専用推奨品
(20) アルミ笠木	ニューロンコープ
(21) 脱気装置	脱気盤 30L ・ステンレスベントロン・ベントロン VS-1・ コーティングベントロン・脱気盤 V・ロンテープ T・脱気セット
(22) 保護塗料	シャネツコート・ウェザーコート
(23) 化粧材	ロンライン
(24) 保護材	ロンルーフマット・ロンチップタイル

(1)　下地調整剤

ロンバインダー

JAIA F☆☆☆☆、JAIA 4VOC 基準適合

エマルションタイプのプライマーで、ＡＬＣパネルおよび接着の阻害される恐れのあるコンクリート下地に用い、接着力を向上させます。

付着注意

●性状

主　　成　　分	アクリル樹脂系エマルション
外　　　　　観	黄色液状
固　　形　　分	20～24 ％
粘　　　　　度	1～20 mPa･s
標 準 使 用 量	50 g/m^2（原液換算）
荷　　　　　姿	3 kg/缶, 18 kg/缶

※ALC 下地　1：2（水)、RC 下地　1：3（水）

スピリットモルタル

短時間で実用強度に達する超速硬性セメントです。
ドレイン廻り・穴うめ等の不陸調整に用います。

※推奨商品お問い合わせ先：
エレホン・化成工業株式会社
Tel: 097-552-2251
HP: http://www.erewhon.co.jp/

●性状

主　　成　　分	セラミック系ポリマー セメントモルタル
種　　　　　類	Ａ：低温用 Ｂ：常温用
荷　　　　　姿	25 kg/袋

ウレタンプラサフ（溶剤型）

（ウレタンプライマーサーフェイサー４１Ｂ）

金属面の防錆に用います。架橋タイプなので皮膜が強固であり、接着剤とすぐれた接着性を示します。

火気厳禁

有害性

付着注意

※推奨商品お問い合わせ先：
日油商事株式会社　塗料グループ
Tel: 03-5789-8201
HP: http://www.nichiyu-syoji.co.jp/

●性状

主　　成　　分	ポリウレタン
外　　　　　観	グレー（２液混合型）
粘　　　　　度	200～300 mPa･s
標 準 使 用 量	0.15～0.18 kg/m^2
荷　　　　　姿	5 kg/缶, 20 kg/缶

乾　燥　時　間	非触乾燥（20℃）	15 分
	硬化乾燥（20℃）	5 時間
	完全乾燥（20℃）	25 時間
混合後の使用可能時間（20℃）		8 時間

(2) 接着剤

プルーフセメントA

JIS A 5536 F☆☆☆☆

主成分が変性エポキシ樹脂で平場用の接着剤として使用します。

●性状

主　成　分	変性エポキシ樹脂系 第４類第１種石油類 危険等級Ⅱ
外　　観	主　剤：灰色粘稠液 硬化剤：黒色粘稠液
粘　　度	主　剤：6,000～20,000mPa･s 硬化剤：6,000～20,000mPa･s
固　形　分	主　剤：53%以上 硬化剤：55%以上
比　　重	主　剤：1.3 以下 硬化剤：1.3 以下
混合初期粘度	20,000 mPa･s 以下
標準使用量	0.35～0.45kg/m²
荷　　姿	3 kg/缶セット,18 kg/缶セット

プルーフセメントＮＲ

JIS A 5549 F☆☆☆☆、JAIA 4VOC 基準適合

初期粘着力が高く、可塑剤の移行による接着力の低下は少ないです。

耐水性、耐熱性にすぐれた接着剤です。

●性状

主　成　分	ニトリルゴム系 第４類第１種石油類 危険等級Ⅱ
外　　観	淡褐色粘稠液
粘　　度	3,000～6,000 mPa･s
固　形　分	20～30 ％
標準使用量	0.4～0.6 kg/m² (両面)
荷　　姿	3 kg/缶, 15 kg/缶

ロンタックセメント

JIS A 5536 F☆☆☆☆、JAIA 4VOC 基準適合

主成分がアクリル樹脂で絶縁緩衝シートの仮固定に使用します。

●性状

主　成　分	アクリル樹脂系エマルション
外　　観	乳白色粘稠液
粘　　度	4,000～6,000 mPa･s
標準使用量	0.05～0.1 kg/m²
荷　　姿	18 kg/缶

(3)　絶縁緩衝用シート

ラジアルシートL600

発泡ポリエチレンシートにポリエチレンクロスを積層し、物理強度を高めた絶縁材です。
下地・YBボード・ポリスチレンフォームと防水シートとの絶縁、および押えコンクリート打設時の養生に用います。

●性状

厚　　さ	1.0 mm
幅	1,200 mm
長　　さ	100 m

ラジアルシートＡ

発泡ポリエチレンシートにポリエチレンクロスを積層しアルミ箔を複合した絶縁材です。
防水シート施工後、ピンホール検査ができます。
断熱材と防水シートとの絶縁に用います。

●性状

厚　　さ	1.0 mm
幅	1,000 mm
長　　さ	100 m

(4)　防湿フィルム

防湿フィルム

ポリエチレン製の防湿フィルムです。
下地と断熱材を絶縁し寒冷地での内部結露を防ぐために用います。

●性状

厚　　さ	0.1 mm
幅	1,000 mm
長　　さ	50 m

● 寒冷地　Ⅰ～Ⅲ地域（JASS 8 防水仕様に準拠）

地域の区分	都道府県名
Ⅰ	北海道
Ⅱ	青森県、岩手県、秋田県
Ⅲ	宮城県、山形県、栃木県、新潟県、長野県、福島県

(5)　目地処理材

Ｐテープ

ポリエチレンの発泡体で､裏面に粘着加工をしたテープです。機械的固定工法のパラペット・コーナー部等の緩衝用として使用します。

●性状

厚　　さ	2.0 mm
幅	45 mm
長　　さ	25 m
梱包単位	4 巻/ケース

ロンテープM

ポリプロピレン製で裏面に粘着加工をしたテープです。ＡＬＣ・ＯＬパネル等の目地緩衝用として使用します。

●性状

厚さ	0.065 mm
幅	70 mm
長さ	100 m
色	ベージュ
梱包単位	3 巻/ケース

ジョイントテープ

ＬＰフォームの目地処理用テープです。
ポリエステルの不織布に粘着加工してあります。

●性状

厚さ	0.2 mm
幅	50 mm
長さ	50 m
梱包単位	5 巻/ケース

バックアップ材

ポリエチレンの独立発泡体で目地部等の充填に使用します。目地部に充填するシーリング材の量の限定とボンドブレーカー的な役割の２面をもっています。軽量かつ柔軟性に富み、化学的に安定で吸水性や透湿性が殆どありません。

●性状

種類 (直径×長さ)	形状	組成	使用部位	目地幅と丸棒直径対比	
				目地幅(mm)	丸棒の直径(mm)
8 mm×200m	白　色 丸棒状	ポリエチレン (独立発泡体)	目地部	５～７	8
10 mm×250m				７～８	10
11.5 mm×200m				９～11	13
13 mm×150m				９～11	13
15 mm×100m				10～13	15

※推奨商品お問い合わせ先：高島パッケージジャパン　03-3523-2004

(6)　断熱材

LPフォーム（123 仕様用）

吸水性の最も少ない30倍発泡の架橋ポリエチレンフォームで、両面を特殊プライマー処理した被膜強度の強い断熱材です。

ノンフロン製品です。

●性状

材質	架橋ポリエチレンフォーム (A-PE-B-1.1 F☆☆☆☆相当)	
厚さ	10mm	15*･20･25･ 30*･35*･40* mm
幅	1,000mm	1,000mm
長さ	25m	2,000mm
熱伝導率(20℃)	0.038W/m･K	

*受注生産品

YBボード L-30（124・224 仕様用）

両面に通気溝を有し､特に下面は下地との接触面積を30％に押さえ、空気層を持つ構造とし下地からの吸水が少ないです。
脱気装置を併用し、断熱性能を長期に維持します。
ノンフロン製品です。

●性状

材　質	ビーズ法ポリスチレンフォーム 1 号（A-EPS-B-1 F☆☆☆☆）
厚　さ	30mm
幅	910mm
長　さ	910mm
熱伝導率(23℃)	0.036W/m･K

ポリスチレンフォーム（125・225 仕様用）

独立気泡で断熱性能にすぐれ、毛管現象による水分の吸収の少ないポリスチレンフォームです。
ノンフロン製品です。

●性状

種　類	(スキン層あり)	(スキン層なし)
材　質	押出法ポリスチレンフォーム 3 種 b（A-XPS-B-3b F☆☆☆☆）	
厚　さ	25,30,35,40, 50mm	20,25,30,40 50mm
幅	910mm	910mm
長　さ	910mm	1,820mm
熱伝導率(23℃)	0.028W/m･K	

ベストボードIN（127・227 仕様用）

断熱性能にすぐれ､難燃性のあるイソシアヌレートフォームです。
ノンフロン製品です。

●性状

材　質	イソシアヌレートフォーム（A-PUF-B-2.1 F☆☆☆☆）
厚　さ	25,30,35,40,45,50mm
幅	1,000mm
長　さ	1,800mm
熱伝導率(23℃)	0.023W/m･K

※受注生産品

(7) 無機質強化板

OLパネル

サンドアッシュを原料とし、表面層をガラス繊維で積層補強した無機質のパネルで、寸法安定性、耐衝撃性など物理的な安定性にすぐれた不燃材料です。
不燃認定番号　　NM - 9384(7･10mm)

●性状

材　質	ガラス繊維強化無機硬質板
幅	915 mm
長　さ	1,365 mm
厚　さ	10 mm (7mm)*
重　量	13.5 kg/枚
圧 縮 強 度	1048 N/㎠以下
熱伝導率(23℃)	0.23 W/mK

※受注生産品

(8) 溶着剤

プルーフソルベント

塩化ビニルを溶解する有機溶剤で、シート相互の重ね合わせ接合部およびシートと固定金具との溶剤溶着に用います。

●性状

主　成　分	テトラヒドロフラン 第4類第1種石油類 水溶性　危険等級Ⅱ
外　観	無色透明溶剤
標準使用量	10～30 g/m²
荷　姿	3 kg/缶

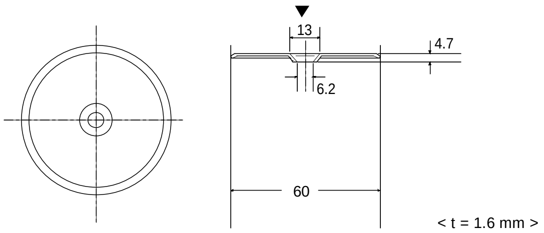
(9) 固定金具

BP鋼板

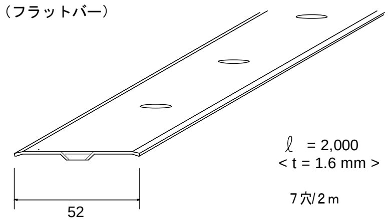
亜鉛メッキ鋼板に塩化ビニル樹脂を積層し、ディスク板、アングル状に加工したものです。
塩化ビニルシートと溶融着ができ、機械的固定工法に用います。

種類	寸法	適用	梱包単位
BP-H1N	厚さ：1.6mm 寸法：60mmφ	平場	100枚/ケース
BP-H2	厚さ：1.6mm 寸法：52mm×2,000mm	ブロック基礎 側溝・ドレイン廻り等	10本/ケース

●BP-H1N



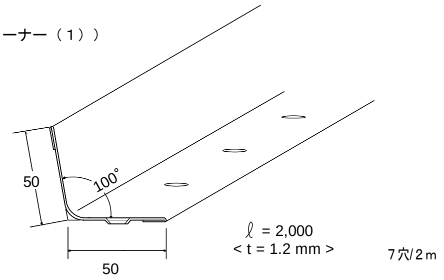
●BP-H2



種類	寸法	適用	梱包単位
BP-H3	厚さ：1.2mm 寸法：50mm×50mm×2,000mm	立上り入隅	10本/ケース
BP-H3N	厚さ：1.2mm 寸法：18.2mm×52.7mm×2,000mm	立上り入隅	10本/ケース
BP-H4	厚さ：1.2mm 寸法：50mm×10mm×2,000mm	立上り水切り下 軒下	10本/ケース
BP-H5	厚さ：1.2mm 寸法：70mm×57mm×2,000mm	パラペット天端	10本/ケース
BP-H5 ジョイナー	厚さ：1.2mm 寸法：47.5mm×40mm	BP-H5ジョイント部	10個/ケース
BP-H6	厚さ：1.2mm 寸法：50mm×50mm×2,000mm	断熱材の端末等 立上り出隅	10本/ケース
BP-H7	厚さ：1.2mm 寸法：350mm×350mm	ドレイン ・パイプ周辺用	5枚/ケース

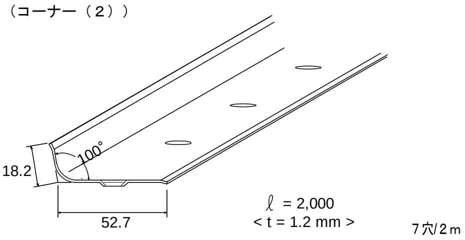
●BP-H3

（コーナー（１））



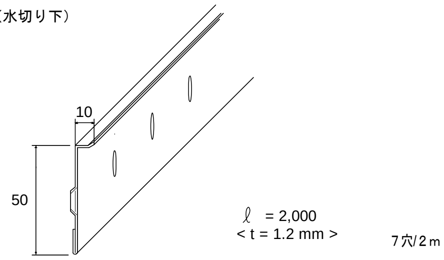
●BP-H3N

（コーナー（２））



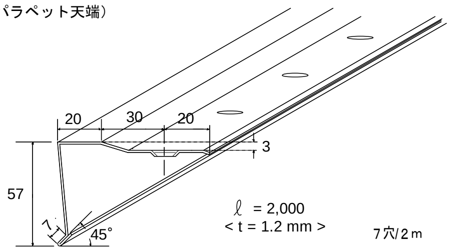
●BP-H4

（水切り下）

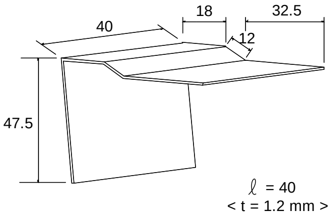


●BP-H5

（パラペット天端）

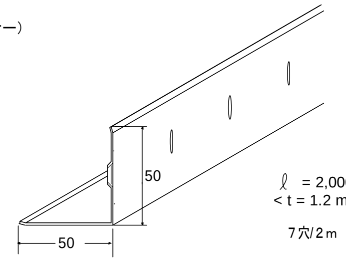


●BP-H5ジョイナー



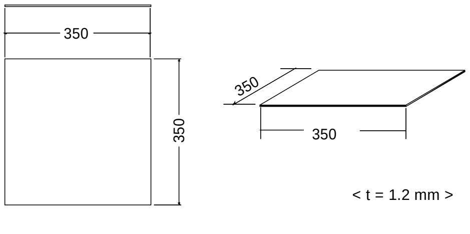
●BP-H6

（コーナー）



●BP-7

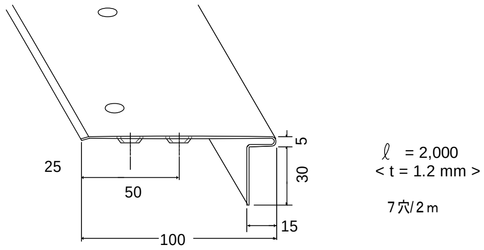
（ドレイン、パイプ周辺用）



種類	寸法	適用	梱包単位
BP-H8	厚さ：1.2mm 寸法：100mm×35mm×2,000mm	軒先	5 本/ケース
BP-H9	厚さ：1.2mm 寸法：150mm×65mm×2,000mm	軒先	5 本/ケース
BP-H8 ジョイナー	厚さ：1.2mm 寸法：30mm×15mm×50mm	BP-H8 ジョイント部	10 個/ケース
BP-H9 ジョイナー	厚さ：1.2mm 寸法：60mm×15mm×50mm	BP-H9 ジョイント部	10 個/ケース
BP-H15	厚さ：1.2mm 寸法：15mm×48mm×2,000mm	断熱材の固定 立上り出入隅部	10 本/ケース
BP-H18	厚さ：1.2mm 寸法：25mm×100.5mm×2,000mm	ＡＬＣ立上り入隅	10 本/ケース

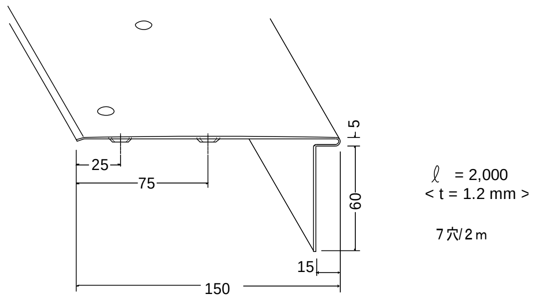
●BP-H8

（軒先用）

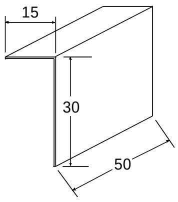


●BP-H9

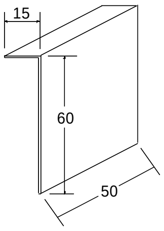
（軒先用）



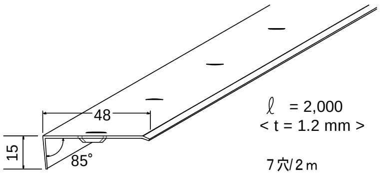
●BP-H8ジョイナー



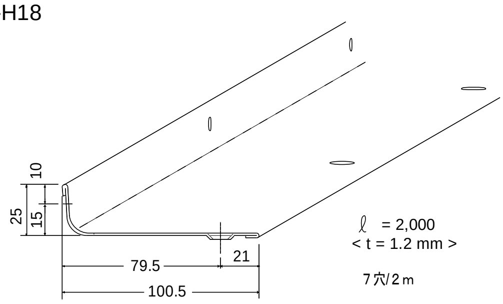
●BP-H9ジョイナー



●BP-H15



●BP-H18



UD鋼板

ステンレス鋼板に塩ビまたは接着剤を被覆したディスクです。防水シートとＵＤ鋼板を、UD BOX（誘導加熱装置）で接合します。

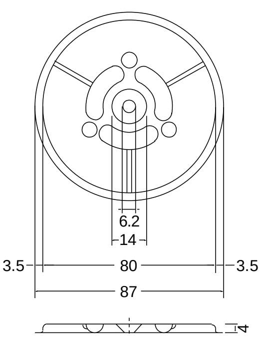
種類	寸法	適用	表面色	UD BOX	梱包単位
UD-1PV (塩ビ被覆)	厚さ：0.6mm 寸法：87mm φ	平場	ブルー	新タイプ	100 枚/ケース
UD-1N	厚さ：0.6mm 寸法：87mm φ	平場	グレー	従来タイプ	100 枚/ケース

BS鋼板

ステンレス製の鋼板で、124・125・127 工法時の OL パネル・断熱材の固定に用います。

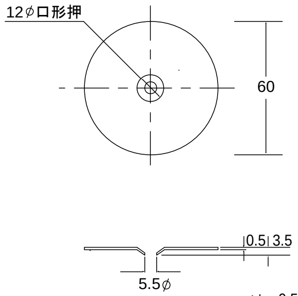
種類	寸法	適用	梱包単位
BS-H1	厚さ：0.5mm 寸法：60mm φ	平場	100 枚/ケース

●UD-1PV , UD-1N



< t = 0.6㎜ >

●BS-H1



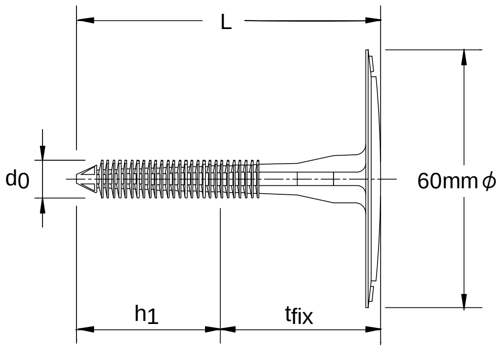
< t = 0.5㎜ >

断熱ファスナー

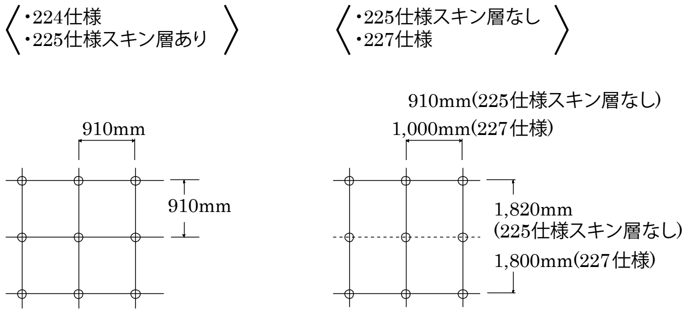
ポリプロピレン製で断熱材と下地に下孔を開け、上からたたいて挿入する。機械的固定・断熱工法の断熱材の仮固定に使用する。

品名	IDP 2/4	IDP 4/6	IDP 6/8	IDP 8/10
全　長　(L)	70 mm	90 mm	110 mm	130 mm
使用断熱材厚さ　(t_{fix})	20～40 mm	40～60 mm	60～80 mm	80～100 mm
頭　径	60 mm			
下地穿孔径　(d_0)	ALC　7.5mmφ・RC　8mmφ			
下地穿孔長さ　(h_1)	40～60 mm			
梱包単位	250 本/ケース			

●断面形状図



●仕様別標準固定ピッチ



(10)　緩衝用パッチ

UD緩衝用パッチ

チップボール製で熱緩衝用として使用する。
UD ディスクの下に敷く事により断熱材の熱による溶解を防止する。

●性状

厚　さ	1.0 mm
外　径	100 mm
梱包単位	300 枚/ケース

(11)　溶接剤

プルーフシーラー・プルーフシーラーシャネツ

防水シートと同素材の液状シール剤でシート相互の接合末端部、および固定金具とシートの接合末端部に塗布し水密性を保持します。

●性状

主　成　分	テトラヒドロフラン/アノン 第 4 類第 1 種石油類 危険等級Ⅱ
外　　観	着色粘稠液
固　形　分	25%
粘　　度	2,400～3,000mPa･s
標準使用量	15～20 g/m^2
荷　　姿	3 kg/缶

(12)　シーリング材

名称	形状	組成	規格	使用部位	梱包単位
ロンシーラント L (JSIA　F☆☆☆☆)	不定型	ブチルゴム	330ml カートリッジ	シーリングホルダー内 ドレイン廻り内部	10 本 /ケース
ロンシーラント S (JSIA　F☆☆☆☆)		変性シリコン	320ml カートリッジ	水切り下、パイプ廻り BP-H4 の端部及び BP-H5 の接合部	10 本 /ケース
ロンシーラント TB	定型	非加硫ブチルゴム 両面粘着テープ	2.0mm×50 mm ×25m	BP 鋼板、防水シートの仮止め、およびパイプ廻り等	4 巻 /ケース
ロンシーラント MB		ブチルゴムコート 塩ビ発泡体	8mmφ×13 m	BP-H5 に使用	8 巻 /ケース

名称	主成分	規格	使用部位	梱包単位
ロンシーラント S 専用 プライマー 火気厳禁	酢酸エチル 第 4 類第 1 種石油類 危険等級Ⅱ	150ml	ロンシーラント S を充填する前に塗布	150ml /缶

(13) 押え金物

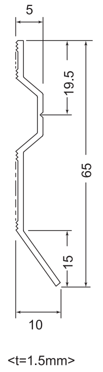
プルーフアングル

軽量で加工性、耐蝕性にすぐれた押え金物です。
このアングルはシーリングホルダーも兼ねているので、シーリング材を外気から保護する効果を持っています。

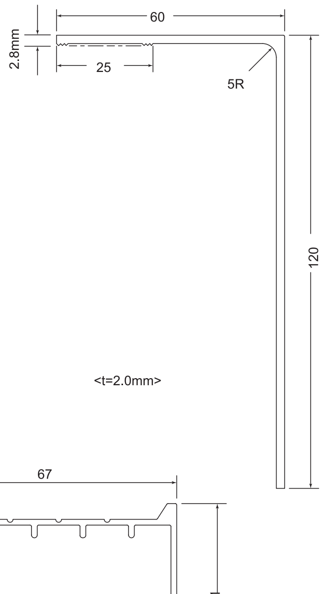
● 本体

種類	色	材質	規格	使用部位	梱包単位
K-1	シルバー	アルミニウム製 (A6063S-T5) アルマイト クリアー処理	2m 標準孔数 7ヶ所/2m	軒先	20本/ケース
K-7	シルバー アンバー			パラペット天端	10本/ケース
K-8	シルバー アンバー			立上り水切り下	20本/ケース
K-10	シルバー アンバー			パラペット天端	10本/ケース
K-11	シルバー			壁部	20本/ケース
K-12	シルバー			立上り水切り下	20本/ケース
K-13	シルバー			パラペット天端	10本/ケース

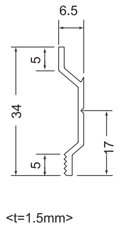
●K-1



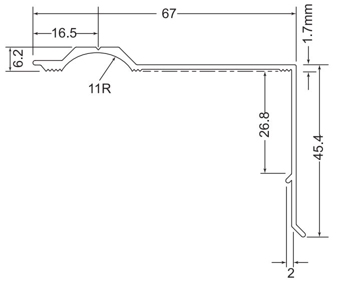
●K-7



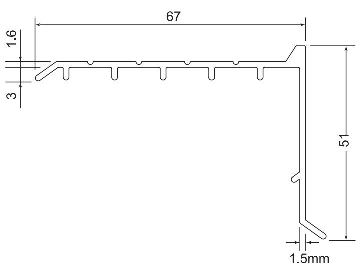
●K-8



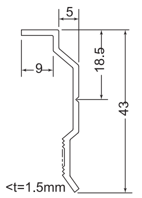
●K-10



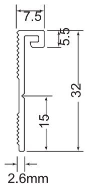
●K-13



●K-11



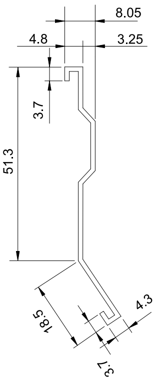
●K-12



● ジョイナー

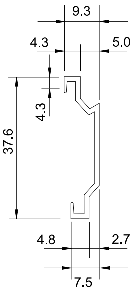
種類	色	材質	規格	使用部位	梱包単位
K-1 ジョイナー	シルバー	アルミニウム製 (A6063S-T5) アルマイト クリアー処理	50mm	プルーフアングル 突き付け部	50ヶ組/ケース
K-8 ジョイナー	シルバー アンバー				50ヶ組/ケース
K-10 ジョイナー	シルバー アンバー				50ヶ組/ケース
K-11 ジョイナー	シルバー				50ヶ組/ケース
K-12 ジョイナー	シルバー				50ヶ組/ケース
K-13 ジョイナー	シルバー				50ヶ組/ケース

●K-1J



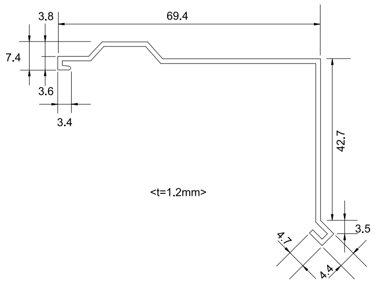
<t=1.2mm>

●K-8J

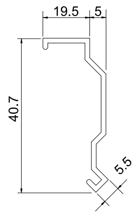


<t=1.3mm>

●K-10J

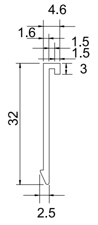


●K-11J

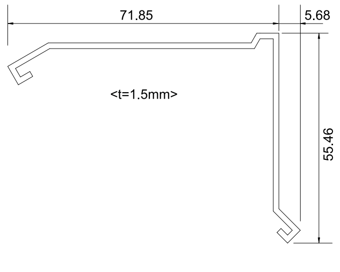


<t=1.5mm>

●K-12J



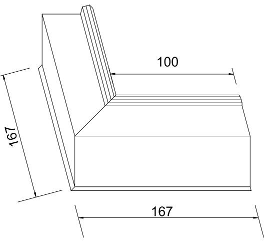
●K-13J



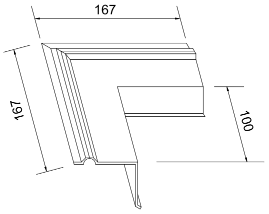
● 入隅・出隅

種類	色	材質	規格	使用部位	梱包単位
K-10 出隅	シルバー アンバー	アルミニウム製 (A6063S-T5) アルマイト クリアー処理	—	出隅	2ヶ組/ケース
K-10 入隅	シルバー アンバー			入隅	2ヶ組/ケース
K-13 出隅	シルバー			出隅	2ヶ組/ケース
K-13 入隅	シルバー			入隅	2ヶ組/ケース

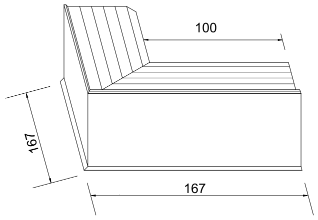
●K-10出隅



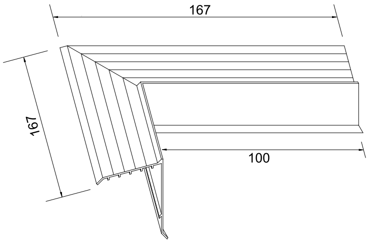
●K-10入隅



●K-13出隅



●K-13入隅



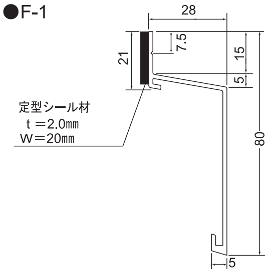
(14) 水切り金物

ロンフラッシング

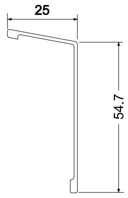
加工性、耐蝕性のすぐれた水切り金物で、非加硫ブチルゴム系の定型シール材を併用するため、すぐれた水密性を発揮します。

種類	色	材質	規格	使用部位	梱包単位
F-1	シルバー	アルミニウム製 (A6063S-T5) アルマイト クリアー処理	2m 標準孔数 7 ヶ所	各部位における端末	10 本/ケース
F-1 ジョイナー			―	プルーフアングル突き付け部	50 ヶ組/ケース
F-1 出隅・入隅			―	出隅・入隅部	2 ヶ組/ケース
F-1 エンドカバー			―	水切り金物端部	2 ヶ組/ケース

●F-1



●F-1J



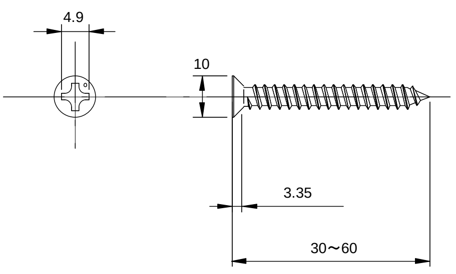
(15) プラグ・ビス

プラグ・ビス類

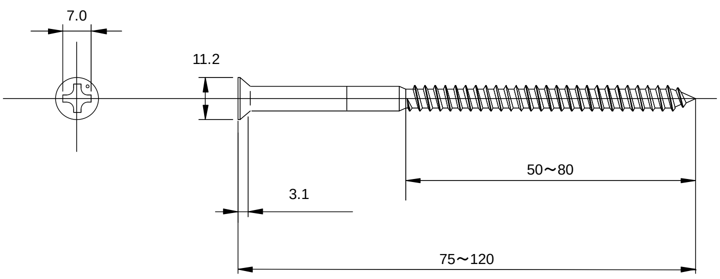
BP 鋼板・プルーフアングル・ロンフラッシングの固定に使用します。

種類	ビス		プラグ		ドリル径	ビット	梱包単位	標準使用量
	規格	材質	規格	材質				
HUD-30	4.5mmΦ ×30mm	ステンレス	HUD-1 (6×30) (6mmφ、30mm)	ナイロン	6mm ϕ	No.2	500 本 /ケース	BP-H2~6 BP-H8・9 BP-H15 7 本/2m
HUD-35	4.5mmΦ ×35mm							
HUD-50	4.5mmΦ ×50mm		HUD-L (6×50) (6mmφ、47mm)					
HUD-60	4.5mmΦ ×60mm							
HUD-75	5.8mmΦ ×75mm		HUD-L (8×60) (8mmφ、57mm)		8.5mm ϕ	No.3	100 本 /ケース	
HUD-90	5.8mmΦ ×90mm							
HUD-105	5.8mmΦ ×105mm							
HUD-120	5.8mmΦ ×120mm							

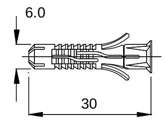
●ビス　30mm～60mm



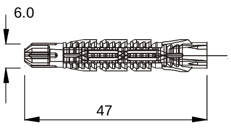
●ビス　75mm～120mm



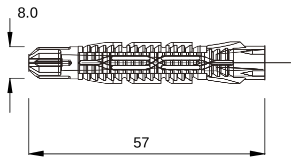
●プラグ　HUD-1



●プラグ　HUD-L（6×50）



●プラグ　HUD-L（8×60）



(16) エポキシ注入剤

EL-2001

プラグ孔に注入し、引き抜き強度を向上させます。

●性状

主　成　分	エポキシ樹脂 第４類第３種石油類 危険等級Ⅱ
性　　状	２液硬化型 主剤　２　/　硬化剤　１
標準使用量	3～5g/m²
梱包単位	1.5kg/セット （主剤 1kg/硬化剤 0.5kg）

(17) 成形役物

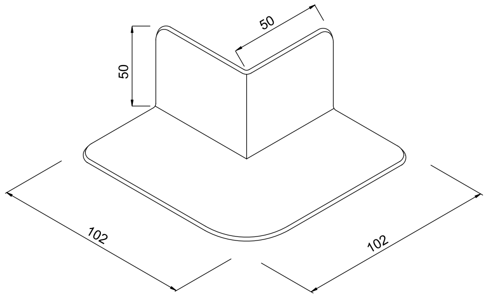
プルーフコーナーN・プルーフコーナーシャネツ

防水シートと同質､同色の材料を成型した役物で出隅角や入隅角に使用し水密性を向上させます。

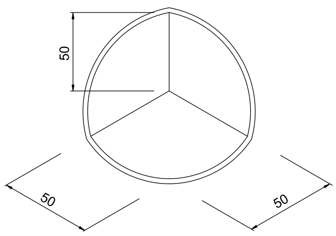
●性状

種　　類	出隅用	入隅用
材　　質	塩化ビニル樹脂系	
厚　　さ	2.0mm	
梱包単位	50ヶ/ケース	

●出隅用

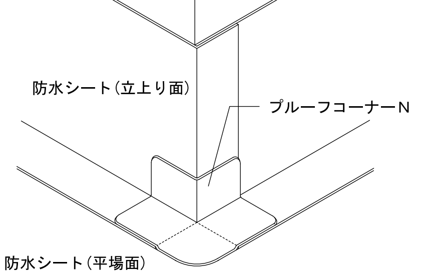


●入隅用

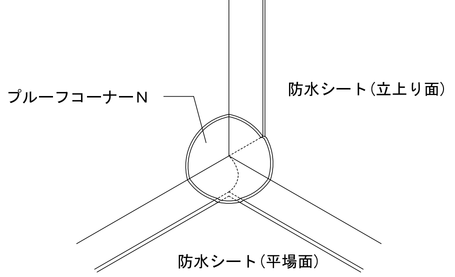


＜使用例＞

●出隅用



●入隅用



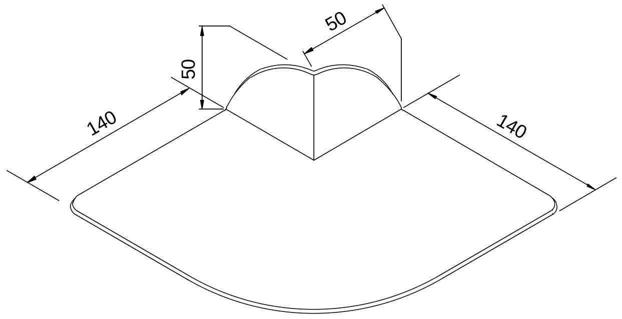
USコーナー・USコーナーシャネツ

防水シートと同質、同色の材料を成形した役物です。機械的固定工法や入隅線に BP 鋼板を使用の場合に用います。

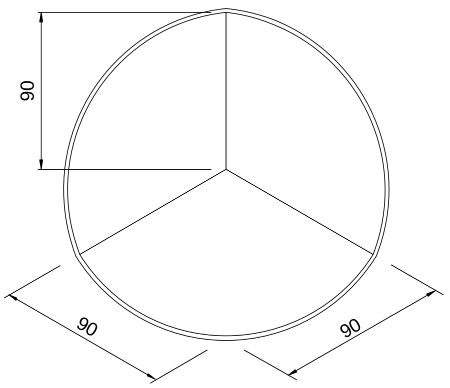
●性状

種　　類	出隅用	入隅用
材　　質	塩化ビニル樹脂系	
厚　　さ	2.0mm	
梱 包 単 位	30ヶ/ケース	

●出隅用

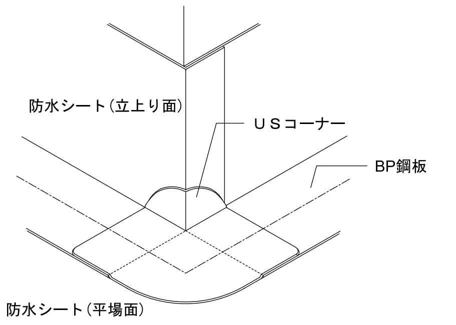


●入隅用

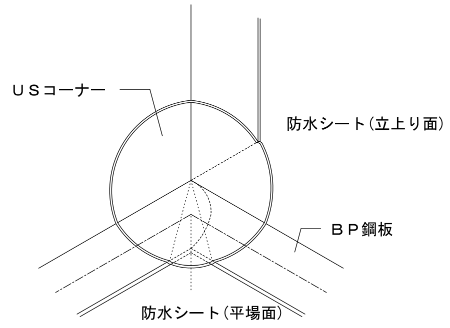


＜使用例＞

●出隅用



●入隅用



(18)　補強用セット

補強用セット　BP・BSN用　/ LA・LSN用

機械的固定工法でシートを平場に固定する。
BP-H1N と共に用い、防水層の保護と補強を兼ねます。

●性状

	BP･BSN 用		LA･LSN 用	
種　　類	S	L	S	L
材　　質	塩化ビニル樹脂系		塩化ビニル樹脂系	
厚　　さ	1.5mm	1.5mm	1.5mm	2.0mm
寸　　法	85mm φ	150mm φ	85mm φ	150mm φ
標 準 使 用 量	1.6 枚/m^2(RC), 2.0 枚/m^2(ALC)		1.6 枚/m^2(RC), 2.0 枚/m^2(ALC)	
梱 包 単 位	100 枚/セット		100 枚/セット	

＜鋳物製　シート防水専用推奨品＞

※推奨商品お問い合わせ先：　カネソウ株式会社　Tel: 03-3433-6855　HP: http://www.kaneso.co.jp/

名称	部番	品名	材質	処理	特長
ESP-3	①	ストレーナー	FC150	樹脂系塗装	たて引き用ドレイン。差し込み式。端部の拘束シーリング材の保護が可能な VP・VU 管兼用の構造である。
	②	防水層押え			
	③	本体			
	④	ボルト	C3602	－	

寸法表（単位：mm）

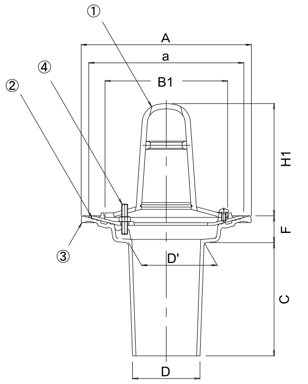
呼　称	A	A	B1	B2	C	D	D’	F	H1
50（2 吋）	165	145	102	64	136	42	51	35	105
65（21/2）	200	180	137	80		58	67		131
75（3）				93	140	67	77		
100（4）	225	205	162	118	150	90	100		149
125（5）	225	235	192	145		114	125		174
150（6）	280	260	217	170		135	146		193

名称	部番	品名	材質	処理	特長
ESP-4	①	ストレーナー	FC150	樹脂系塗装	たて引き用ドレイン。ねじ込み式。端部の拘束シーリング材の保護が可能な VP・VU 管兼用の構造である。
	②	防水層押え			
	③	本体			
	④	アンカー	SWRM	りん酸塩皮膜	
	⑤	ボルト	C3602	－	

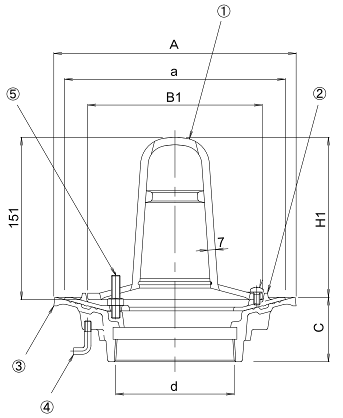
寸法表（単位：mm）

呼　称	A	a	B1	B2	C	ねじ径 d　※1	H1
50（2 吋）	165	145	102	64	60	Rc2	105
65（21/2）	200	180	137	80		Rc 21/2	131
75（3）				93		Rc3	
100（4）	225	205	162	118		Rc4	149
125（5）	225	235	192	145		Rc5	174
150（6）	280	260	217	170		Rc6	193
200（8）	360	340	286	222	80	PT8	

●ESP-3



●ESP-4



名称	部番	品名	材質	処理	特長
ESP-6	①	ストレーナー	FC150	樹脂系塗装	たて引き用ドレイン。ねじ込み式。デッキプレートあるいはフラットタイプデッキなどへの取付が迅速かつ正確に行える。鋼製下地断熱屋根構造の建物に最適である。
	②	防水層押え			
	③	本体			
	④	固定金具	SGHC	りん酸塩皮膜	
	⑤	ボルト	C3602	−	
	⑥	丸小ネジ	C2700	−	
	⑦	丸小ネジ	C2700	−	

寸法表（単位：mm）

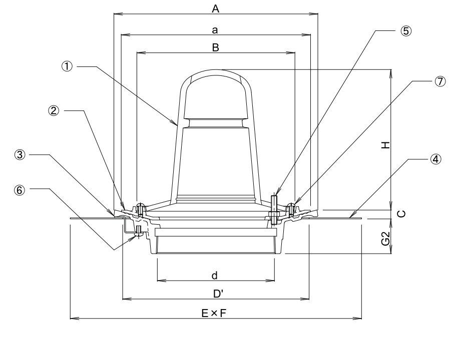
呼　称	A	a	B	C	ねじ径 d　※1	D'	E	F	G2	H1
75（3 吋）	200	195	137	31.6	Rc3	180	400	260	28.4	131
100（4）	225	220	162		Rc4	206		285		149
125（5）	255	235	192		Rc5	231		315		174
150（6）	280	275	217		Rc6	256		340		193
200（8）	360	340	286		PT8	336		420	48.4	

名称	部番	品名	材質	処理	特長
EXC	①	ストレーナー	FC150	樹脂系塗装	よこ引き用ドレイン。ねじ込み式。防水層の押え部分に工夫をこらし、より確実な雨仕舞を可能にした構造である。
	②	防水層押え			
	③	本体			
	④	アンカー	SWRM	りん酸塩皮膜	
	⑤	ボルト	C3602	−	
	⑥	丸小ネジ	C2700	−	
	⑦	スペーサー	硬質塩化ビニル	−	

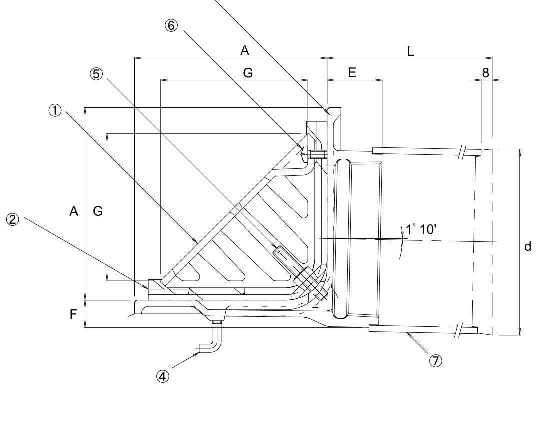
寸法表（単位：mm）

呼　称	A	C	ねじ径 d ※1	E	F	L		G	I	J
50（2 吋）	100	160	Rc2	32	20	80	100 120 150	72	127	15
65（21/2）			Rc							
75（3）	115	180	Rc 3	35				87	147	
100（4）	140	210	Rc 4	40				112	177	
125（5）	165	240	Rc 5	44	22			136	205	
150（6）	190	260	Rc 6	50	26			161	225	
200（8）	250	340	PT8	68	80	—		216	303	19

●ESP-6



●EXC



名称	部番	品名	材質	処理	特長
EXC-6	①	ストレーナー	FC150	樹脂系塗装	よこ引き用ドレイン。ねじ込み式。デッキプレートあるいはフラットタイプデッキなどへの取付が迅速かつ正確に行える。鋼製下地断熱屋根構造の建物に最適である。
	②	防水層押え			
	③	本体			
	④	固定金具	SGHC	りん酸塩皮膜	
	⑤	ボルト	C3602	―	
	⑥	丸小ネジ	C2700	―	
	⑦	丸小ネジ	C2700	―	

寸法表（単位：mm）

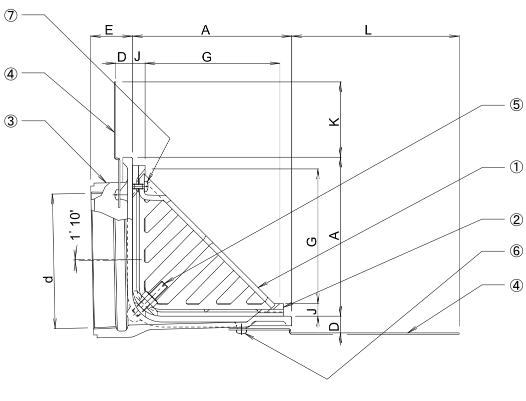
呼　称	A	C	D	ねじ径 d ※1	E	G	I	J	K	L	M
75（2 吋）	115	180	20	Rc 3	35	87	147	15	90	200	168
100（4）	140	210		Rc 4	40	112	177				198
125（5）	165	240		Rc 5	44	22	205				228
150（6）	190	260		Rc 6	50	26	225				248
200（8）	250	340		PT8	68	80	303	19			328

名称	部番	品名	材質	処理	特長
EASR-1	①	ストレーナー	FC150	樹脂系塗装	たて引き用ドレイン。差し込み式。防水層の押え部分に工夫をこらし、より確実な雨仕舞を可能にした構造である。
	②	防水層押え			
	③	本体			
	④	アンカー			
	⑤	ボルト	C3602	―	
	⑥	丸小ネジ	C2700	―	
	⑦	スペーサー	硬質塩化ビニル	―	

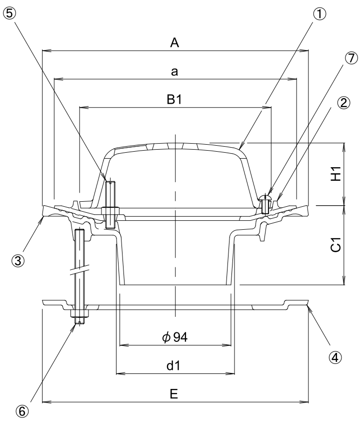
寸法表（単位：mm）

呼　称	A	a	B1	B2	C1	C2	d1	ねじ径 d ※1	d3	E	H1
65（21/2）	200	180	137	80	67	60	61	Rc21/	85	200	43
75（3）				93			71	Rc3	99		
100（4）	225	205	162	118			94	Rc4	125	225	53

●EXC-6



●EASR-1



名称	部番	品名	材質	処理	特長
KFL	①	ストレーナー	FC150	樹脂系塗装	よこ引き用ドレイン。ねじ込み式。ALC板デッキプレート下地用で、ドレイン本体とクランプ板で確実に下地に取り付けられる構造である。
	②	防水層押え			
	③	本体			
	④	ボルト	C3602		
	⑤	ボルト	C3602		
	⑥	丸小ネジ	C2700		

寸法表（単位：mm）

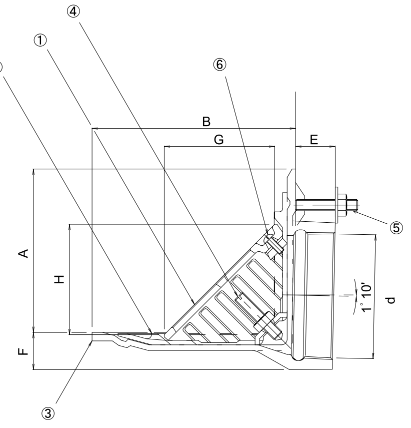
呼　称	A	B	C	ねじ径 d ※1	E	F	G	H	I
75（3 吋）	145	180	270	Rc3	32	31	98	98	150
100（4）				Rc4	35	33			
125（5）	179	213	312	Rc5	42		123	123	177

名称	部番	品名	材質	処理	特長
KWB	①	ストレーナー	(呼称 50/65)ADC12 (呼称 75/100)AC2B	ナイロンコーティング	たて引き用ドレイン。差し込み式。ALC 板デッキプレート下地用で、ドレイン本体とクランプ板で確実に下地に取り付けられる構造である。
	③	本体	FC150	樹脂系塗装	
	④	丸小ネジ	SUS304		
	⑤	木ネジ	SUS304（木付け用）		

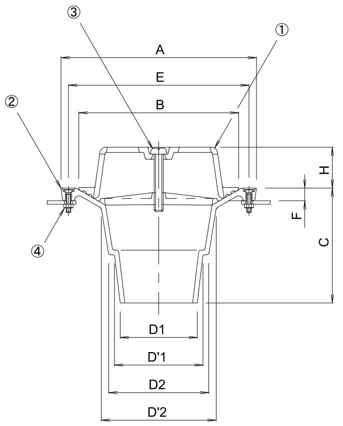
寸法表（単位：mm）

呼　称	A	B	C	VP・VU・SU 管兼用				E	F	H
				D1	D'2	D2	D'2			
50/65	137	106	100	45	51	61	67	120	11	25
75/100	170	139		67	77	87	100	157		35

●KFL



●KWB



＜積雪寒冷地用ステンレス製　シート防水専用推奨品＞

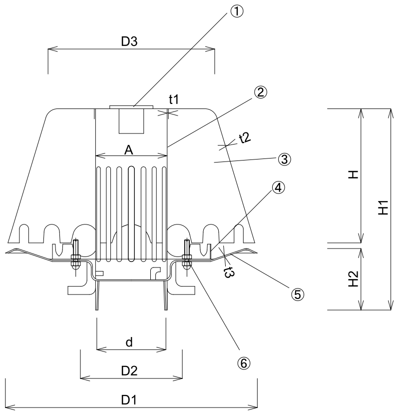
※推奨商品お問い合わせ先：　開發株式会社　Tel: 018-824-2233　HP: http://www.kaihatsu-net.co.jp/

名称	部番	品名	材質	特長
ＯＫ ドレイン	①	OK ボルト	SUS304	積雪寒冷地用で建築物内外からの発生源を利用し、ドレイン部の凍結を防ぐ耐久性の優れた構造である
	②	ストレーナー		
	③	キャップ		
	④	押え皿		
	⑤	ベース		
	⑥	締め付けボルト		
	⑦	アンカー		

寸法表（単位：mm）

	D1	D2	D3	D	H	H1	H2	t	t1	t2	t3	A
S･K･N75（Ⅱ）	250	150	188	Rc3	137	218	71	1.5	2.0	2.0	2.0	89.1
S･K･N 100（Ⅱ）	325	179	245	Rc 4	180	259	71	1.5	2.0	2.0	2.0	114.3
S･K･N 125（Ⅱ）	325	200	245	Rc 5	180	264	76	1.5	2.0	2.0	2.0	139.8

●OK ドレイン



＜アルミダイキャスト製　シート防水専用推奨品＞

※推奨商品お問い合わせ先：　株式会社アルテック　Tel: 03-3764-5811　HP: http://www.aluteck.co.jp/

品名	概要	用途	規格	梱包単位
DCTS19-50	アルミダイキャスト製で高精度です。	屋上用（タテ）	50mm φ	1 個/ケース 6 個/ケース
DCTS19-75			75mm φ	
DCTS22-100			100mm φ	
DCYS17-75		屋上・ベランダ用（ヨコ）	75mm φ	
DCYS17-100			100mm φ	

⒇　アルミ笠木

ニューロンコープ

（注）施工にあたっては現場の条件を考慮し、監督者との協議により選定できる。

●本体規格

（寸法単位：mm）

<table>
<tr><th rowspan="2">品名</th><th colspan="3">本体</th><th colspan="3">受金物</th><th colspan="3">ジョイナー</th><th rowspan="2">荷姿</th></tr>
<tr><th>長さ</th><th>有効巾</th><th>厚さ</th><th>長さ</th><th>全巾</th><th>厚さ</th><th>長さ</th><th>全巾</th><th>厚さ</th></tr>
<tr><td>#135</td><td rowspan="9">4,000</td><td>115</td><td>1.3</td><td rowspan="9">50</td><td>132.4</td><td>2.0</td><td rowspan="9">100</td><td>132.0</td><td rowspan="9">3.2</td><td rowspan="3">本体　4 本
ブラケット　20 個
ジョイナー　4 個
ビス　4 セット</td></tr>
<tr><td>#150</td><td>130</td><td>1.4</td><td>147.2</td><td>2.0</td><td>147.0</td></tr>
<tr><td>#175</td><td>155</td><td>1.5</td><td>172.0</td><td>2.5</td><td>171.5</td></tr>
<tr><td>#200</td><td>180</td><td>1.7</td><td>196.6</td><td>3.7</td><td>196.0</td><td rowspan="6">本体　2 本
ブラケット　10 個
ジョイナー　2 個
ビス　2 セット</td></tr>
<tr><td>#225</td><td>205</td><td>1.9</td><td>221.6</td><td>4.0</td><td>221.0</td></tr>
<tr><td>#250</td><td>225</td><td>2.3</td><td>245.4</td><td>4.0</td><td>245.0</td></tr>
<tr><td>#280</td><td>255</td><td>2.5</td><td>275.4</td><td>4.0</td><td>274.5</td></tr>
<tr><td>#310</td><td>285</td><td>2.6</td><td>305.4</td><td>4.0</td><td>304.5</td></tr>
<tr><td>#340</td><td>315</td><td>3.0</td><td>335.4</td><td>4.0</td><td>333.5</td></tr>
</table>

●付属品規格

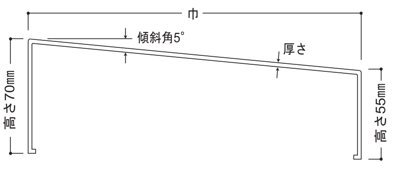
品名	仕様	外寸	荷姿
ニュー・ロンコープ　出隅・入隅 ＃135～＃340	ブロンズ・ シルバー	500×500ｍｍ	2 個入り　受金物 6 個 ジョイナー2 個　ビス 2 セット
ニュー・ロンコープエンドキャップ 左・右　＃135～＃340	ブロンズ・ シルバー	―	2 個入り（左右） ビス 16 本
ビスセット	―	―	ビス 10 本　プラグ 10 本 ワッシャー10 本 スペーサー（3mm/6 枚・5mm/2 枚）

（注）ニューロンコープは本体の構造によって耐風圧性が異なります。地上高さと品番による受金物の個数表を参考にして、受金物の個数を増やして下さい。

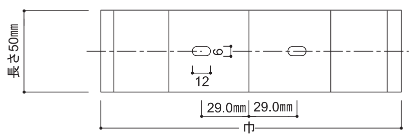
本体 1 本（4m）当たりの受金物

階　　高	2Ｆ	3Ｆ	4Ｆ	5Ｆ	6Ｆ	7Ｆ
地上高さ（m）	7.3	10.6	13.9	16	19	22
＃135	5	5	5	5	5	5
＃150	5	5	5	5	5	5
＃175	5	5	5	5	6	6
＃200	5	6	7	7	7	7
＃225	5	5	5	6	6	6
＃250	5	5	5	5	5	6
＃280	5	5	5	6	6	6
＃310	5	5	6	6	6	7
＃340	5	6	6	7	7	7

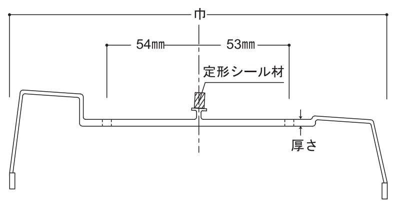
●本体断面（#135～#340）



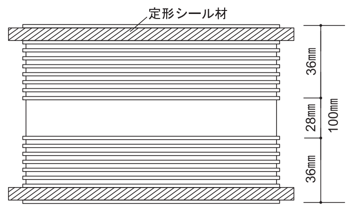
●受金物平面（#135～#225）



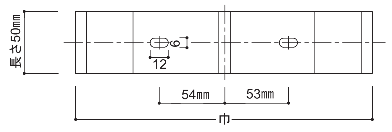
●受金物断面（#135～#225）



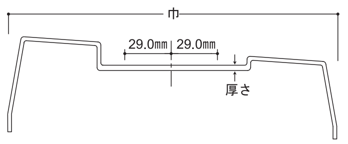
●ジョイナー平面（#135～#340）



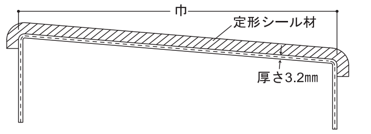
●受金物平面（#250）



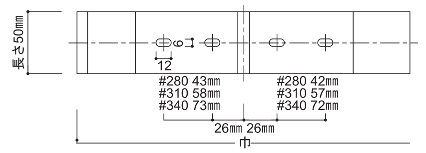
●受金物断面（#250）



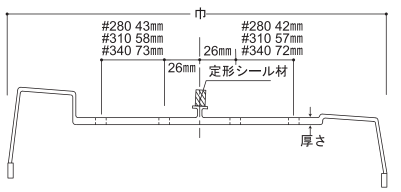
●ジョイナー断面（#135～#340）



●受金物平面（#280～#340）



●受金物断面（#280～#340）



(21) 脱気装置

＜平場用脱気装置＞

脱気盤 30L・脱気盤 30Lシャネツ

ポリエチレンを特殊加工したディスクで、通気シートと組み合わせて使用します。

種類	部材	材質	直径	使用部位	標準取付数	梱包単位
脱気盤 30L	本体	ポリエチレン樹脂系	120mm	平場	約 100m²/個	5 セット /ケース
	通気シート	塩化ビニル樹脂系	220mm			

ステンレスベントロン

固定用受け台に塩ビコーティング処理をし、熱融着、溶剤溶着のできるようにしたステンレス製脱気筒です。

種類	材質	高さ	底面直径	使用部位	標準取付	梱包単位
SVS-15	ステンレス	150mm	196mm	平場	約 100m²/個	1 セット /ケース
SVS-20		200mm				

ベントロンVS-1

鋳鉄製の耐久性にすぐれる脱気装置で、末端シーリング、シート押さえが可能です。支持金具を併用することにより積雪寒冷地でパラペットのない屋根にも使用できます。

(注)支持金具はオプションとして別売しています。

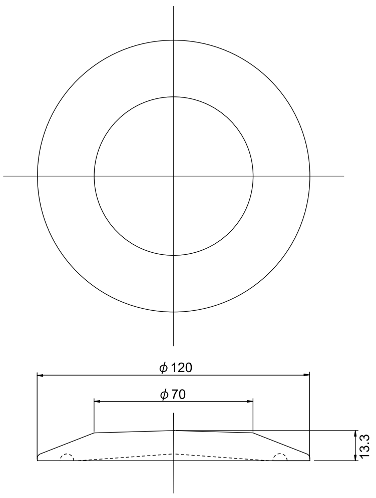
種類	材質	高さ	底面直径	使用部位	標準取付	梱包単位
VS-1	鋳鉄製	150mm	240mm	平場	約 100m²/個	1セット/ケース
		200mm				

コーティングベントロン

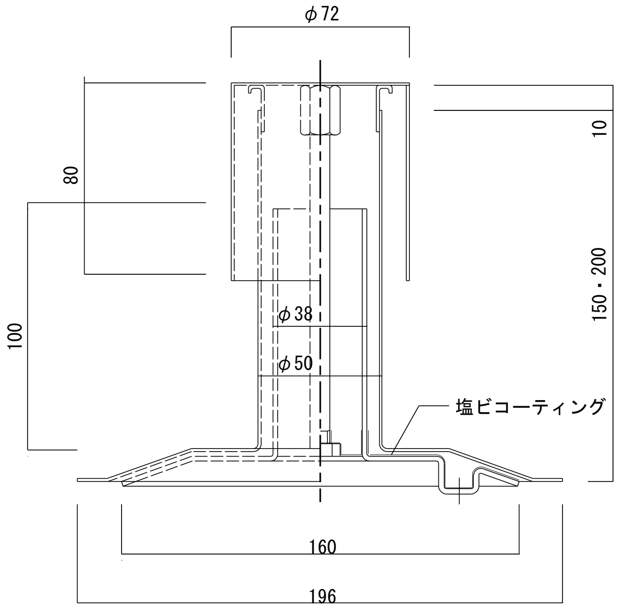
ベントロン VS-1 にナイロンコーティングしているので、錆発生の防止、メンテナンス性にすぐれています。

種類	材質	高さ	底面直径	使用部位	標準取付	梱包単位
CV-15	鋳鉄製	150mm	240mm	平場	約 100m²/個	1セット/ケース
CV-20		200mm				

●脱気盤30L（本体）



●ステンレスベントロン



＜立上り用脱気装置＞

<u>脱気盤V</u>

通気シートと塩ビ成形盤を一体化した脱気装置で、ロンテープTと組み合わせて立上り接着工法の脱気に使用します。

種類	材質	直径	使用部位	標準取付数	梱包単位
脱気盤V	塩化ビニル樹脂系	120mm	立上り部	約10m/個	10個/ケース

種類	材質	規格	使用部位	梱包単位
ロンテープT	ポリエステル樹脂系	0.19mm×60mm×48m	立上り部	5巻/ケース

<u>脱気セット</u>

通気シートと固定板のセットで、立上り機械的固定工法の脱気に使用します。

種類	部材	材質	直径	使用部位	標準取付数	梱包単位
脱気セット	通気シートL	塩化ビニル樹脂系	165mm	立上り部	約10m/個	20セット/ケース
	通気シートS	塩化ビニル樹脂系	105mm			
	固定板	ステンレス	85mm			

(22) 保護塗料

<u>シャネツコート</u>

塩化ビニル樹脂系防水シート専用の遮熱･保護塗料です。日射反射率(近赤外線反射率) 平均約 70%の遮熱性能を持ちます。

シャネツコートSE（遮熱塗料本体）とシャネツコートPD（防汚塗料）を組み合わせで使用します。

※使用目安量

シャネツコートSE(16kg/缶) 1缶につき、

シャネツコートPD(5kg/缶)を1缶。

※東京都クールルーフ事業対応商品

付着注意

●性状

品　　名	シャネツコートSE
組　　成	EVA樹脂系エマルション
粘　　度	90KU
標準使用量	0.35kg/m^2
色	SE-51　ホワイトグレー SE-54　グレー
荷　　姿	16kg/缶

品　　名	シャネツコートPD
組　　成	合成樹脂エマルション 危険物第1石油類（非水溶性） 危険等級 Ⅱ
粘　　度	57KU
標準使用量	0.1kg/m^2
色	1色（クリアー）
荷　　姿	5kg/缶, 16kg/缶

ウェザーコート

エマルションタイプの硅砂入り保護塗料で耐候性･耐アルカリ性にすぐれ､防水シート面にすぐれた密着性を示し、防滑効果があります。

●性状

組　　成	エチレン酢酸ビニル共重合
粘　　度	約 10,000mPa･s
固　形　分	80%
標準使用量	1.0kg/m²
色	6 色（防水シートと同色）
梱　包　単　位	20kg/缶

※受注生産品

(23)　化粧材

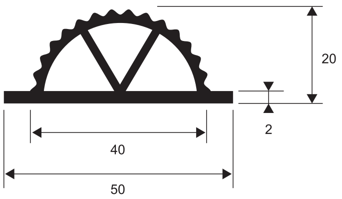
ロンライン

ロンプルーフエースなどの化粧材として使用する。

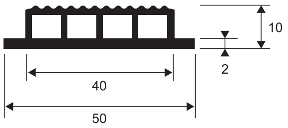
※受注生産品

色	種　類	巾	高　さ	長さ	組　成	梱包単位
防水シートと同色	M型	50mm	20mm	3m	主材料 表層と同質	6 本/ケース
	K型	50mm	10mm			

●M 型



●K 型



(24)　保護材

ロンルーフマット

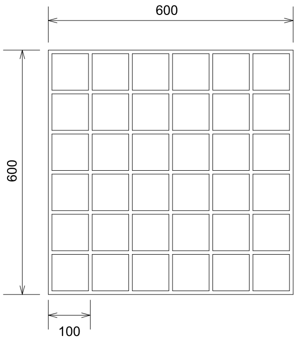
セメントモルタル製の防水層保護材。

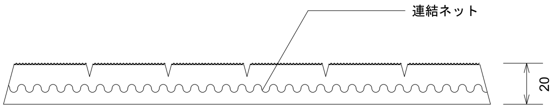
置き敷きタイプと連結タイプの 2 種類がある。

不燃認定番号　NM-9319

●性状

厚　　さ	20mm
タテ × ヨコ	600mm×600mm
重　　量	16kg/枚(44.4kg/㎡)





ロンチップタイル

タイヤの粉砕品を原料にした防水層保護材。

ゴム製のため、歩行時の衝撃を和らげるとともに、水に濡れても滑りにくい防滑性能を発揮します。

エコマーク認定番号：第 98022001 号

品名	厚さ	サイズ	重量		色数	梱包単位
30-15	15mm	300mm×300mm	0.98kg/枚	0.98kg/㎡	1 色	11 枚/ケース(0.99 ㎡/ケース)
50-5	5mm	500mm×500mm	1.1kg/枚	1.1kg/㎡	3 色	16 枚/ケース(4.0 ㎡/ケース)
50-10	10 mm	500mm×500mm	2.2kg/枚	2.2kg/㎡	3 色	8 枚/ケース(2.0 ㎡/ケース)

※50-5,50-10 は、受注生産品

ロンチップタイル　階段用

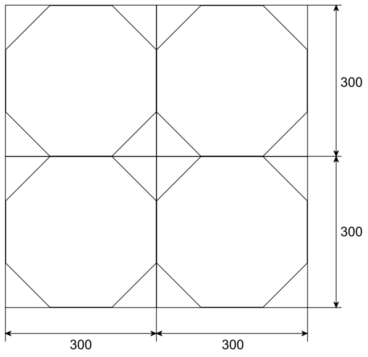
タイヤの粉砕品を原料にした防水層保護材で、階段にあわせた形状になっています。

ロンチップタイル 50-5 との張り合わせが可能です。

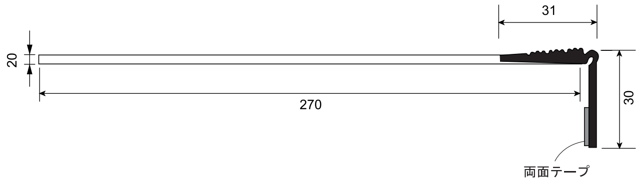
受注生産品

品名	厚さ	サイズ	重量	色数	梱包単位
階段用	5 mm	900mm 幅×270mm 奥行き	1.4kg/枚	2 色	10 枚/ケース(2.43 ㎡/ケース)
		1200mm 幅×270mm 奥行き	1.85kg/枚	2 色	10 枚/ケース(3.24 ㎡/ケース)

●ロンチップタイル 30-15



●ロンチップタイル　階段用



ロンチップタイル　注意喚起・誘導用

ゴム製の防水層保護材。ロンチップタイルと組み合わせて使用する。

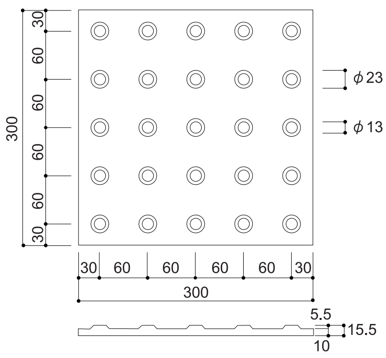
JIS 規格適合形状

●性状

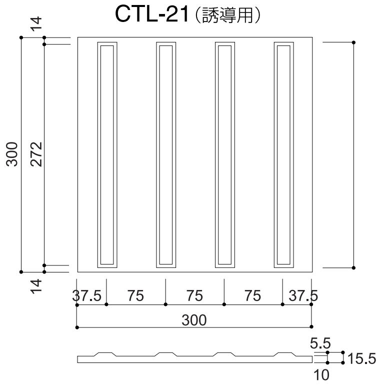
厚　　　さ	15.5ｍｍ
サ　イ　ズ	300ｍｍ×300ｍｍ
重　　　量	1.1kg/枚(12kg/㎡)
梱 包 単 位	10 枚/ケース

受注生産品

CTA-11（注意喚起用）



CTL-21（誘導用）



6. 計画

(1) 一般計画

① 着工に先立ち施工計画、設計図に従い必要に応じて施工要領書を作成して作業の進行をはかり、関連工事との連携を密にし、作業が円滑に進む様にする。
② 工事現場、および作業者の安全管理は関係法規に従って行い、災害防止をはかる。
③ 施工要領書に記載された品名、および数量を確認する。
④ 防水シートは原則として荷姿のまま横積みで保管する。
⑤ 防水シート、下地調整材、接着剤などは、雨露および直射日光が当たらない場所に損傷を受けない状態で保管し、運搬時、損傷を与えないよう注意する。
⑥ 有機溶剤含有物については火気に注意し、消防法・労働安全衛生法ならびにその他の関連法規の規制により安全を確保する。

(2) 施工要領書の作成

下記の項目などを記載した施工要領書を作成する。
① 総則（施工要領書の適用範囲など）
② 建築工事の概要
③ 工事の組織表
④ シート防水工事概要（防水仕様・施工場所など）
⑤ 使用材料の明細
⑥ 施工法（下地の点検と処理・施工法の概要と納まりの詳細・割り付け図）
⑦ 材料の搬入方法とその日時・保管方法
⑧ 仕上点検と検査
⑨ 作業員名簿・技能士の資格など
⑩ 消防法・労働安全衛生法など関係法規に関する事項

(3) 下地の確認

① 下地の乾燥を確認する。
② 平坦・平滑で、浮きや脆弱部分、コテむら、および突起物などがないこと。
③ 入隅は通りよく直角とし、出隅は通りよく 8～10mm アールの丸面取りとする。
④ 壁部の水切りは躯体でとり、その標準は躯体に 10mm 以上入り、高さは 400mm 以上とする。
⑤ 勾配は 1/100 以上とし、水溜りや排水に異常のないこと。
⑥ ドレインはシート防水用ドレインとし、スラブ面より低く、パラペットおよびコーナーから 300mm 以上離れた位置に設置することを標準とする。
⑦ 塔屋の出入口高さは仕上面より 120mm 以上とする。
（注）下地に不都合のある場合は、施工前に監督者と協議し、補修を求める。

7.　施工

<1> 接着工法 110仕様

工程表

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)		
一般計画	下地の確認・処理 （プライマー塗布） （目地処理）	防水シートの割り付け・採寸	接着剤の塗布	防水シートの張り付け	溶着・溶接	出隅・入隅、 ドレイン・パイプ廻り	端末処理	仕上げ点検	検　査

(1)　下地の確認・処理

・　下地処理の方法

下地処理	ロンバインダー処理		目地処理		ウレタンプラサフ
下地	RC / PC	ALC	RC	ALC / PC	鉄板
適用	△	○	－	○	○

○：必要　－：不要　△：接着力が阻害される恐れのあるコンクリート下地に用いる

(2)　防水シートの割り付け・採寸

①　防水シートの割り付け・採寸

防水シートを張り付ける下地面に墨出しし、水下より寸法決めをする。

②　接合部の重ね合わせ部は40mm以上とし、立ち上がり雨仕舞部等、複雑な箇所は防水シート接合部を避けるようにする。

(3)　接着剤の塗布

●接着剤の塗布および使用量

接着剤	塗布具	オープンタイム※1	標準使用量※2
プルーフセメントA 平場　片面塗布	くしゴテ	5～10分	0.35～0.45 kg/m^2
プルーフセメントNR 立上り　両面塗布	毛バケ くしゴテ	10～20分	0.4～0.6 kg/m^2

※1　温度・風等の気象条件で異なります。　※2　下地の状況で異なります。

(4)　防水シートの張り付け

・　防水シートの張り付けは接着剤の適正時間内で行い、モップなどを用い充分圧着する。

・　また、張り付け後に他業種の工事を行う場合、防水層を損傷させないように養生する。

(5) 溶着・溶接

●シート相互の接合

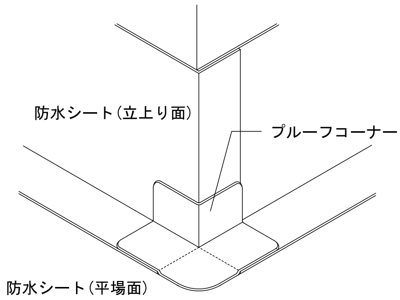
接合法	端部シール
溶剤溶着　※1 溶着剤「プルーフソルベント」による	液溶接 溶接剤「プルーフシーラー」による
熱融着 熱風溶接機による熱融着	

※1　3枚重ね部、役物まわり等は熱融着による。

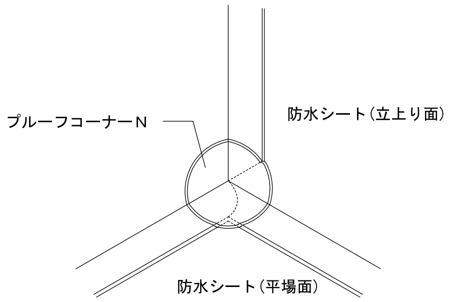
(6) 出隅・入隅、ドレイン・パイプ廻り

・ プルーフコーナーNを熱融着する。

●出隅部



●入隅部



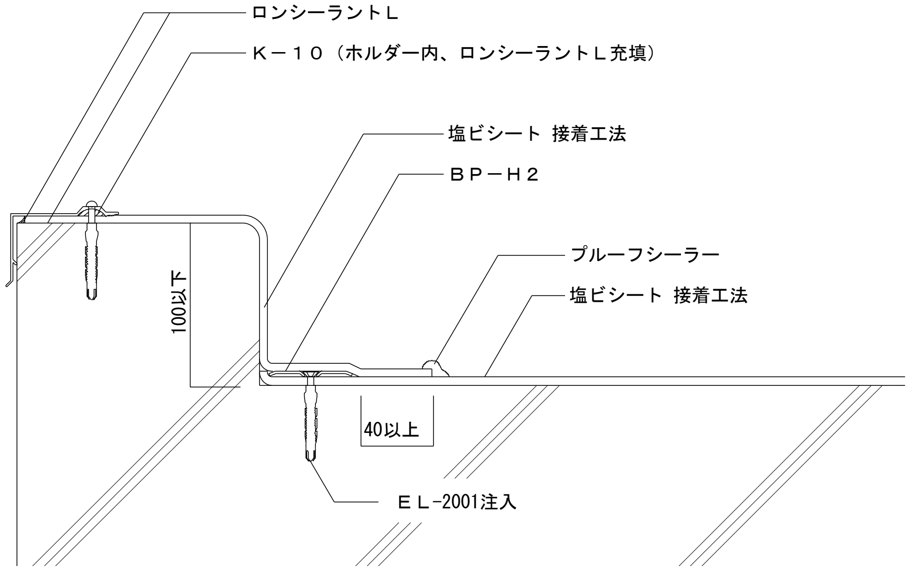
※ドレイン・パイプ廻りは詳細図参照。

(7) 端末処理

・ ロンシーラントTBまたはロンシーラントLと所定のアングルを取り付け、ロンシーラントSを充填または笠木を取り付ける。

※　納まり図例参照のこと。

※　立上り高さ100mm以下の場合、入隅に鋼板を入れる。



<2> 接着断熱工法 123 仕様

工程表

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)		
一般計画	(目地処理) (プライマー塗布) 下地の確認・処理	接着剤の塗布	断熱材の張り付け	防水シートの割り付け・採寸	接着剤の塗布	防水シートの張り付け	溶着・溶接	BP-H15の取り付け	ドレイン・パイプ廻り 出隅・入隅、	端末処理	仕上げ点検	検　査

(1)　下地の確認・処理

・ 下地処理の方法

下地処理	ロンバインダー処理		目地処理		ウレタンプラサフ
下地	RC / PC	ALC	RC	ALC / PC	鉄板
適用	△	○	−	○	○

○：必要　−：不要　△：接着力が阻害される恐れのあるコンクリート下地に用いる

(2)　接着剤の塗布

接着剤の塗布および使用量

接着剤	塗布具	オープンタイム※1	標準使用量※2
プルーフセメント NR	毛バケ くしゴテ	10～20 分	0.4～0.6 kg/m^2 (両面接着)

※1　温度・風等の気象条件で異なります。　※2　下地の状況で異なります。

(3)　断熱材の張り付け

- 断熱材は水上より敷設するように墨出しし、一日の作業量単位で張り付ける。降雨が予想される場合は、断熱材下面に水が浸入しないよう処置する。
- 下地と断熱材両面にプルーフセメント NR を塗布し、乾燥後下地に圧着する。目地部にはジョイントテープを張り付ける。

  ※冬場は静電気が発生しやすいのでご注意ください。

(4)　防水シートの割り付け・採寸

- 接合部の重ね合わせ部は 40mm 以上とし、立上り雨仕舞部等、複雑な箇所は防水シート接合部を避けるようにする。

(5)　接着剤の塗布

- 断熱材及び防水シート裏面にプルーフセメント NR を塗布する。

(6)　防水シートの張り付け

- 防水シートの張り付けは接着剤の適正時間内に行い、モップなどを用い充分圧着する。
- また、張り付け後に他業種の工事を行う場合、防水層を損傷させないように養生する。

(7)　溶着・溶接

●シート相互の接合

接合法	端部シール
溶剤溶着　※1 溶着剤「プルーフソルベント」による	液溶接 溶接剤「プルーフシーラー」による
熱融着 熱風溶接機による熱融着	

※1　3枚重ね部、役物まわり等は熱融着による。

(8)　BP-H15 の取り付け

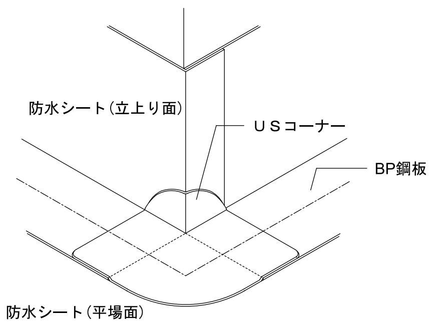
・　出入隅線に BP-H15 をプラグ・ビスで留め付け固定する

・　BP-H15 の継ぎ手には絶縁テープを張り付ける。

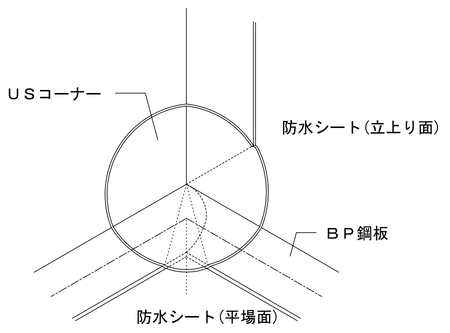
(9)　出隅・入隅、ドレイン・パイプ廻り

・　US コーナーを熱融着する。

●出隅部



●入隅部



※ドレイン・パイプ廻りは詳細図参照。

(10)　端末処理

・　ロンシーラントＴＢまたはロンシーラントＬと所定のアングルを取り付け、ロンシーラントＳを充填または笠木を取り付ける。

　※　納まり図例参照のこと。

<3> 接着断熱工法・歩行対応 124･125・127 仕様

工程表

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)		
一般計画	下地の確認・処理	断熱材の敷設	OLパネルの敷設・固定	防水シートの割り付け・採寸	接着剤の塗布	防水シートの張り付け	溶着・溶接	BP-H15の取り付け	ドレイン・パイプ廻り出隅・入隅、	端末処理	仕上げ点検	検査

(1)　下地の確認・処理

- 耐風圧計算を行い、安全率を確認する。
- 下地の種類により所定の引き抜き強度が発現できない恐れのある場合は予め引き抜き強度を測定し、固定本数を設定する。

(2)　防湿フィルムの敷設(寒冷地の場合)

- 内部結露を防ぐため防湿フイルムを敷設する。
- 風が強い場合などは、ロンタックセメントを使用する。

●寒冷地　Ⅰ～Ⅲ地域（JASS 8 防水仕様に準拠）

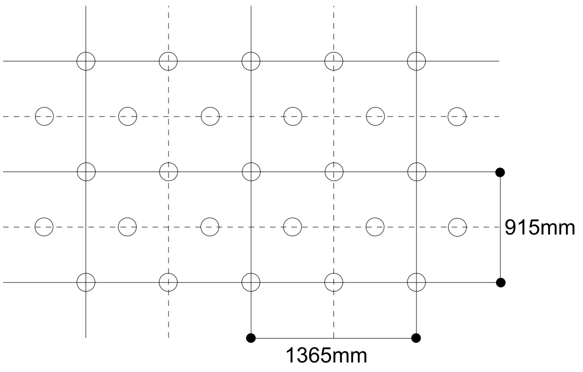
地域の区分	都道府県名
Ⅰ	北海道
Ⅱ	青森県、岩手県、秋田県
Ⅲ	宮城県、山形県、栃木県、新潟県、長野県、福島県

(3)　断熱材の敷設

- 断熱材は水上より敷設するように墨出しし、一日の作業量単位で敷き込む。降雨が予想される場合は、断熱材下面に水が浸入しないよう処置する。

(4)　ＯＬパネルの敷設・固定

- ＯＬパネルは目地を 2～3mm 開け敷き込む。
- 割付に従って、BS-H1、プラグ・ビスで仮留めする。目地部分に 80mm 程度の幅でプルーフセメント NR を塗布し乾燥後ロンテープM を張り付ける。この時、目地部から接着剤が垂れないように注意する。



(5)　防水シートの割り付け・採寸

①　防水シートの採寸・割り付け

防水シートを張り付ける下地面に墨出しする。

② 接合部の重ね合わせ部は 40mm 以上とし、立ち上がり雨仕舞部等、複雑な箇所は防水シート接合部を避けるようにする。

(6) 接着剤の選定・塗布

・ 接着剤の塗布および使用量

接着剤	塗布具	オープンタイム※1	標準使用量※2
プルーフセメント A 平場　片面塗布	くしゴテ	5～10 分	0.35～0.45 kg/m^2
プルーフセメント NR 立上り　両面塗布	毛バケ くしゴテ	10～20 分	0.4～0.6 kg/m^2

※1　温度・風等の気象条件で異なります。　※2　下地の状況で異なります。

(7) 防水シートの張り付け

・ 防水シートの張り付けは接着剤の適正時間内に行い、モップなどを用い充分圧着する。
・ また、張り付け後に他業種の工事を行う場合、防水層を損傷させないように養生する。

(8) 溶着・溶接

●シート相互の接合

接合法	端部シール
溶剤溶着　※1 溶着剤「プルーフソルベント」による	液溶接 溶接剤「プルーフシーラー」による
熱融着 熱風溶接機による熱融着	

※１　３枚重ね部、役物まわり等は熱融着による。

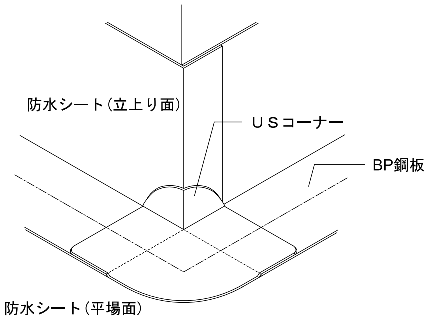
(9) BP-H15 の取り付け

・ 出入隅線に BP-H15 をプラグ・ビスで留め付け固定する。
・ BP-H15 の継ぎ手には絶縁テープを張り付ける。

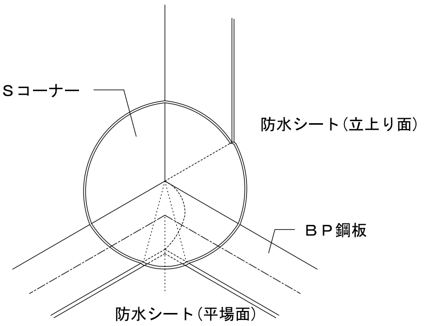
(10) 出隅・入隅、ドレイン・パイプ廻り

・ US コーナーを熱融着する。

●出隅部



●入隅部



※ドレイン・パイプ廻りは詳細図参照。

(11) 端末処理

・ ロンシーラントTBまたはロンシーラントLと所定のアングルを取り付け、ロンシーラントSを充填または笠木を取り付ける。

※ 納まり図例参照のこと。

<4> 機械的固定（絶縁）工法　210 UD 仕様

工程表

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)		
一般計画	下地の確認・処理	ラジアルシートL600の敷き込み	UD-1PVまたはUD-1Nの固定	防水シートの割り付け・採寸	防水シートの敷設・溶融着	BP鋼鈑の取り付け	電磁誘導加熱	ドレイン・パイプ廻り出隅・入隅、	端末処理	仕上げ点検	検査

(1)　下地の確認・処理

- 耐風圧計算を行い、安全率を確認する。
- 下地の種類により所定の引き抜き強度が発現できない恐れのある場合は予め引き抜き強度を測定し、固定本数を設定する。

(2) ラジアルシートＬ600 の敷き込み

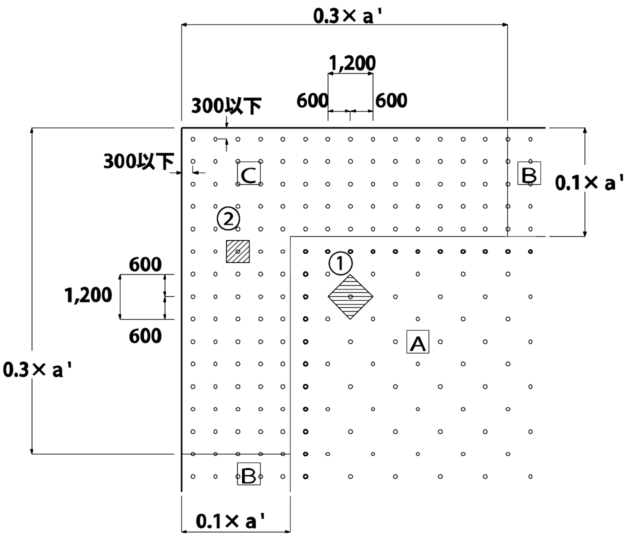
- ラジアルシート L600 は、突き付けにして敷き込む。
- 風が強い場合などは、ロンタックセメントを使用する。

(3) UD-1PV または、 UD-1N の固定

- UD ディスクをプラグ・ビスで所定の位置に固定する。
- EL-2001 を必ず注入する。

　※ＡＬＣ下地の目地部へのビス固定は避けてください。

２１０仕様 ＵＤ工法　　ＲＣ下地



※外周から 0.1× a’ の範囲プラス１列は、600×600ピッチの全打とする。
※0.1× a’より内側２列目からは、千鳥打ちとする。

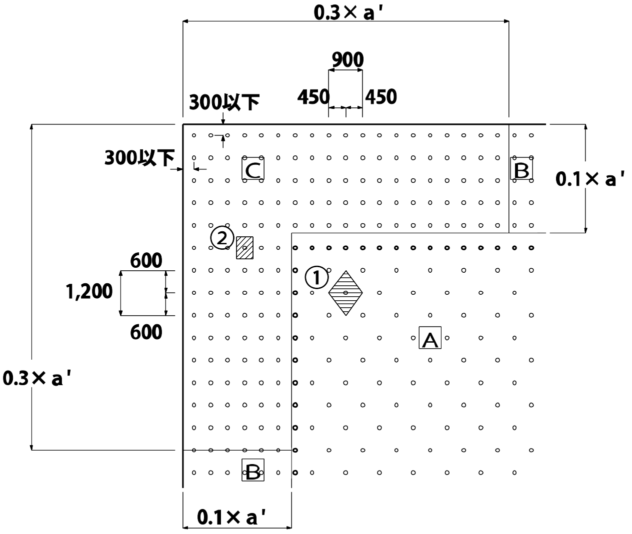
a’ 平面の短辺長さとHの２倍の数値のうちいずれか小さい値
(30mを超えるときは、30mとする)

〈部位ごとのビス(ディスク)負担面積〉

Aの部位	①	0.720 ㎡
B・Cの部位	②	0.360 ㎡

※負担面積から算定した、単位面積あたりの固定強度が、建築基準法で定められた風圧力の２倍以上にならない場合、２倍以上確保できるようビス(ディスク)負担面積を減らしたピッチで施工してください。

２１０仕様 ＵＤ工法　　　　ＡＬＣ下地



※外周から 0.1× a' の 範囲プラス１列は、
600×450ピッチの全打とする。
※0.1× a'より内側２列目からは、千鳥打ち
とする。

a' 平面の短辺長さとＨの２倍の数値の
うちいずれか小さい値
(30mを超えるときは、30mとする)

〈部位ごとのビス(ディスク)負担面積〉

Ａの部位	①	0.540 ㎡
Ｂ・Ｃの部位	②	0.270 ㎡

※負担面積から算定した、単位面積あたりの固定強度が、
建築基準法で定められた風圧力の２倍以上にならない
場合、２倍以上確保できるようビス(ディスク)負担面積
を減らしたピッチで施工してください。

(4) 防水シートの割り付け・採寸

- 接合部の重ね合わせ部は 40mm 以上とし、立ち上がり雨仕舞部等、複雑な箇所は防水シート接合部を避けるようにする。

(5) 防水シートの敷設・溶融着

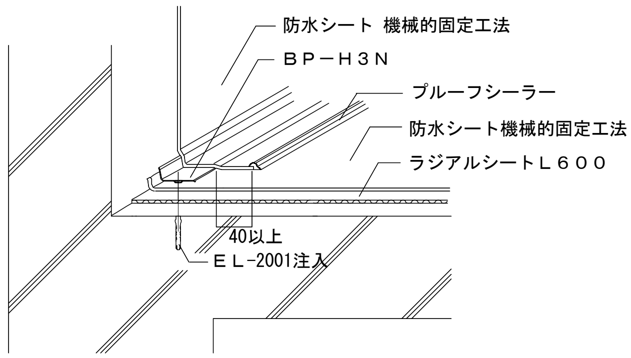
- 防水シートを敷設し、溶融着する。端部はプルーフシーラーで溶接する。

(6) BP 鋼板の取り付け

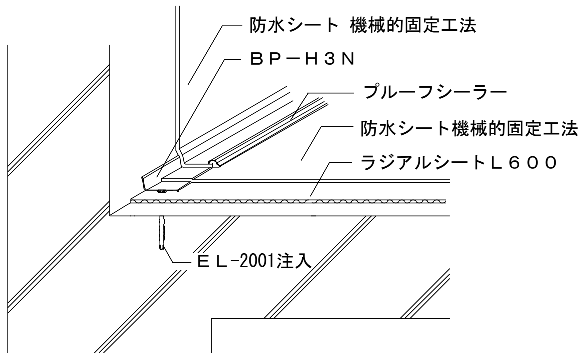
- 出入隅部に BP 鋼板をプラグ・ビスで固定し、シートを溶着する。
- 立上り面を機械的固定工法とする場合には BP-H3N または BP-H3、接着工法とする場合には BP-H2 を使用する。
- BP 鋼板の継ぎ手には絶縁テープを張り付ける。

※ 出入隅部を先付け工法とする場合には、『(3) UD-1PV または、UD-1N の固定』と同時に、BP 鋼板をプラグ・ビスで固定する。

●BP-H3N後付けの場合



●BP-H3N先付けの場合



(7) 電磁誘導加熱

・ UD BOX で加熱融着を行う。

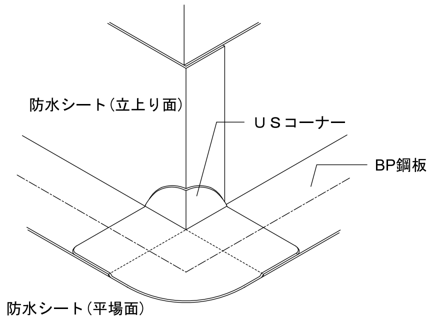
※UD-1PV は、新タイプの UD BOX を使用し、加熱後は必ず 30 秒間圧着治具を載せる。

※UD-1Nは、従来タイプの UD BOX を使用し、加熱後は必ず加圧冷却を行う。または、30 秒間圧着治具を載せる。

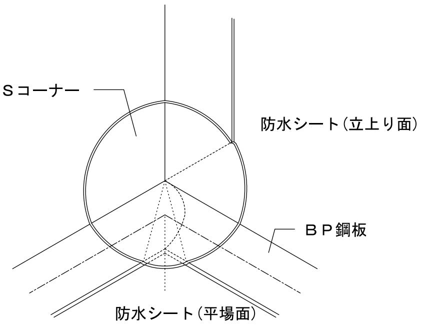
(8) 出隅・入隅、ドレイン・パイプ廻り

・ プルーフコーナーN、または US コーナーを熱融着する。

●出隅部



●入隅部



※ドレイン・パイプ廻りは詳細図参照。

(9) 端末処理

・ ロンシーラント TB・MB またはロンシーラント L と所定のアングルを取り付け、ロンシーラント S を充填または笠木を取り付ける。

※ 納まり図例参照のこと。

<5> 機械的固定（絶縁）工法　210 US 仕様

工程表

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)		
一般計画	下地の確認・処理	ラジアルシートL600の敷き込み	防水シートの割り付け・採寸	防水シートの敷設・溶融着	BP鋼鈑の取り付け	ドレイン・パイプ廻り出隅・入隅、	端末処理	仕上げ点検	検査

(1)　下地の確認・処理

- 耐風圧計算を行い、安全率を確認する。
- 下地の種類により所定の引き抜き強度が発現できない恐れのある場合は予め引き抜き強度を測定し、固定本数を設定する。

(2)　ラジアルシートＬ600 の敷き込み

- ラジアルシート L600 は、突き付けにして敷き込む。
- 風が強い場合などは、ロンタックセメントを使用する。

(3)　防水シートの割り付け・採寸

- 接合部の重ね合わせ部は 40mm 以上とし、立ち上がり雨仕舞部等、複雑な箇所はシート接合部を避けるようにする。

(4)　防水シートの敷設・溶融着

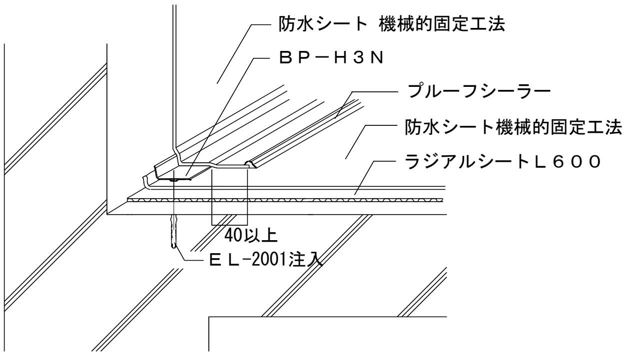
- 防水シートを敷設し、溶融着する。端部はプルーフシーラーで溶接する。

(5)　BP 鋼鈑の取り付け

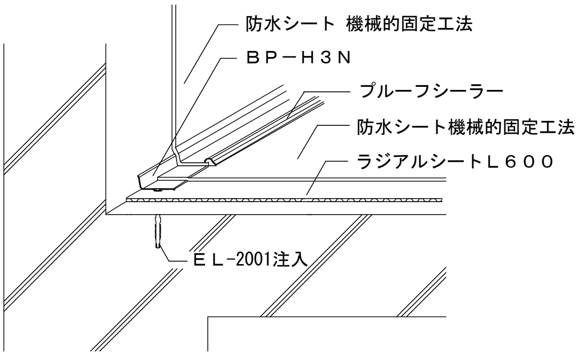
①　出入隅

- 出入隅部に BP 鋼板をプラグ・ビスで固定し、防水シートを溶着する。
- 立上り面を機械的固定工法とする場合には BP-H3N または BP-H3、接着工法とする場合には BP-H2 を使用する。
- BP 鋼板の継ぎ手には絶縁テープを張り付ける。
- 出入隅部を先付け工法とする場合には、『(2)ラジアルシート L600 の敷き込み』の後、BP 鋼板をプラグ・ビスで固定する。

●BP-H3N後付けの場合



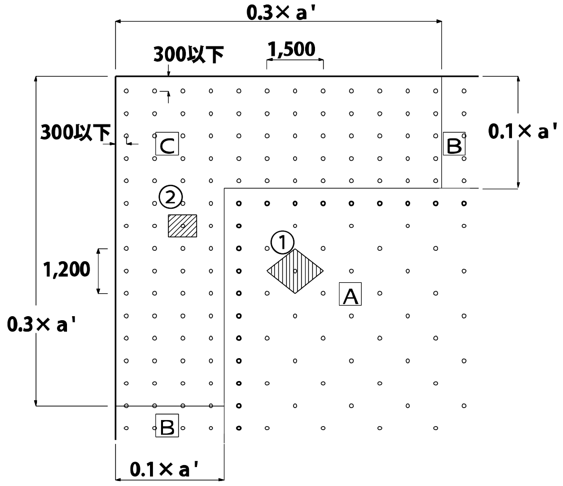
●BP-H3N先付けの場合



② 平場

・ 所定の位置に補強シート S を溶融着する。プラグ・ビスで BP-H1N を固定し、補強シート L を溶融着する。EL-2001 を必ず注入する。
※防水シート重ね部と BP-H1N、補強用パッチが重ならないようにしてください。

２１０仕様ＵＳ工法　　　　ＲＣ下地



※外周から 0.1×ａ’ の範囲プラス１列は、
600×750ピッチの全打とする。
※0.1×ａ’より内側２列目からは、千鳥打ちとする。

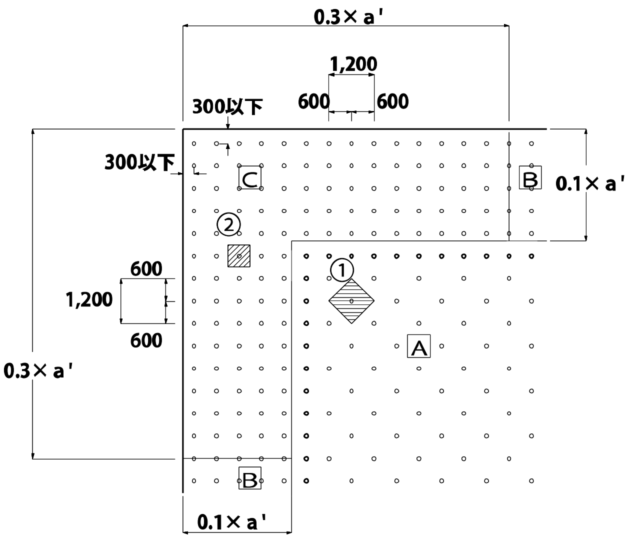
ａ’ 平面の短辺長さとＨの２倍の数値のうちいずれか小さい値
(30mを超えるときは、30mとする)

〈部位ごとのビス(ディスク)負担面積〉

Ａの部位	①	0.900 ㎡
Ｂ・Ｃの部位	②	0.450 ㎡

※負担面積から算定した、単位面積あたりの固定強度が、建築基準法で定められた風圧力の２倍以上にならない場合、２倍以上確保できるようビス(ディスク)負担面積を減らしたピッチで施工してください。

２１０仕様ＵＳ工法　　ＡＬＣ下地



※外周から0.1×ａ’の範囲プラス１列は、600×600ピッチの全打とする。
※0.1×ａ’より内側２列目からは、千鳥打ちとする。

ａ’平面の短辺長さとＨの２倍の数値のうちいずれか小さい値
(30mを超えるときは、30mとする)

〈部位ごとのビス(ディスク)負担面積〉

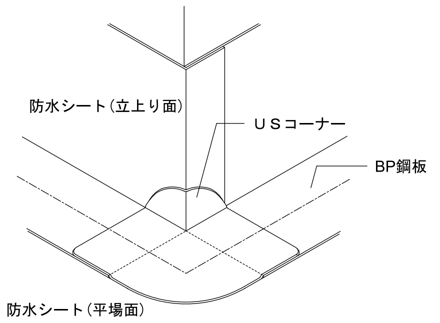
Ａの部位	①	0.720 ㎡
Ｂ・Ｃの部位	②	0.360

※負担面積から算定した、単位面積あたりの固定強度が、建築基準法で定められた風圧力の２倍以上にならない場合、２倍以上確保できるようビス(ディスク)負担面積を減らしたピッチで施工してください。

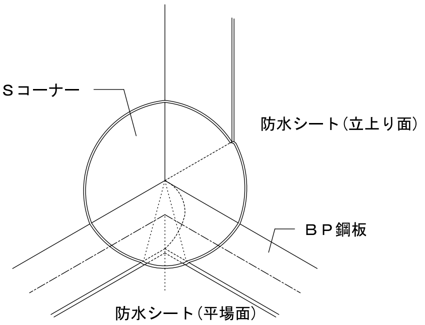
(6)　出隅・入隅、ドレイン・パイプ廻り

・　プルーフコーナーＮ、またはUSコーナーを熱融着する。

●出隅部



●入隅部



※　ドレイン・パイプ廻りは詳細図参照。

(7)　端末処理

・　ロンシーラント TB・MB またはロンシーラント L と所定のアングルを取り付け、ロンシーラント S を充填または笠木を取り付ける。
※納まり図例参照のこと。

<6> 機械的固定（絶縁）・断熱工法　224･225･227 UD 仕様

工程表

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)		
一般計画	下地の確認・処理	断熱材の敷設	ラジアルシートL600の敷き込み	UD-1PVまたは、UD-1Nの固定	防水シートの割り付け・採寸	防水シートの敷設・溶融着	BP鋼鈑の取り付け	電磁誘導加熱	出隅・入隅、ドレイン・パイプ廻り	端末処理	仕上げ点検	検査

(1)　下地の確認・処理

- 耐風圧計算を行い、安全率を確認する。
- 下地の種類により所定の引き抜き強度が発現できない恐れのある場合は予め引き抜き強度を測定し、固定本数を設定する。

(2)　防湿フィルムの敷設(寒冷地の場合)

- 内部結露を防ぐため防湿フイルムを敷設する。
- 風が強い場合などは、ロンタックセメントを使用する。

●寒冷地　Ⅰ～Ⅲ地域（JASS 8 防水仕様に準拠）

地域の区分	都道府県名
Ⅰ	北海道
Ⅱ	青森県、岩手県、秋田県
Ⅲ	宮城県、山形県、栃木県、新潟県、長野県、福島県

(3)　断熱材の敷設

- 断熱材は水上より敷設するように墨出しし、一日の作業量単位で敷き込む。降雨が予想される場合は、断熱材下面に水が浸入しないよう処置する。

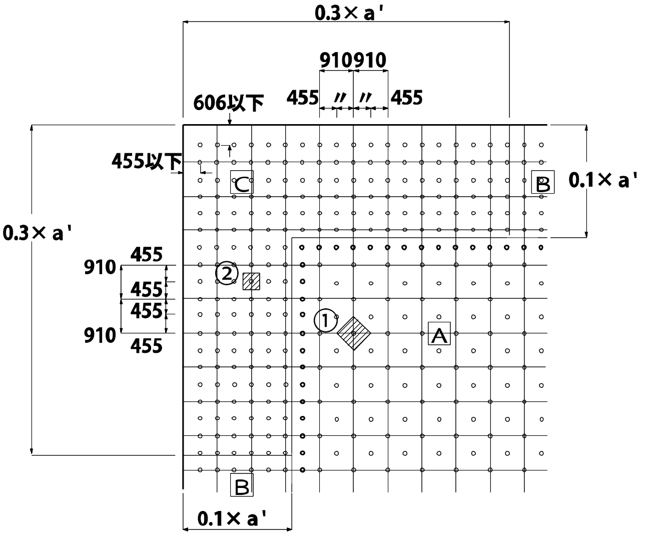
(4)　ラジアルシートＬ600 の敷き込み（227 仕様は敷設しない）

- ラジアルシートＬ600 は、突き付けにして敷き込む。
- 風が強い場合などは、ロンタックセメントを使用する。

(5)　UD-1PV または、UD-1N の固定

- UD 緩衝用パッチの上に UD ディスクをプラグ・ビスで所定の位置に固定する。
- EL-2001 を必ず注入する。

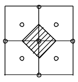
２２４・２２５(スキン層あり)仕様 ＵＤ工法　　　　ＲＣ・ＡＬＣ下地



※外周から 0.1× a’ の範囲プラス１列は、全打とする。
※0.1× a’より内側２列目からは、千鳥打ちとする。

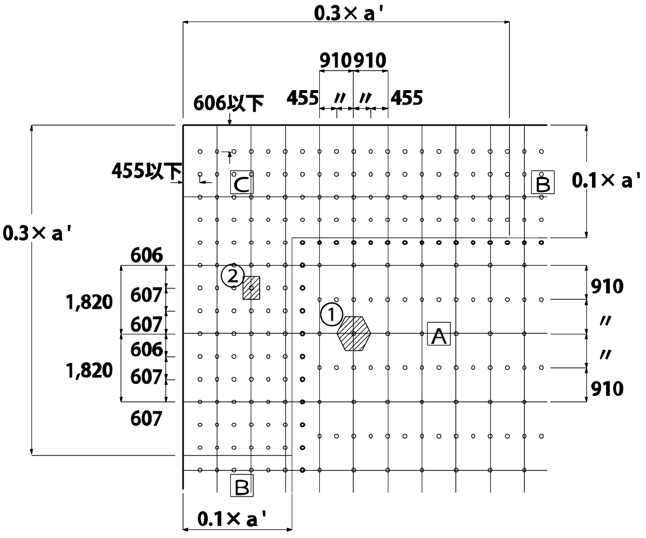
a’ 平面の短辺長さとＨの２倍の数値の
うちいずれか小さい値
(30mを超えるときは、30mとする)

〈部位ごとのビス(ディスク)負担面積〉

Ａの部位	① 	0.414 ㎡
Ｂ・Ｃの部位	②	0.207 ㎡

※負担面積から算定した、単位面積あたりの固定強度が、建築基準法で定められた風圧力の２倍以上にならない場合、２倍以上確保できるようビス(ディスク)負担面積を減らしたピッチで施工してください。

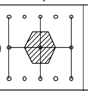
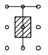
２２５仕様 ＵＤ工法　　　　ＲＣ・ＡＬＣ下地



※外周から 0.1× a’ の範囲プラス１列は、全打とする。
※0.1× a’より内側２列目からは、千鳥打ちとする。

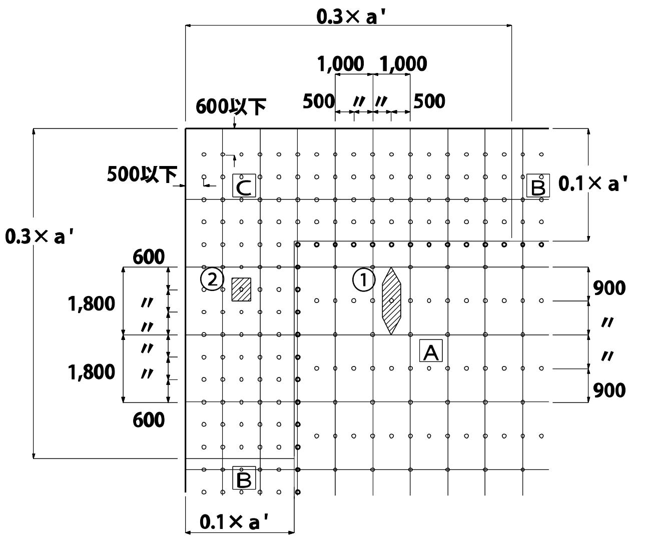
a’ 平面の短辺長さとＨの２倍の数値の
うちいずれか小さい値
(30mを超えるときは、30mとする)

〈部位ごとのビス(ディスク)負担面積〉

Ａの部位	① 	0.621 ㎡
Ｂ・Ｃの部位	② 	0.276 ㎡

※負担面積から算定した、単位面積あたりの固定強度が、建築基準法で定められた風圧力の２倍以上にならない場合、２倍以上確保できるようビス(ディスク)負担面積を減らしたピッチで施工してください。

２２７仕様 ＵＤ工法　　　　　　　　　　　　ＲＣ・ＡＬＣ下地



※外周から0.1×ａ’の範囲プラス１列は、600×500ピッチの全打とする。
※0.1×ａ’より内側２列目からは、千鳥打ちとする。

ａ’平面の短辺長さとＨの２倍の数値のうちいずれか小さい値
(30mを超えるときは、30mとする)

〈部位ごとのビス(ディスク)負担面積〉

Ａの部位	①	0.675 ㎡
Ｂ・Ｃの部位	②	0.300 ㎡

※負担面積から算定した、単位面積あたりの固定強度が、建築基準法で定められた風圧力の２倍以上にならない場合、２倍以上確保できるようビス(ディスク)負担面積を減らしたピッチで施工してください。

(6)　防水シートの割り付け・採寸

- 接合部の重ね合わせ部は40mm以上とし、立ち上がり雨仕舞部等、複雑な箇所は防水シート接合部を避けるようにする。

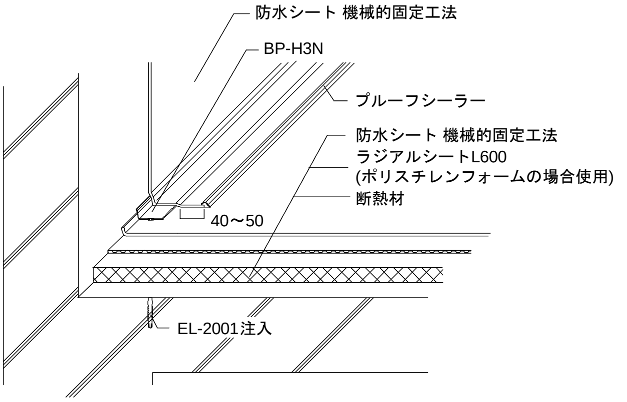
(7)　防水シートの敷設・溶融着

- 防水シートを敷設し、溶融着する。端部はプルーフシーラーで溶接する。

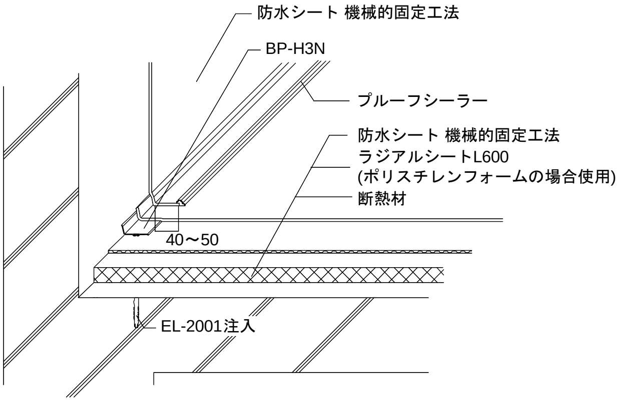
(8)　BP鋼鈑の取り付け

- 出入隅部にBP鋼板をプラグ・ビスで固定し、シートを溶着する。
- 立上り面を機械的固定工法とする場合にはBP-H3NまたはBP-H3、接着工法とする場合にはBP-H15を使用する。
- BP鋼板の継ぎ手には絶縁テープを張り付ける。
- 出入隅部を先付け工法とする場合には、『(4) UD-1PVまたは、UD-1Nの固定』と同時に、BP鋼板をプラグ・ビスで固定する。

●BP-H3N後付けの場合



●BP-H3N先付けの場合



(9) 電磁誘導加熱

・ UD BOX で加熱融着を行う。発振後は必ず加圧冷却を行う。

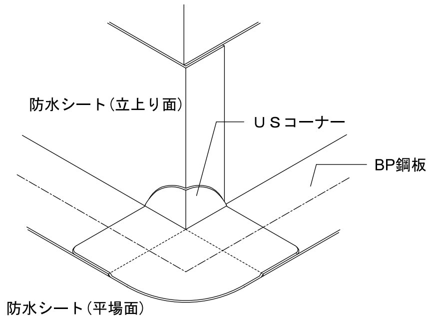
※UD-1PV は、新タイプの UD BOX を使用し、加熱後は必ず 30 秒間圧着治具を載せる。

※UD-1Nは、従来タイプの UD BOX を使用し、加熱後は必ず加圧冷却を行う。または、30 秒間圧着治具を載せる。

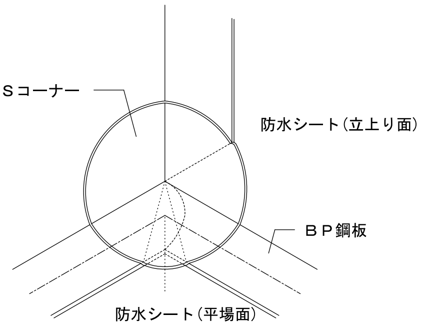
(10) 出隅・入隅、ドレイン・パイプ廻り

・ US コーナーを熱融着する。

●出隅部



●入隅部



※ ドレイン・パイプ廻りは詳細図参照。

(11) 端末処理

・ ロンシーラント TB・MB またはロンシーラント L と所定のアングルを取り付け、ロンシーラント S を充填または笠木を取り付ける。

※ 納まり図例参照のこと。

<7> 機械的固定（絶縁）・断熱工法　224･225･227 US 仕様

工程表

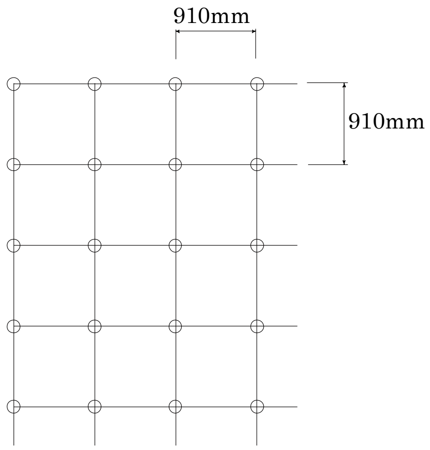
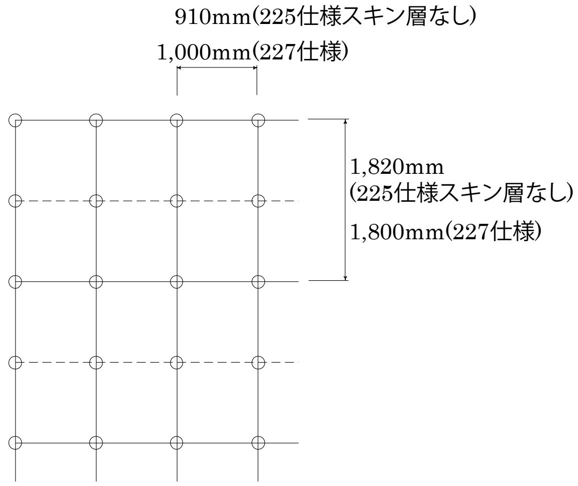
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)		
一般計画	下地の確認・処理	断熱材の敷設	ラジアルシートL600の敷き込み	防水シートの割り付け・採寸	防水シートの敷設・溶融着	BP鋼鈑の取り付け	ドレイン・パイプ廻り出隅・入隅、	端末処理	仕上げ点検	検査

(1)　下地の確認・処理

- 耐風圧計算を行い、安全率を確認する。
- 下地の種類により所定の引き抜き強度が発現できない恐れのある場合は予め引き抜き強度を測定し、固定本数を設定する。

(2)　断熱材の敷設

- 断熱材は水上より敷設するように墨出しし、一日の作業量単位で敷き込む。降雨が予想される場合は、断熱材下面に水が浸入しないよう処置する。
- 断熱材を断熱ファスナーで仮留めする。
- 下地の不陸によって仮止め位置を調整する。

(イ)　224･225（スキン層あり）仕様 RC･ALC 下地	(ロ)　225（スキン層なし）･227 仕様 RC･ALC 下地
	

(3)　ラジアルシートＬ600 の敷き込み（227 仕様は敷設しない）

- ラジアルシートＬ600 は、突き付けにして敷き込む。
- 風が強い場合などは、ロンタックセメントを使用する。

(4)　防水シートの割り付け・採寸

・　接合部の重ね合わせ部は 40mm 以上とし、立ち上がり雨仕舞部等、複雑な箇所はシート接合部を避けるようにする。

(5)　シートの敷設・溶融着

・　防水シートを敷設し、溶融着する。端部はプルーフシーラーで溶接する。

(6)　BP 鋼鈑の取り付け

①　出入隅線

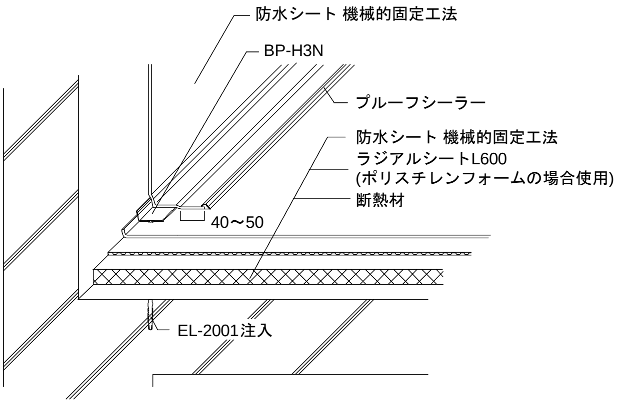
・　出入隅部に BP 鋼板をプラグ・ビスで固定し、防水シートを溶着する。

・　立上り面を機械的固定工法とする場合には BP-H3N または BP-H3、接着工法とする場合には BP-H15 を使用する。

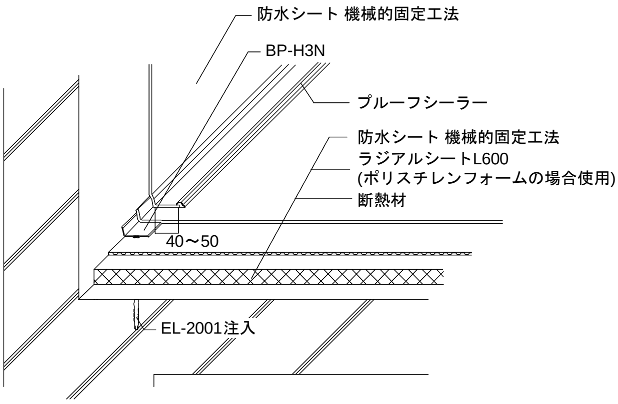
・　BP 鋼板の継ぎ手には絶縁テープを張り付ける。

・　出入隅部を先付け工法とする場合には、『(3)ラジアルシート L600 の敷き込み』の後、BP 鋼板をプラグ・ビスで固定する。

●BP-H3N後付けの場合



●BP-H3N先付けの場合

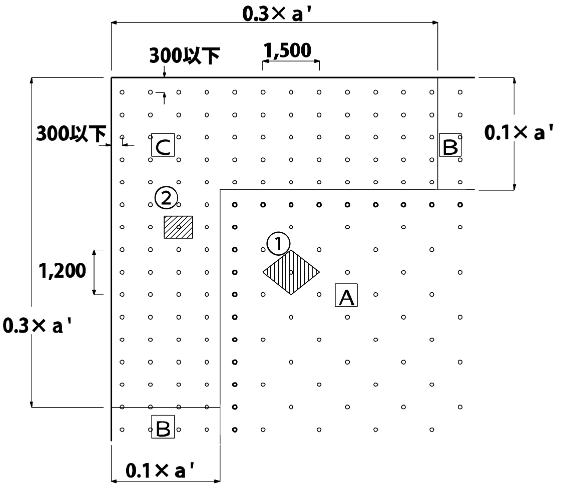


②　平場

・　所定の位置に補強シート S を溶着する。プラグ・ビスで BP-H1N を固定し、補強シート L を溶着する。EL-2001 を必ず注入する。

※防水シート重ね部と BP-H1N、補強用パッチが重ならないようにしてください。

２２４・２２５・２２７仕様ＵＳ工法　　　　ＲＣ下地



※外周から 0.1× a’ の範囲プラス１列は、600×750ピッチの全打とする。
※0.1× a’より内側２列目からは、千鳥打ちとする。

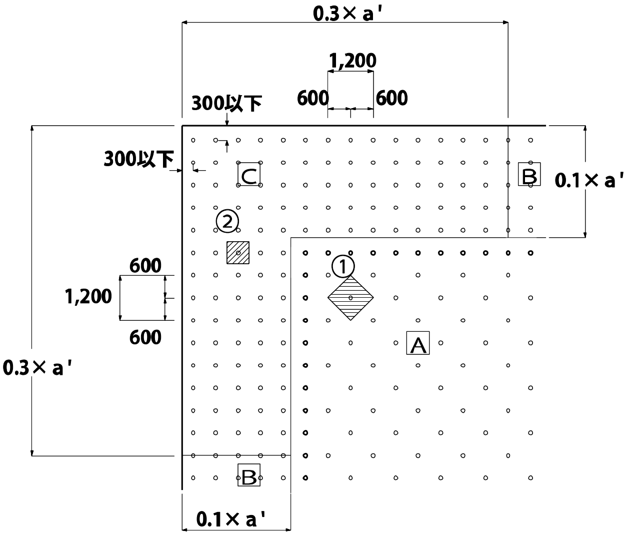
a’ 平面の短辺長さとHの２倍の数値のうちいずれか小さい値
(30mを超えるときは、30mとする)

〈部位ごとのビス(ディスク)負担面積〉

Aの部位	①	0.900 ㎡
B・Cの部位	②	0.450 ㎡

※負担面積から算定した、単位面積あたりの固定強度が、建築基準法で定められた風圧力の２倍以上にならない場合、２倍以上確保できるようビス(ディスク)負担面積を減らしたピッチで施工してください。

２２４・２２５・２２７仕様ＵＳ工法　　　　ＡＬＣ下地



※外周から 0.1× a’ の範囲プラス１列は、600×600ピッチの全打とする。
※0.1× a’より内側２列目からは、千鳥打ちとする。

a’ 平面の短辺長さとHの２倍の数値のうちいずれか小さい値
(30mを超えるときは、30mとする)

〈部位ごとのビス(ディスク)負担面積〉

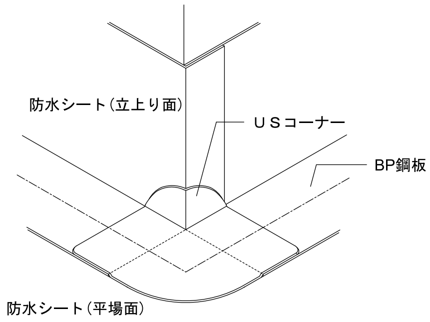
Aの部位	①	0.720 ㎡
B・Cの部位	②	0.360 ㎡

※負担面積から算定した、単位面積あたりの固定強度が、建築基準法で定められた風圧力の２倍以上にならない場合、２倍以上確保できるようビス(ディスク)負担面積を減らしたピッチで施工してください。

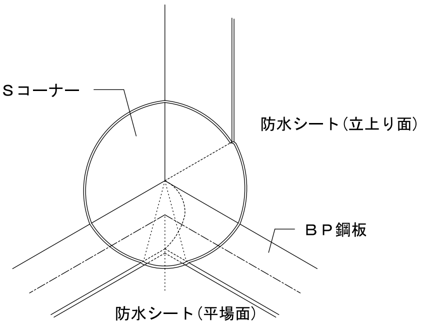
(7)　出隅・入隅、ドレイン・パイプ廻り

・　US コーナーを熱融着する。

●出隅部



●入隅部



※　ドレイン・パイプ廻りは詳細図参照。

(8)　端末処理

・　ロンシーラント TB・MB またはロンシーラント L と所定のアングルを取り付け、ロンシーラント S を充填または笠木を取り付ける。

※ 納まり図例参照のこと。

8. 責任施工

	組合は、施工の責任を全うするため、下記の施策をとっています。
(1) 組合員の責任	組合は、全国各地より信頼できる施工店をもって組織し、常に施工品質の向上と完全な施工を行っています。
(2) 保　証	組合員が本仕様書に基づいて施工した防水工事については、保証書の要求があった場合、組合員とメーカー連署の保証書を発行します。 材料保証：メーカー保証　　工事保証：組合員
(3) 免　責	天災、突発的・間接的原因、異常の外力、維持管理の不備及び不可抗力などにより発生した防水層の不具合、および防水機能が保たれている場合は、保証対象外とします。 保証対象外となっている事例を以下に記載します。(但し、これらの事例に限定されるものではありません。) 天災 ・地震、台風、噴火、津波。落雷、雹等による防水層の損傷。 ① 突発的原因 ・事故、火災、その他人為的な破壊行為（室外機・避雷針の設置等）による防水層の損傷。 ・偶発的な飛来物及び落下物による防水層の損傷。 ② 間接的な原因 ・防水下地（コンクリート、金属、木質板など）のひび割れ、動き、振動、取付不良による防水層の損傷。 ③ 異常な外力 ・建築基準法に定められた基準を上回る、強風による防水層の損傷。 ・防水層上への重量物の設置による防水層の損傷。 ・建物内部からの空気圧による防水層の損傷。 ④ 維持管理の不備 ・「お客様ガイド（お引渡し用)」を遵守されなかったことに起因する防水層の損傷。 ・排水口（排水溝)、オーバーフロー管の目詰まり。 ・つららの落下、雪下ろし時の防水層の損傷。 ・排気口から飛散した油、化学物質の付着による防水層の損傷。 ・多人数による歩行、頻繁な歩行による防水層の損傷。 ・器物による防水層の損傷。 ・動物、昆虫、植物による防水層の損傷。 ・カビ、苔の発生による防水層の損傷。 ⑤ 防水機能が保たれているもの ・防水層に発生したふくれ、およびしわ。 ・下地勾配の不備およびシート接合部の段差による防水層上の水溜り。

⑥　その他

・建物の管理者が防水層の定期点検時に、異常に気付きながら放置した場合。

・無理な工期により、施工管理が徹底できなかった場合。

・保証書の対象防水層を、保証書発行者以外の者が、発行者に無断で補修した場合。

・防水層末端部のシーリングの劣化に伴う不具合。

・施工時の技術水準では予測できない原因による不具合。

・防水施工範囲外からの浸水による漏水。

※保証書の補修範囲は、ロンプルーフ防水システムに発生した不具合に限定され、記載の無い事項は施主と元請け業者との工事契約書によるものとする。

9.　維持管理

(1)　次の行為は漏水の原因となりますので、下記の点にご留意下さい。

(ｲ)　重量物の移動により傷をつける行為は避けて下さい。

(ﾛ)　刃物の使用により切傷をつける行為は避けて下さい。

(ﾊ)　強い衝撃を加える行為は避けて下さい。

(ﾆ)　煙草のもみ消し行為は避けて下さい。

(ﾎ)　その他、防水層に損傷を与える行為、及び作業は避けて下さい。

(2)　次の事項が発生した場合は、組合員にご連絡下さい。

(ｲ)　増改築、機器の取付け等、防水層に手を加える必要があるとき。

(ﾛ)　漏水していなくても防水層、及び端末金具等に異常を発見した場合。

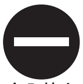
10. 施工上の注意点

警告

接着剤、溶着剤、保護塗料などを使用する場合は火気厳禁とし、室内での施工や室内に溶剤分が流入する恐れのある場合には、換気を行ってください。有機溶剤は引火しやすく、また多量に摂取すると人体に影響を及ぼす可能性があります。缶に表示されている注意事項を守り、消防法および労働安全衛生法の法令に従って作業してください。

注意

1. 立ち入り禁止



施工中は、他業者による汚損、事故の発生を防ぐために、防水工事関係者以外の立ち入りを禁止してください。

2. 投棄禁止

使用済みの缶類、残材シートなどは、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託してください。焼却すると臭気、有害ガスが発生しますので、焼却はしないでください。梱包紙、包装ケースなどを焼却する場合は、都道府県条例に基づき焼却してください。

3. 急勾配で施工する場合は、材料、機器・工具の転倒防止、落下防止にご配慮下さい。
4. 風の強い日は材料、機器・工具の転倒防止、あおられ、飛散防止にご配慮ください。人災、器物破損の原因になることがあります。

お願い

1. 包装紙あるいは、梱包ケースに記載されている品名・品番・ロット・数量を確認の上、取り扱いの注意事項に従って施工を開始してください。
2. 施工下地の強度、平滑度、勾配を確認してください。レイタンス、突起物、油汚れ、塗料、ゴミなどを除去してください。剥がれ、浮きおよび水溜まりの原因となり、防水層の耐久性に影響を与えます。
3. 接着工法の場合、下地の水分は高周波水分計（ケット水分計）で９％以下を目安とします。施工条件を遵守しなかった場合は、剥離、浮き、膨れ、凍害が生じ、漏水の原因となることがあります。
4. 接着剤や溶剤などをこぼした場合は、速やかに拭き取ってください。
5. 接着の際は、製品ごとの指定接着剤を使用し、ロンシール指定のくしゴテで均一に塗布してください。すり減ったくしゴテを使用すると所定の塗布量が得られず、接着不良となり耐久性に影響を及ぼす可能性があります。目立てをするか新しいくしゴテを使用してください。
6. 接着施工後は、モップ、ローラーなどで十分に圧着してください。圧着不良は接着不良につながり、防水層の剥離、浮き、膨れ、収縮などが生じ、耐久性に影響を及ぼす可能性があります。

11. 保管・運搬上の注意

注意	1. シートは重量物(約 20～70kg/巻程度)ですので、荷扱いには十分ご注意ください。落下や乱暴な取り扱いは、シートの傷つきだけでなく、傷害や器物破損などの事故を招く場合があります。 2. 運搬などには手がきは使用しないでください。
お願い	1. シートは梱包を解かずに平坦な場所または平らな板に横積みとし、段重ねはしないでください。（井型、枕木は不可）転がり防止のコッターなどを使用してください。角材の上に置く場合や斜めに立て掛けることによって角に集中荷重がかかり、変形する可能性があります。 2. 屋外に一時保管する場合は、ブルーシートなどで覆い、直射日光や雨に当たらないようにしてください。 3. シートは運送中に荷崩れしないようにコッター・ひもなどで結わえてください。 4. シートの上に他の物品（接着剤、溶剤などの缶類など）を積載しないでください。材料の変形・破損の原因となります。

12. 防水工事チェック表

次頁のチェック表を参考に、ご利用ください。

防水工事チェック表

年　　　月　　　日　調査者

物件名		施工完了年月日	
施工箇所		施　工　業　者	

◎施工前準備確認

No.	項目	判定	判定後×のついた項目について改善する	補修後の判定
1	当該物件での防水工法，使用するシートは把握しているか			
2	防水工事範囲、工事箇所を把握しているか			
3	防水工事における工程期間を把握しているか			
4	「防水工事施工要領書」を元請に提出しているか			
5	他業者の工程確認（他業者による防水シート損傷防止）			
6	工事中の降雨によるドレイン養生計画の確認			
7	工程に見合った職方の員数ならびに技能士や玉掛け、クレーン作業などの有資格者の確認			
8	保管場所、保管量の確認（床版の許容荷重の確認、降雨による材料濡れの防止措置、施工計画）			
9	電源の位置を確認したか（配線ルートの確保）			
10	施工に先立ち安全確保は確認したか（消火器位置、避難経路の確認、墜落防止措置の確認等）			

◎下地の確認

No.	項目	判定	判定後×のついた項目について元請監督者と協議し改善する	補修後の判定
1	施工の全体形状、立上り形状および高さ、軒先形状、水勾配の形状や水溜りの確認			
2	以下の項目を確認したか			
2-1	・レイタンス、ジャンカ等の脆弱部の処理			
2-2	・下地にクラックがないことの確認（クラックがある場合ポリマーセメント処理）			
2-3	・凹凸部や欠損部の措置（切削、ポリマーセメント処理）			
2-4	・5mm を超える段差が見られた場合の平滑処理			
2-5	・出隅の 3～5mm の小面取り処理、入隅において直角処理			
2-6	・規定以上のビス固定耐力の確認（引抜試験を行い確認したか）			
3	ドレインや通気管廻りが平滑であるかの確認（凹凸が見られる場合はポリマーセメント処理）			
4	架台廻りの切り付けの確認、立上り部のジャンカ等の脆弱部の確認および平滑であるかの確認			

◎搬入時の確認事項

No.	項目	判定	判定後×のついた項目について元請監督者と協議し改善する	補修後の判定
1	納品時、外傷や梱包破れなどの荷姿、梱包状態を確認したか			
2	安全通路、搬入設備、搬入日は元請との打合せならびに施工要領書通りであるか			
3	重機による搬入に際して、有資格者がクレーンならびに玉掛け作業を行っているか			
4	前もって計画を行った保管場所に材料が置かれているか			
5	シートは適切に保管されているか			
6	ラベルを確認し、使用するシートであるかの確認を行ったか			
7	絶縁シート、各接着剤、シール材、プルーフシーラー、断熱材、塩ビ被覆亜鉛鋼板、押え金物など副資材の品名、種類等の確認を行ったか			
8	材料の量は、納品書と照合し相違がないかを確認したか			
9	製造年月日またはロットナンバーを確認し、有効期限内であることを確認したか			

◎施工中の確認事項Ⅰ（接着工法の場合）

No.	項目	判定	判定後×のついた項目について改善する	補修後の判定
1	施工前に下地の清掃を行い、ゴミや異物がないことを確認したか			
2	接着剤塗布時、下地に塗布ムラがないことを確認したか			
3	接着剤の塗布範囲は、施工可能時間以内の面積としたか			
4	接着剤の塗布に際して、のり溜りはなかったか			
5	接合幅は 40mm 以上で墨出しを行ったか			
6	シート張り付けに際して接着剤のオープンタイムは規定以上確保したか			
7	シート張り付けの状態は、浮きや蛇行、しわなどの不具合がないか確認したか			
8	シート張り付け後、十分転圧作業を行ったか			
9	接合部には接着剤が付着していないか			
10	接合部を溶剤、熱融着後、ハンドローラーにて十分転圧を行ったか			
11	接合部が 3 枚重ねの場合は、ステッチャーなどでつぶし処理を行ったか			
12	押え金物、ＢＰ鋼板を確実に取付けたか			
13	シール材は適所に充填し、また打ち忘れはないか			
14	接合部を溶着後、プルーフシーラーにて端部処理を行ったか、打ち忘れはないか			

◎施工中の確認事項Ⅱ（機械的固定工法）

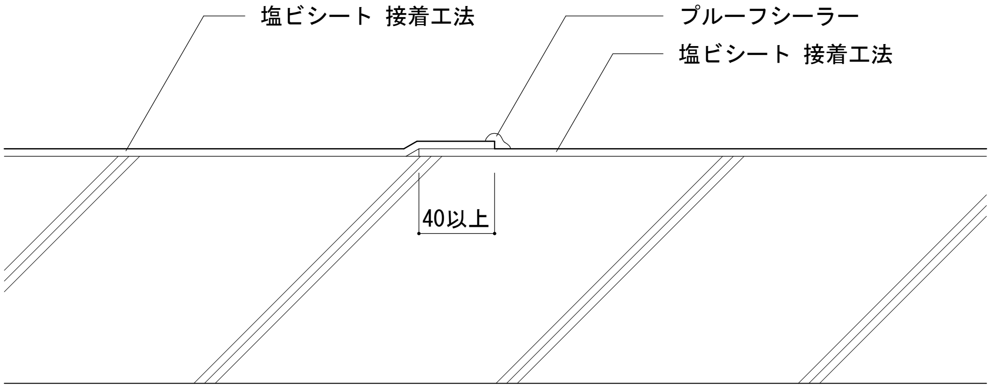
No.	項目	判定	判定後×のついた項目について改善する	補修後の判定
1	施工前に下地の清掃を行い、ゴミや異物がないことを確認したか			
2	ドレインやパイプ廻りの張り仕舞（位置や面取り）を確実を行ったか			
3	ラジアルシートの敷設は通りよく、また隙間のテープ処理を行ったか			
4	ディスク固定前に、シート割付を墨出しにて行ったか（4 枚重ねにならないように注意する）			
5	接合幅は 40mm 以上で墨出しを行ったか			
6	シート張り付けの状態は、浮きや蛇行、しわなどの不具合がないか確認したか			
7	接合部を溶剤、熱融着後、ハンドローラーにて十分転圧を行ったか			
8	接合部が 3 枚重ねの場合は、ステッチャーなどでつぶし処理を行ったか			
9	固定ディスクの割付は耐風圧算定図通りの割付で行ったか			
10	固定ビスはぐらつきやビスの頭が突き出していないか			
11	ＲＣ、ＰＣ、ＡＬＣ下地のビス穿孔穴にＥＬ－２００１を注入し固定したか			
12	補強シートＬの溶着で口空き等の不具合は生じていないか			
13	入隅、出隅部の成形役物の溶着で口空き等の不具合は生じていないか			
14	ＢＰ鋼板を確実に取付けたか			
15	シール材は適所に充填し、また打ち忘れはないか			
16	接合部を溶着後、プルーフシーラーにて端部処理を行ったか			
17	断熱材を設ける場合は、以下の項目を確認したか			
17-1	断熱材は極端な浮きや蛇行などがないか敷設の状態を確認したか			
17-2	断熱材の隙間は 5mm 以上空いてないか			

◎施工終了時の自主確認

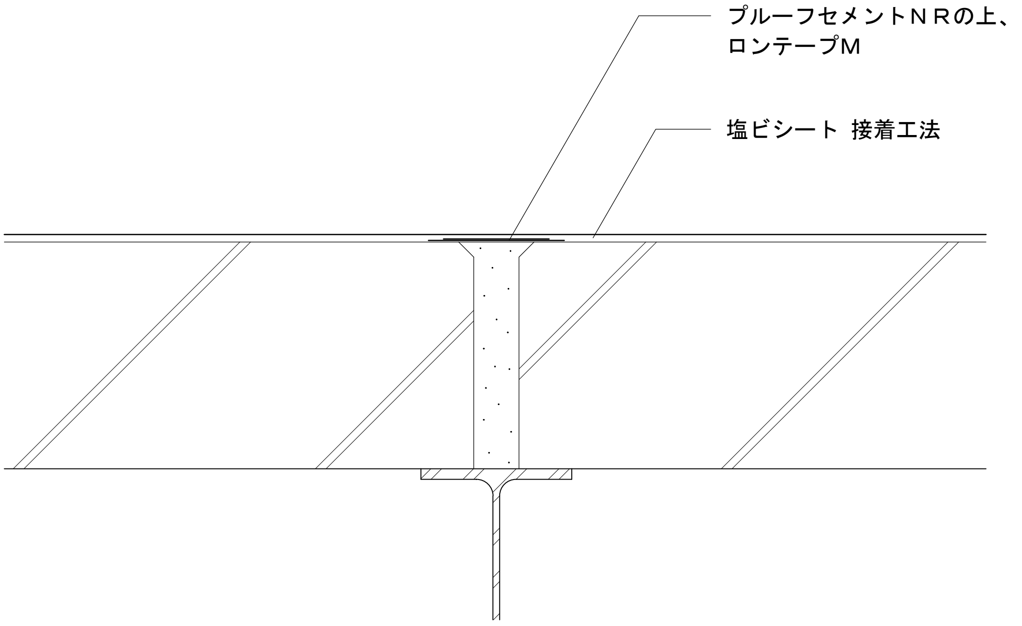
No.	項目	判定	判定後×のついた項目について改善する	補修後の判定
1	施工範囲全体の清掃を行ったか			
2	シート相互の溶着幅は 40mm 以上あるか			
3	施工中におけるシートのキズ等の損傷はないか（目視またはピンホールテスターにて確認）			
4	シート接合部におけるチェック棒での溶着確認を行ったか			

13. 防水標準施工図

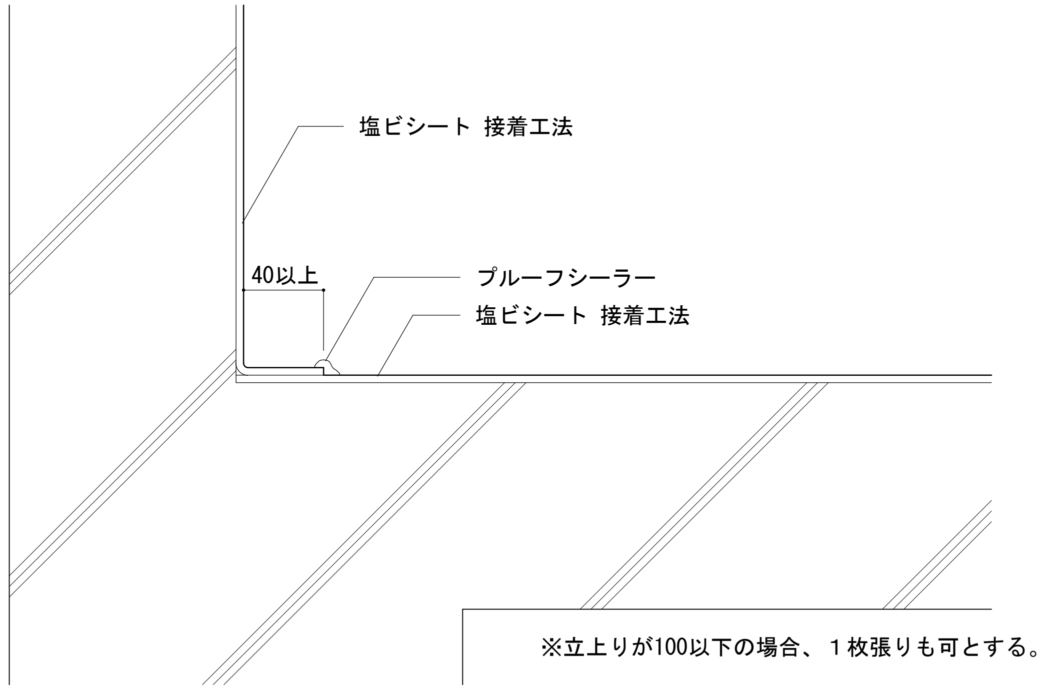
工法概要		接着工法			機械的固定工法	
		非断熱	非歩行断熱	歩行断熱	非断熱	非歩行・断熱
仕様名		110 仕様	123 仕様	124・125・127 仕様	210 仕様	224・225・227 仕様
国土交通省 公共建築工事標準仕様書		S-F2	S-F2 相当 （特記仕様）	S-F2 相当 （特記仕様）	S-M2	S-M2 相当 （特記仕様）
日本建築学会　建築工事標準 仕様書　JASS 8 防水工事		S-PF	S-PFT	S-PF 相当 （特記仕様）	S-PM	S-PMT
平場		1-1 1-2	2-1	3-1 3-2	4-1 4-2	5-1 5-2
立上り角		1-3 1-4	2-2	3-3 3-4	4-3 4-4	5-3 5-4
パラペット	あごあり	1-5 1-6			4-5 4-6 4-7	
	あごなし	1-7			4-8 4-9	
	笠木	1-8 1-9			4-10 4-11	
ドレイン 廻り	タテ型	1-10	2-3	3-5	4-12	5-5
	イメージ図				4-13	
	ヨコ型	1-11	2-4	3-6	4-14	5-6
	イメージ図				4-15	
エキスパンション		1-12				
パイプ廻り		1-13	2-5	3-7	4-16	5-7
軒先		1-14 1-15 1-16 1-17			4-17 4-18 4-19 4-20	
壁部		1-18 1-19 1-20				
手摺り基礎廻り		1-21				
クーリングタワー台座		1-22				
出入口		1-23		3-8		
ドアサッシ		1-24		3-9		
側溝		1-25	2-6	3-10	4-21 4-22	5-8 5-9
脱気装置	脱気盤 30L	1-26			4-23	5-10
	ステンレス ベントロン	1-27			4-24	5-11



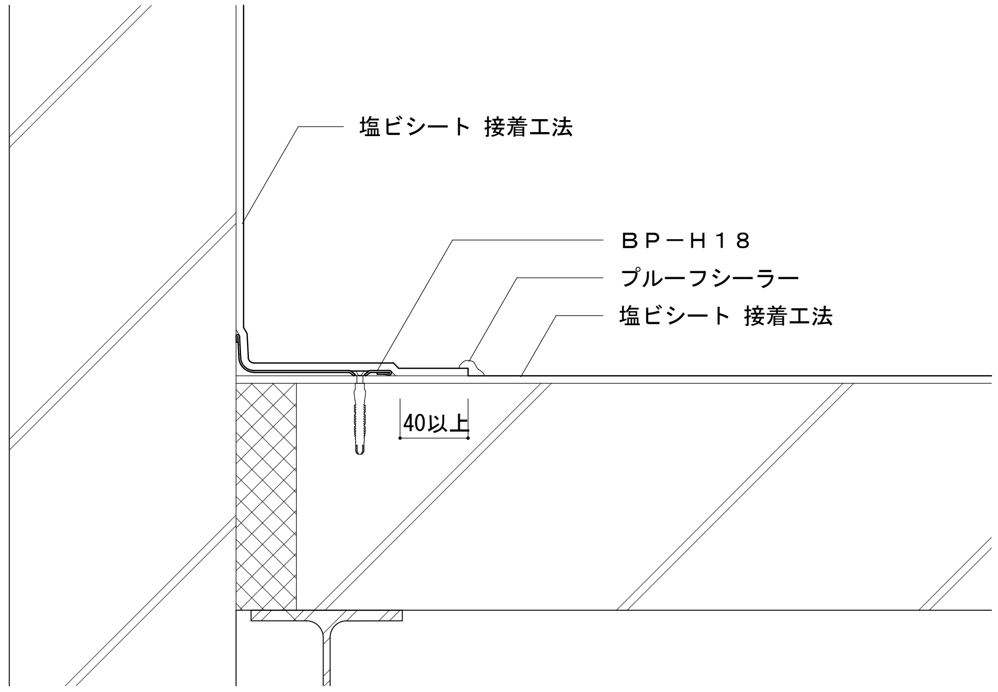
１１０仕様	下地：ＲＣ	部位：平場	Ｓ＝１：５	図番　１－１



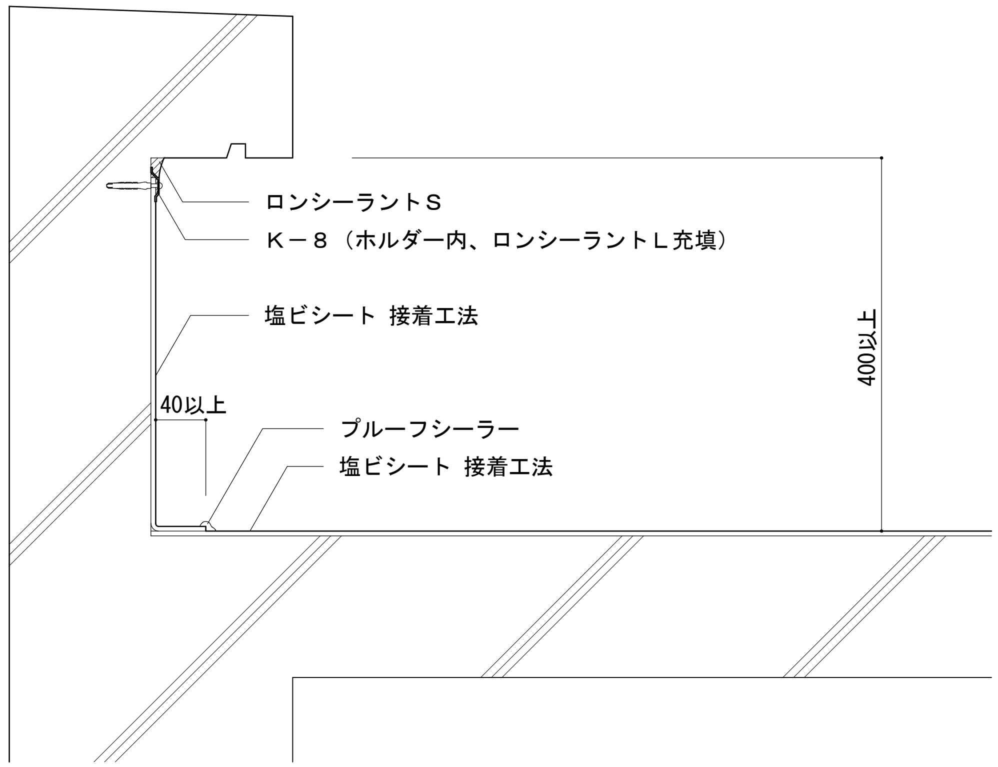
１１０仕様	下地：ＡＬＣ	部位：平場	Ｓ＝１：５	図番　１－２



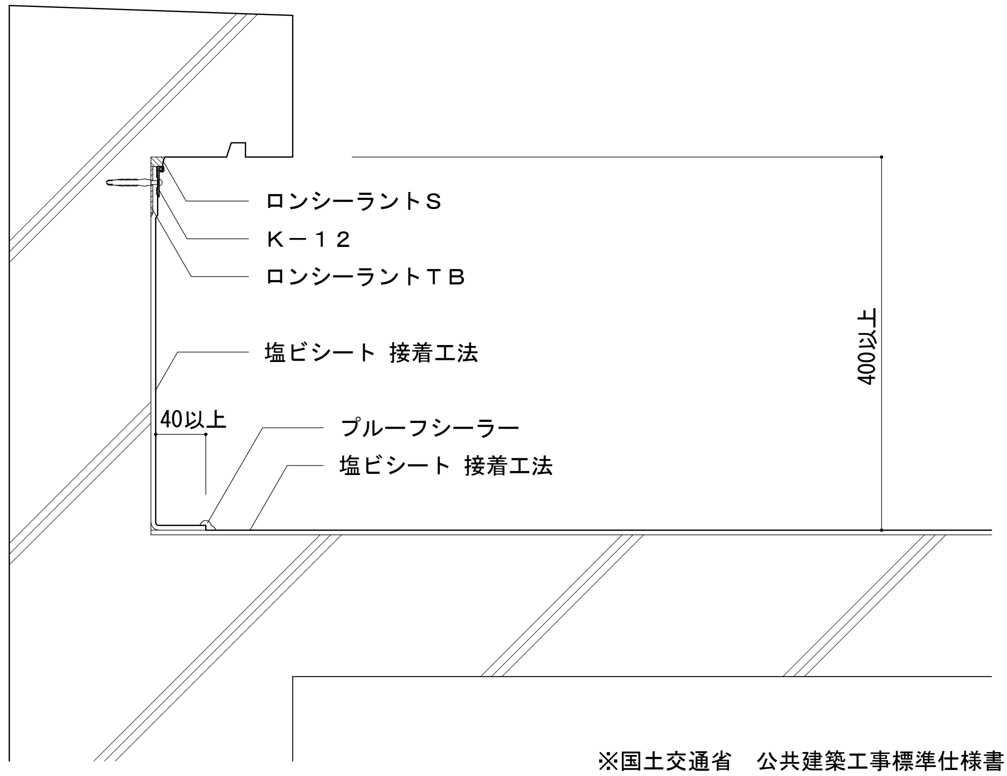
110仕様	下地：ＲＣ	部位：立上り角	Ｓ＝１：５	図番　１－３



110仕様	下地：ＡＬＣ	部位：立上り角	Ｓ＝１：５	図番　１－４

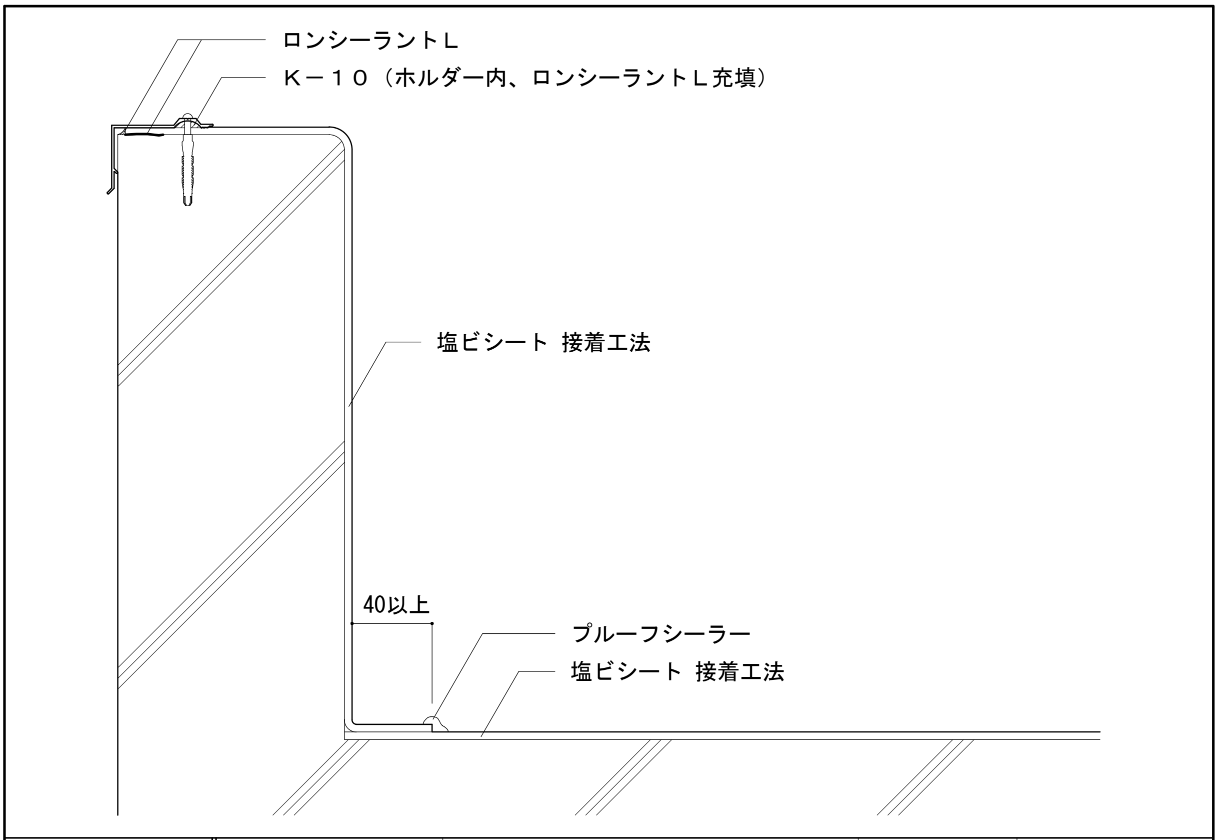


１１０仕様	下地：ＲＣ	部位：パラペット	Ｓ＝１：８	図番　１－５

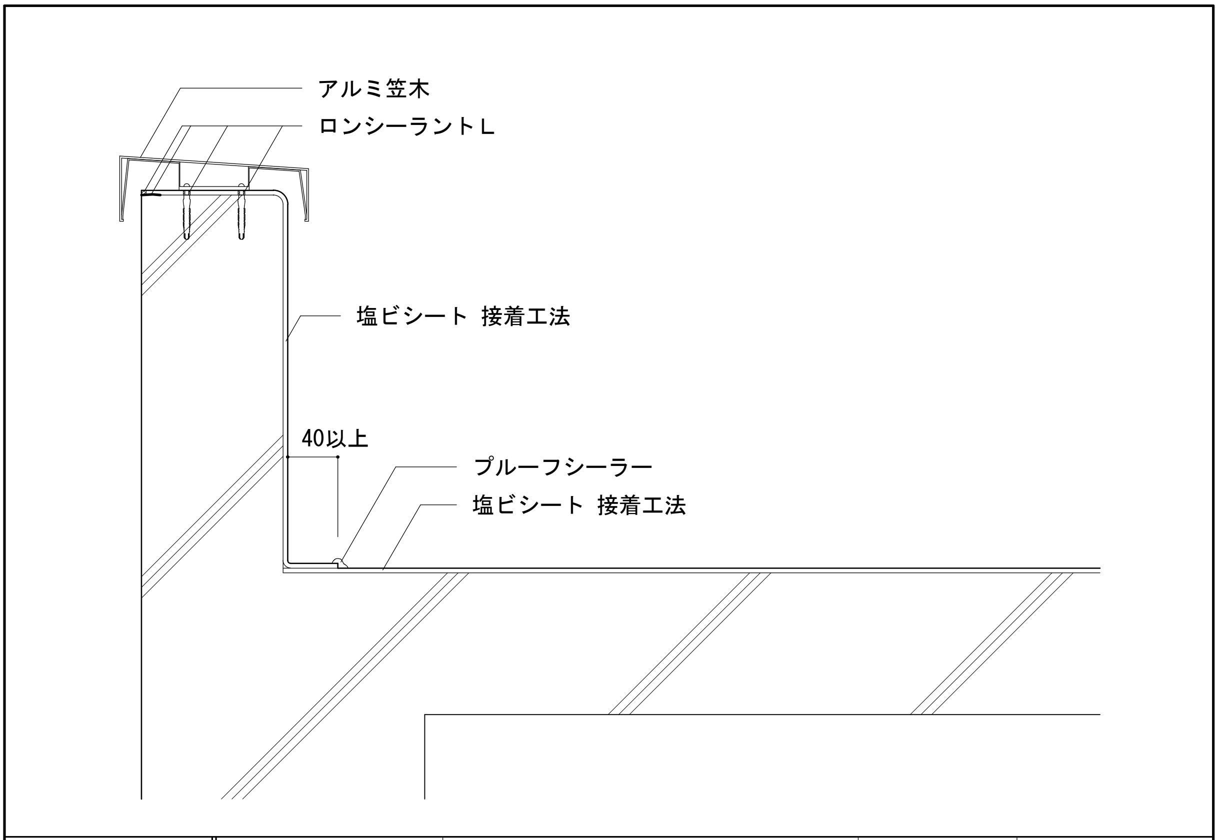


※国土交通省　公共建築工事標準仕様書より

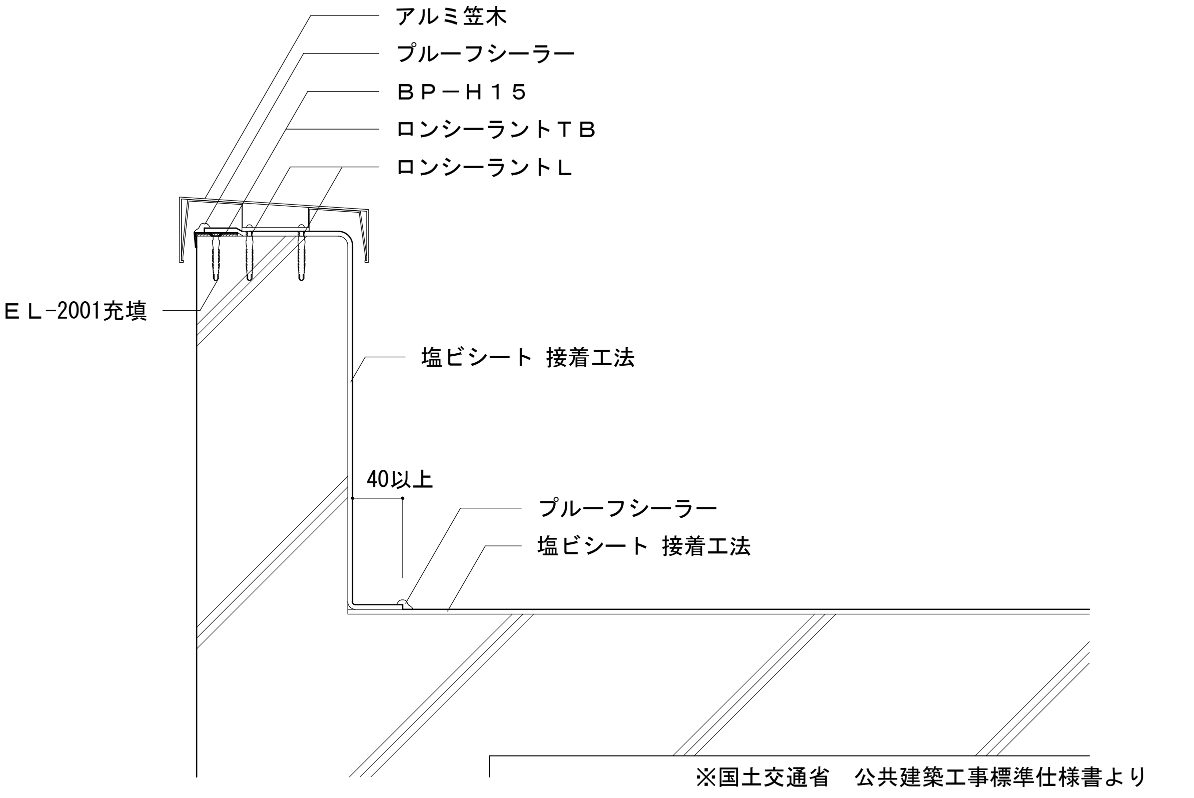
１１０仕様	下地：ＲＣ	部位：パラペット	Ｓ＝１：８	図番　１－６



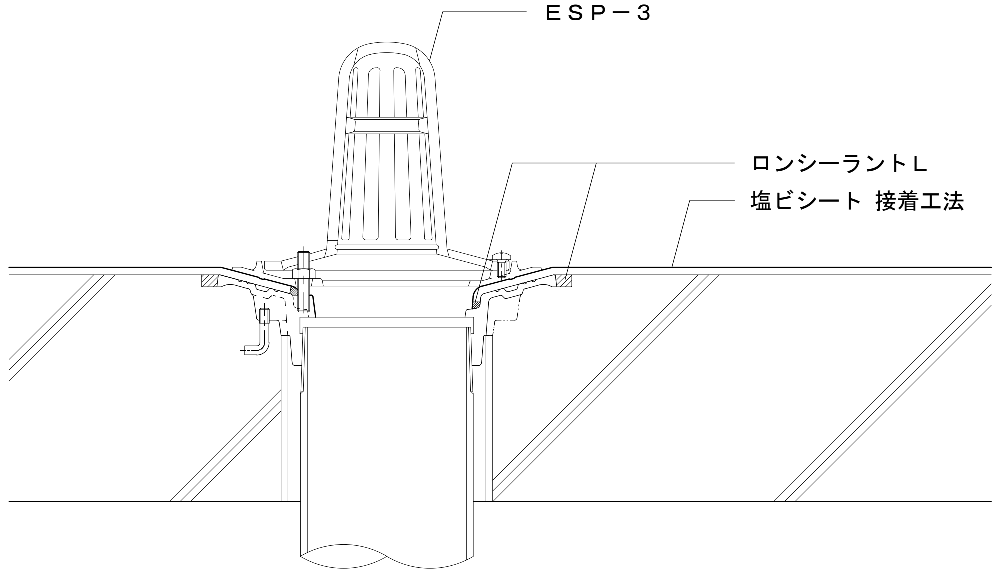
１１０仕様	下地：ＲＣ	部位：パラペット	Ｓ＝１：５	図番　１－７



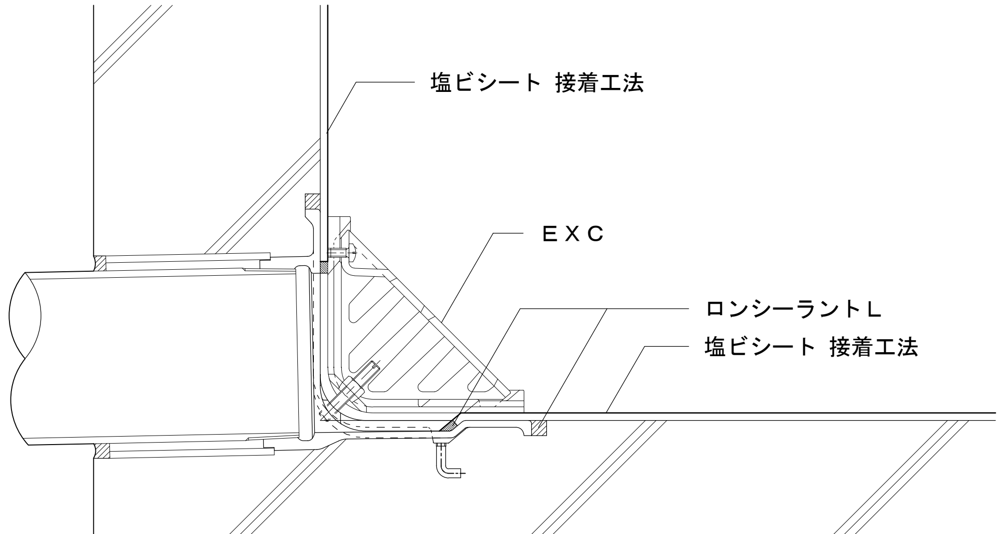
１１０仕様	下地：ＲＣ	部位：パラペット	Ｓ＝１：８	図番　１－８



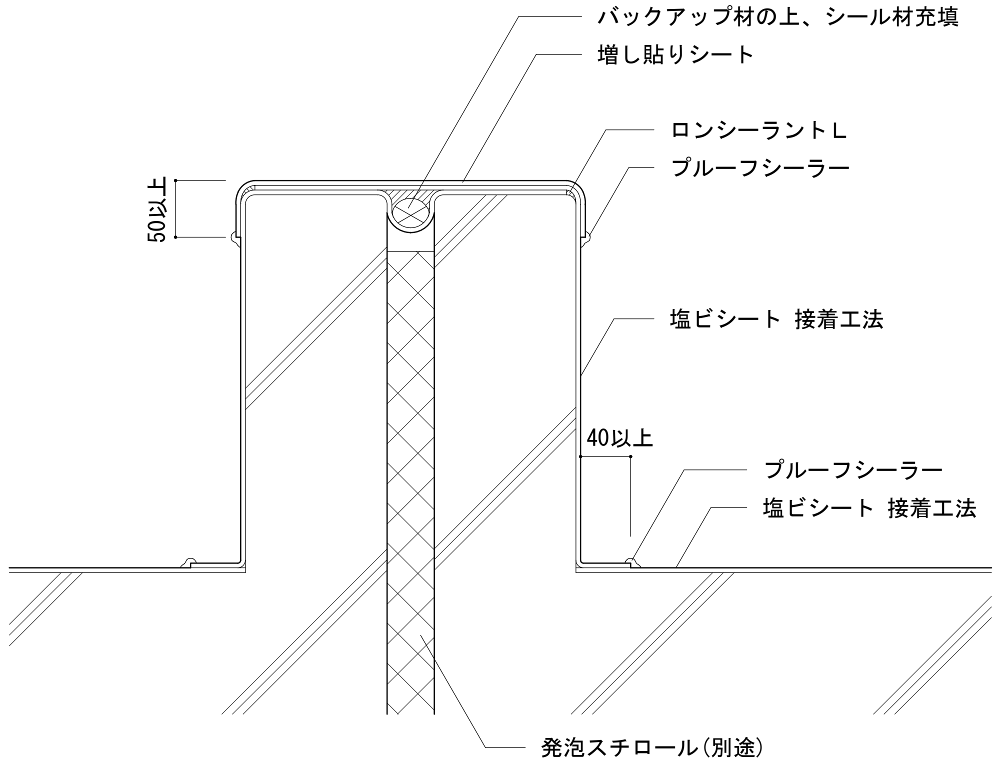
１１０仕様	下地：ＲＣ	部位：パラペット	Ｓ＝１：８	図番　１－９



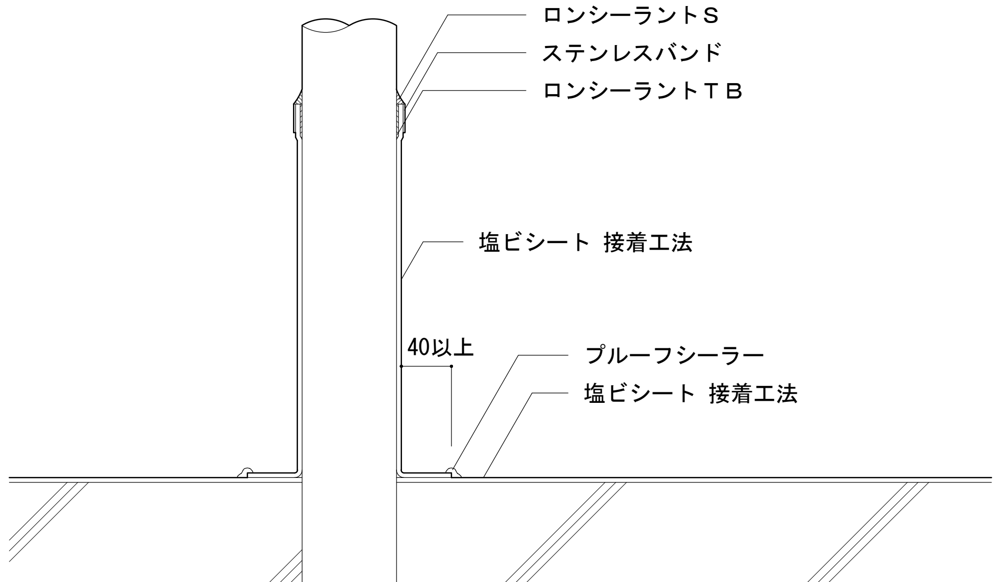
１１０仕様	下地：ＲＣ	部位：ドレイン廻り	Ｓ＝１：５	図番　１－１０



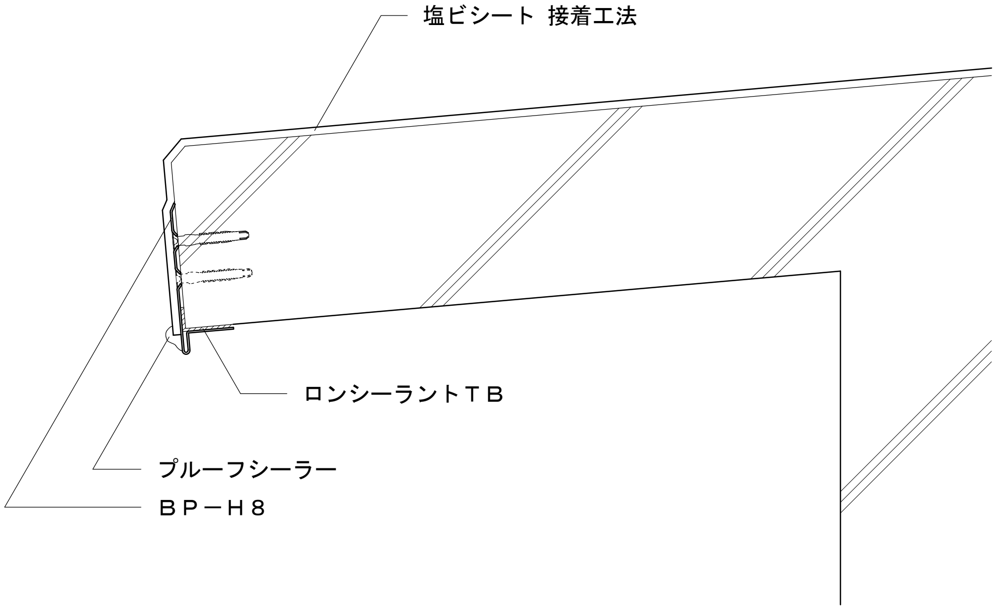
１１０仕様	下地：ＲＣ	部位：ドレイン廻り	Ｓ＝１：５	図番　１－１１



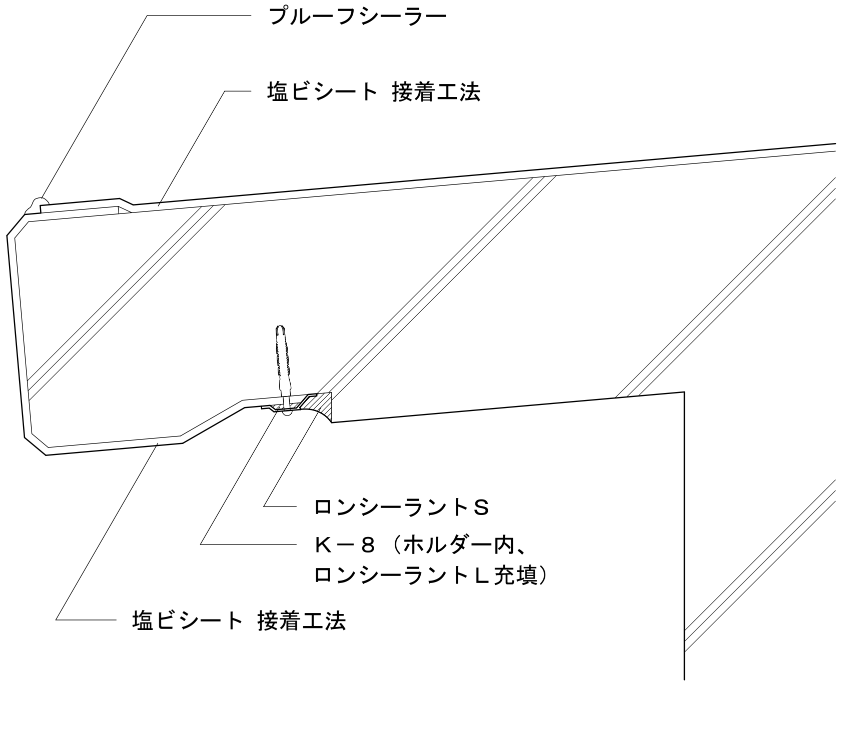
１１０仕様	下地：ＲＣ	部位：エキスパンション	Ｓ＝１：８	図番　１－１２



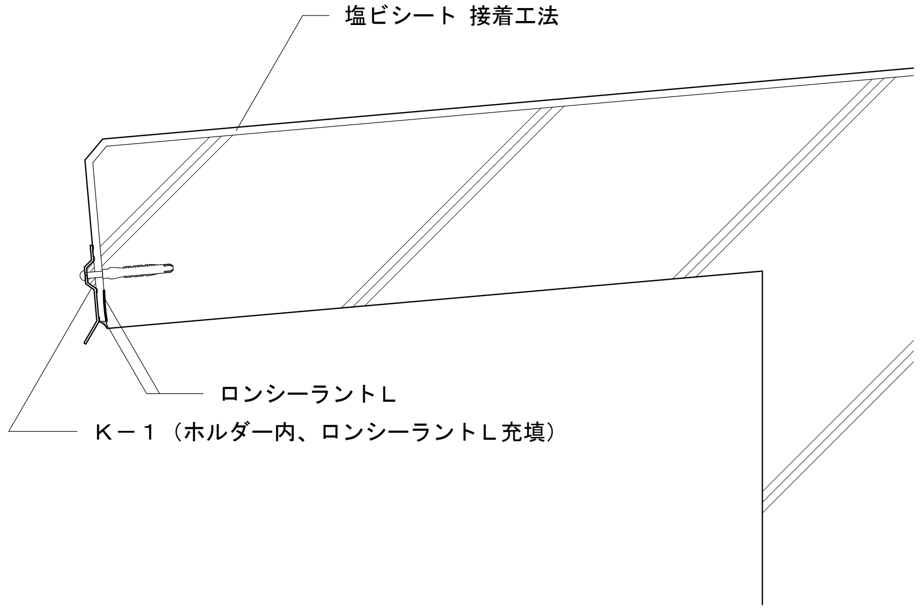
１１０仕様	下地：ＲＣ	部位：パイプ廻り	Ｓ＝１：８	図番　１－１３



１１０仕様	下地：ＲＣ	部位：軒先(寒冷地仕様)	Ｓ＝１：５	図番　１－１４

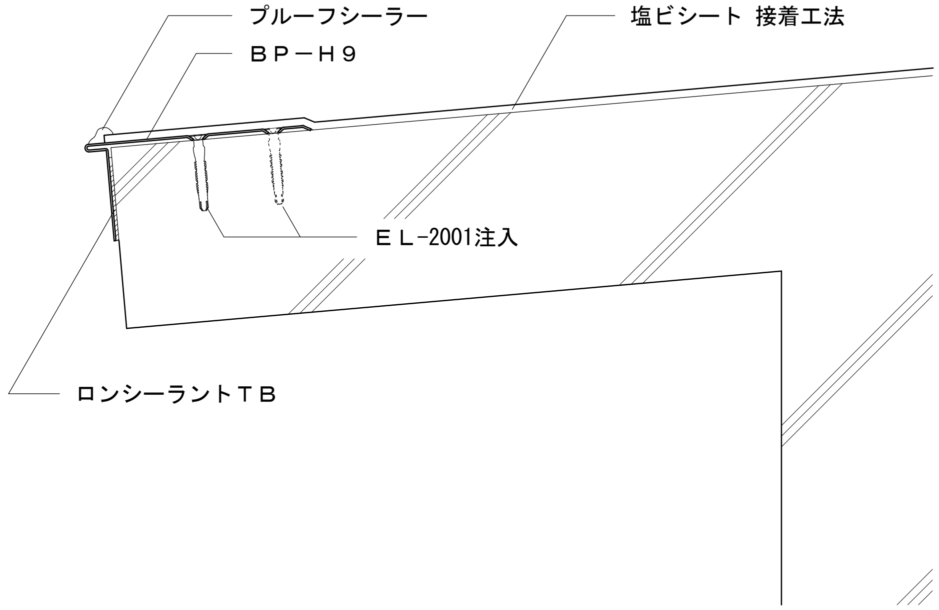


１１０仕様	下地：ＲＣ	部位：軒先(寒冷地仕様)	Ｓ＝１：５	図番　１－１５



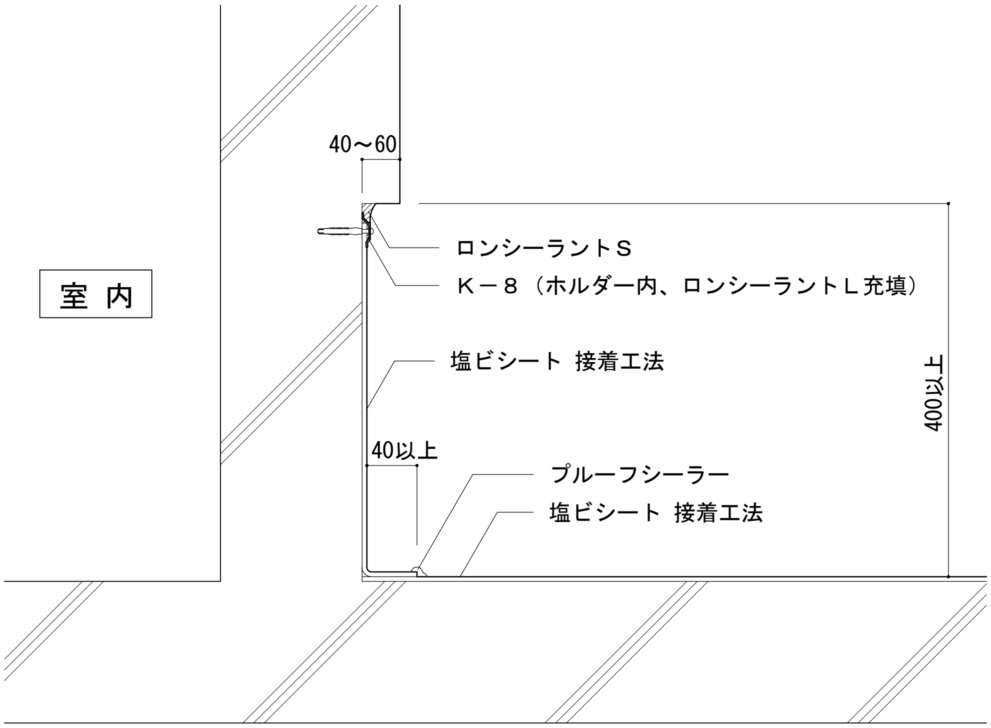
※積雪寒冷地は避けてください。

１１０仕様	下地：ＲＣ	部位：軒先	Ｓ＝１：５	図番　１－１６

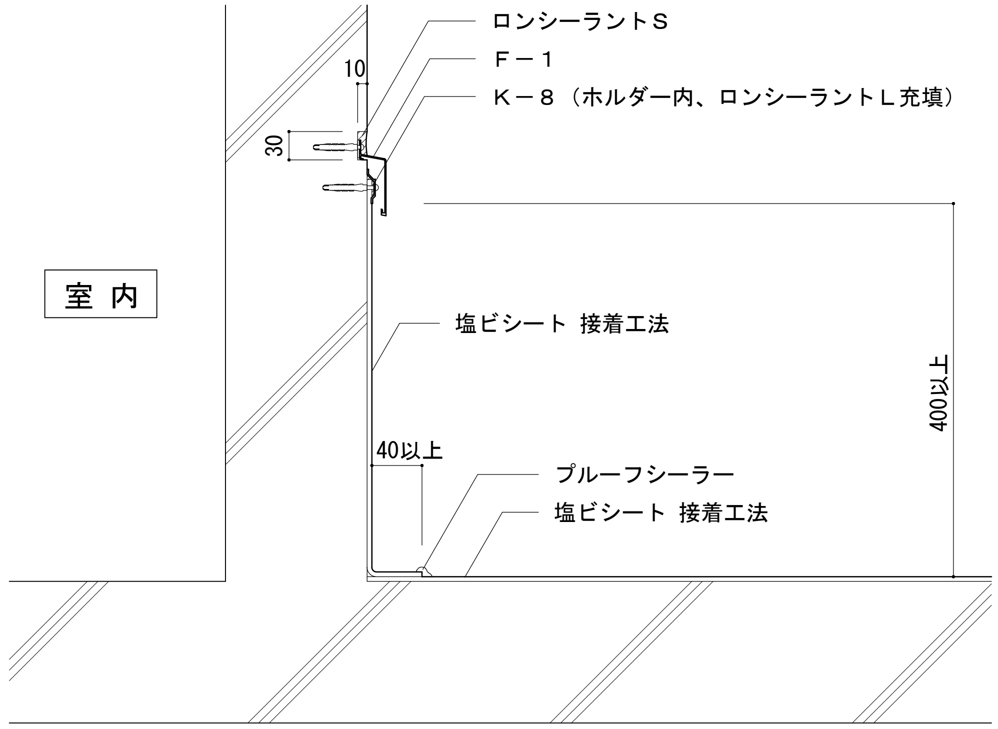


※積雪寒冷地は避けてください。

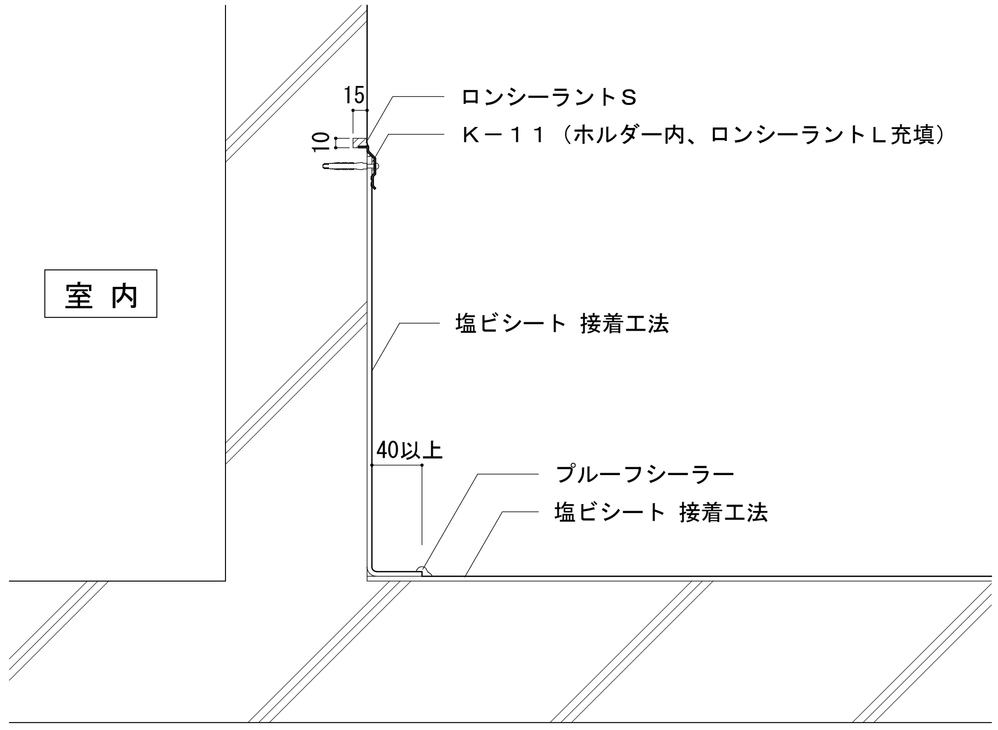
１１０仕様	下地：ＲＣ	部位：軒先	Ｓ＝１：５	図番　１－１７



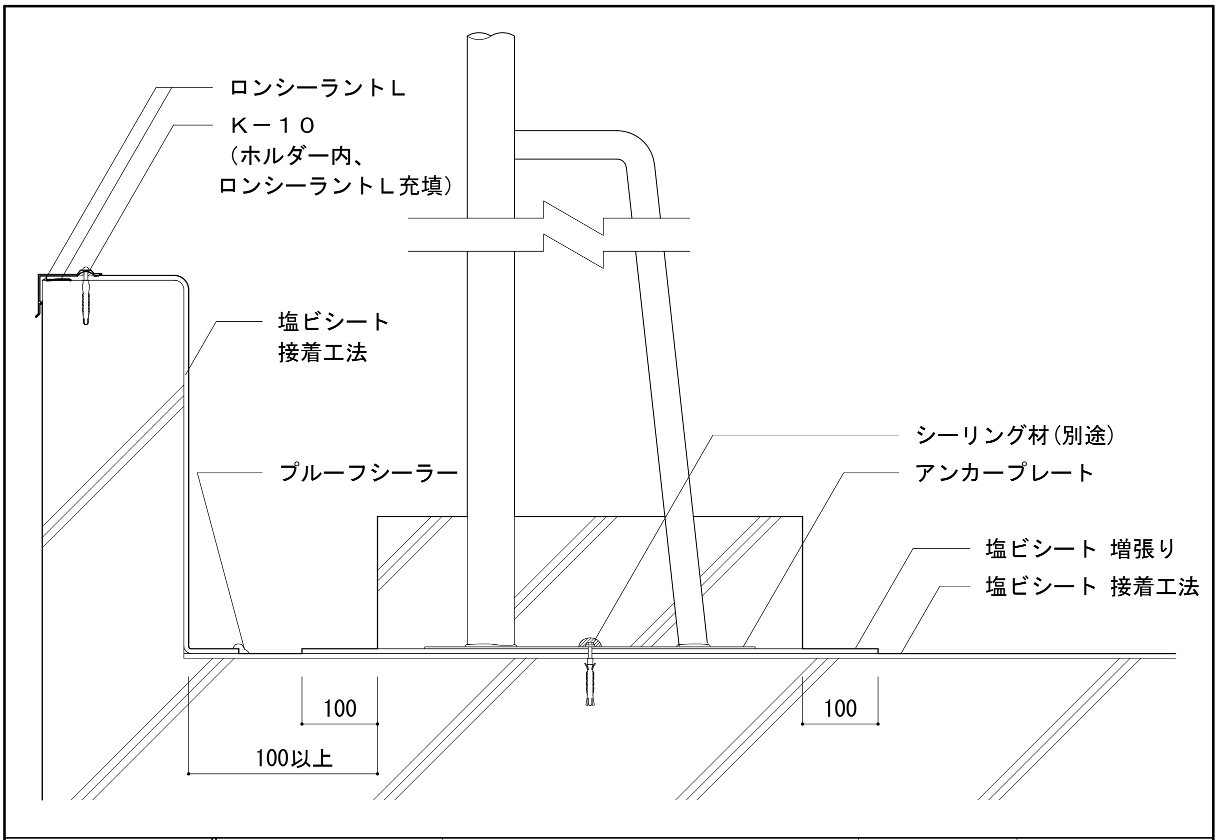
１１０仕様	下地：ＲＣ	部位：壁部	Ｓ＝１：８	図番　１－１８



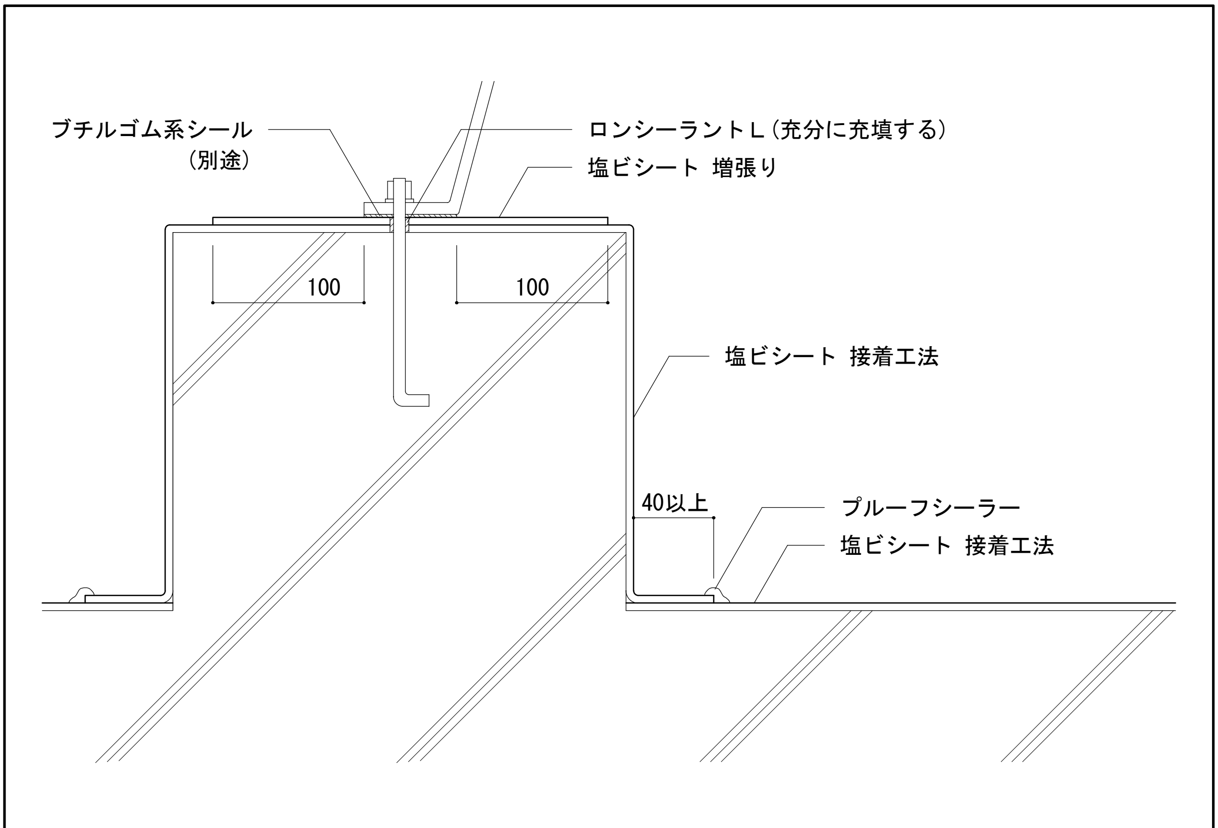
110仕様	下地：RC	部位：壁部	S=1：8	図番 1－19



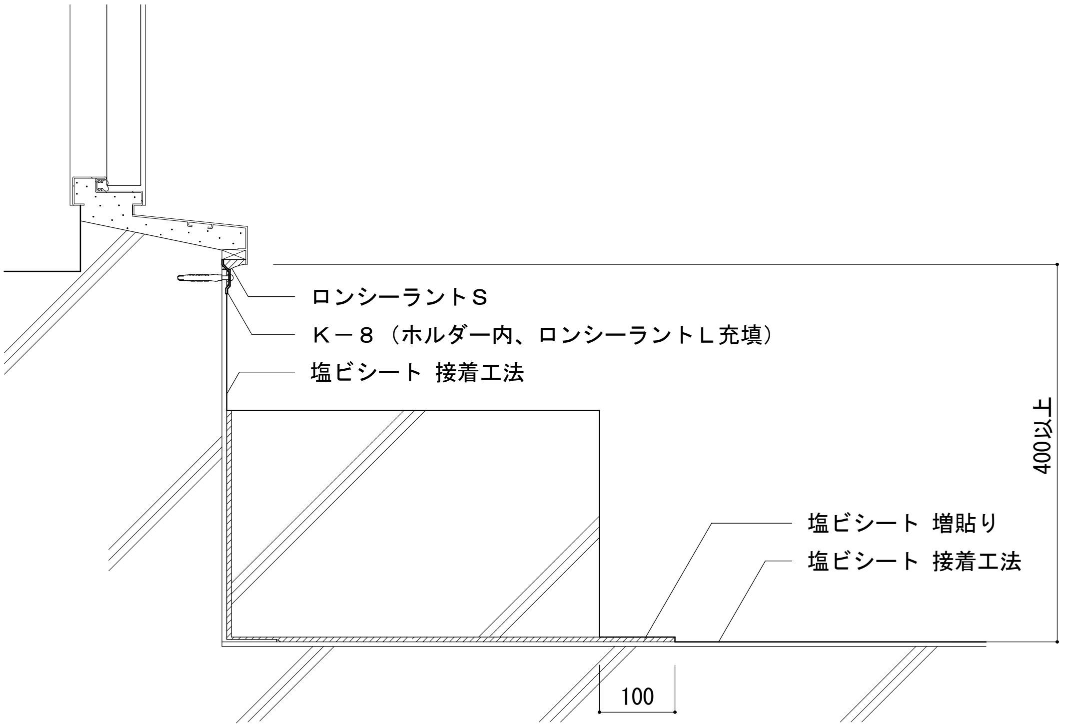
110仕様	下地：RC	部位：壁部	S=1：8	図番 1－20



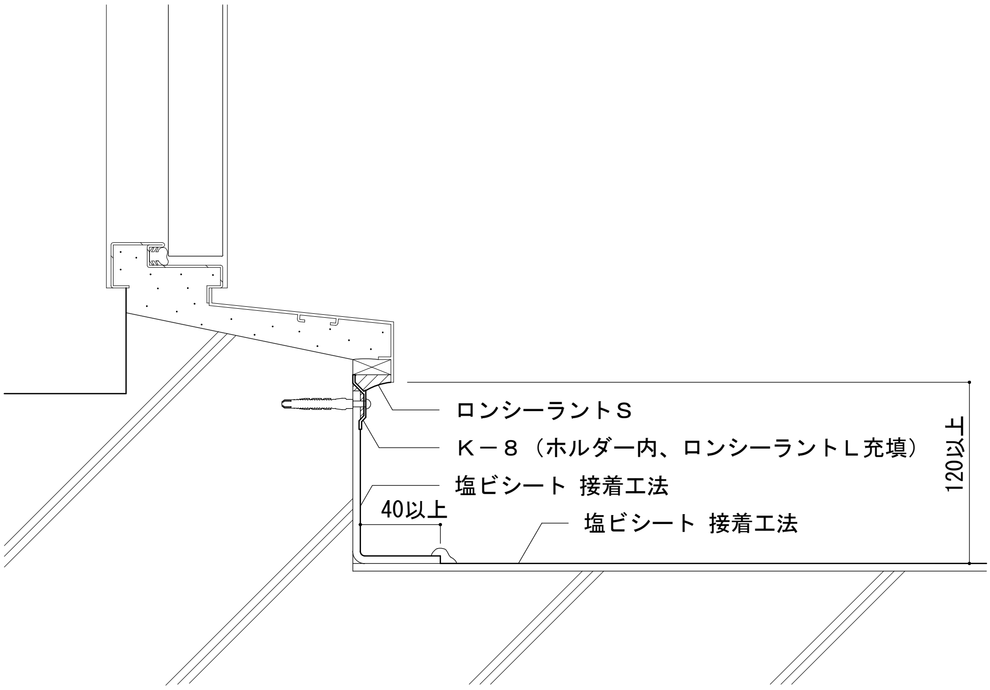
１１０仕様	下地：ＲＣ	部位：手摺り基礎廻り	Ｓ＝１：８	図番　１－２１



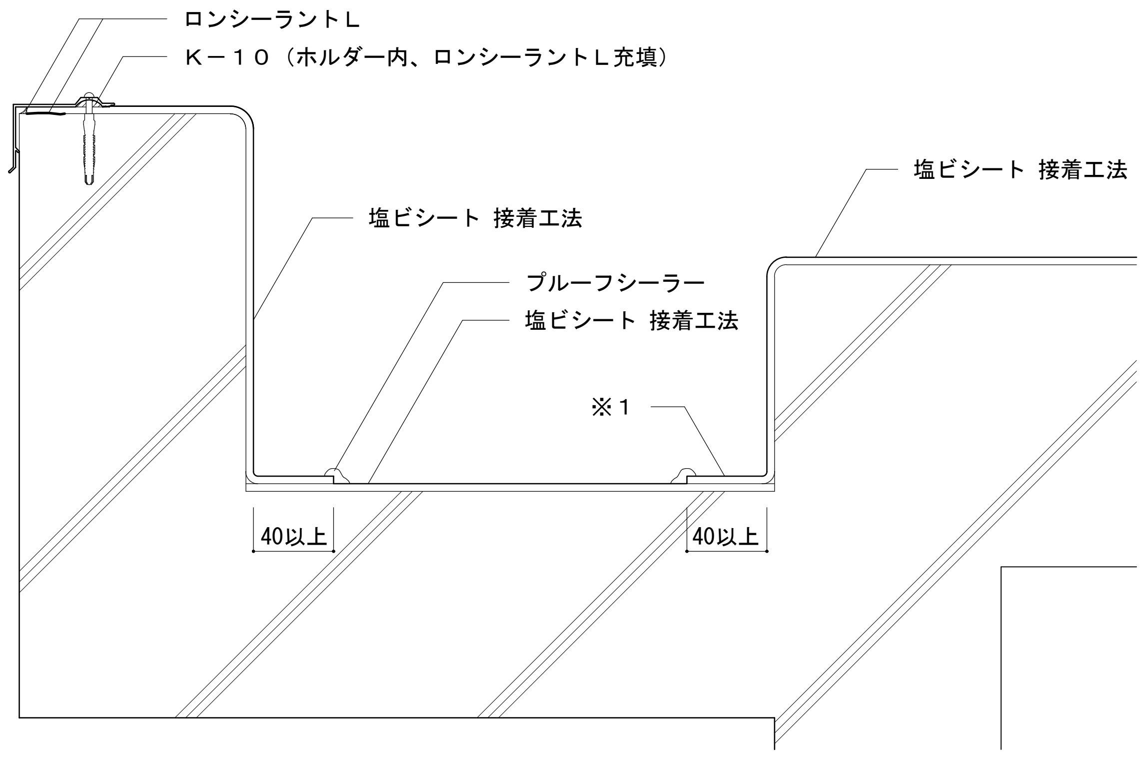
１１０仕様	下地：ＲＣ	部位：クーリングタワー台座	Ｓ＝１：５	図番　１－２２



１１０仕様	下地：ＲＣ	部位：出入口	Ｓ＝１：８	図番　１－２３

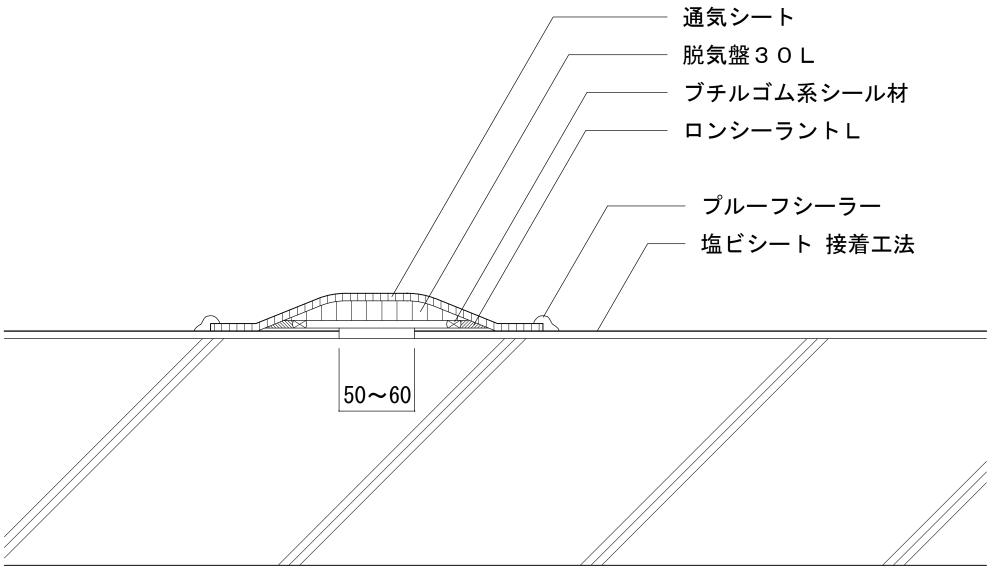


１１０仕様	下地：ＲＣ	部位：ドアサッシ	Ｓ＝１：５	図番　１－２４

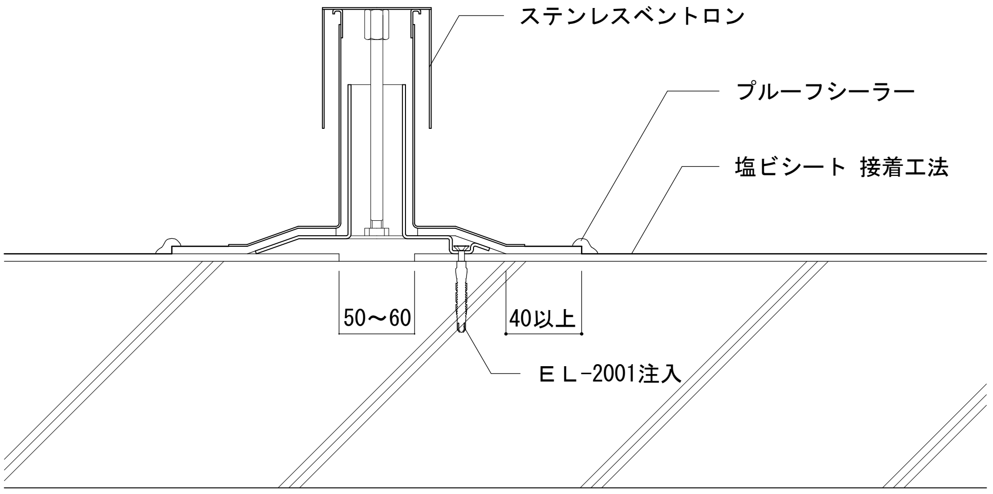


※１：側溝の幅・深さによって、接合位置は調整する。

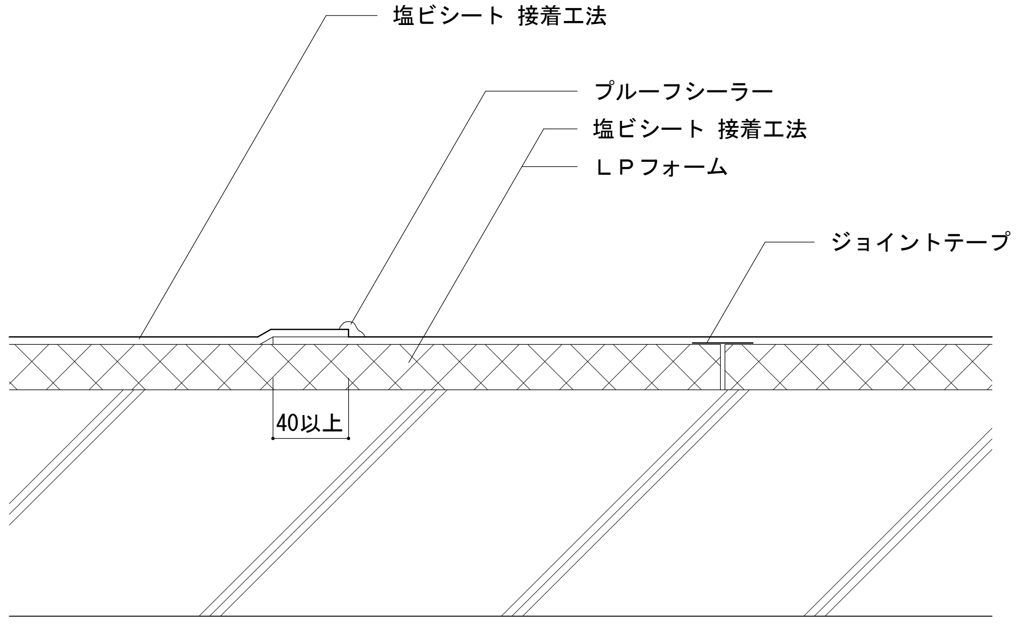
１１０仕様	下地：ＲＣ	部位：側溝	Ｓ＝１：５	図番　１－２５



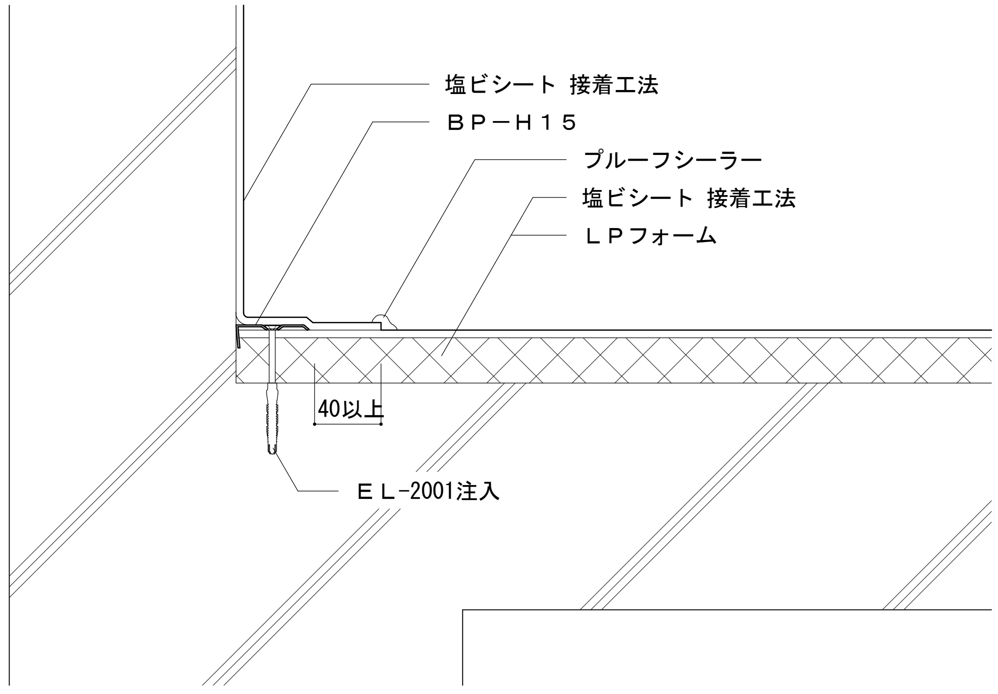
１１０仕様	下地：ＲＣ	部位：脱気盤３０Ｌ	Ｓ＝１：５	図番　１－２６



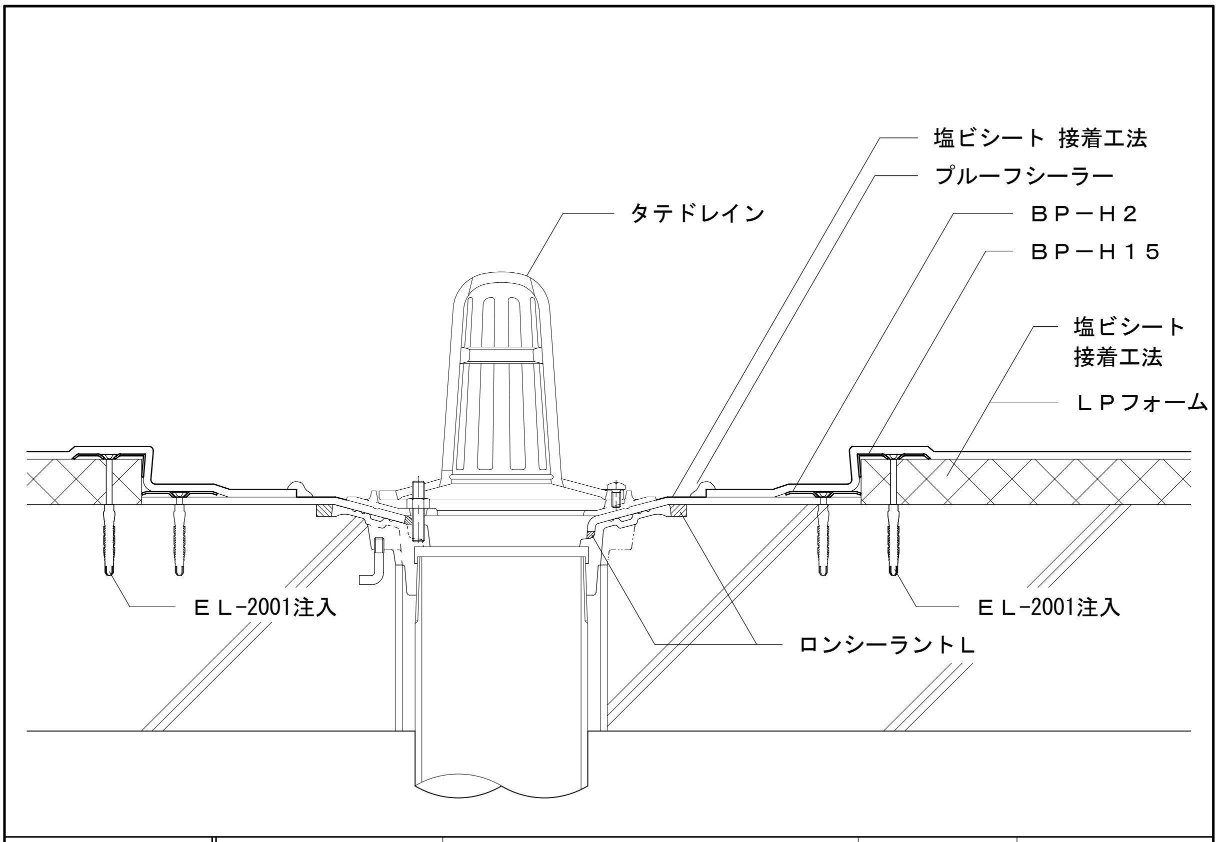
１１０仕様	下地：ＲＣ	部位：ステンレスベントロン	Ｓ＝１：５	図番　１－２７



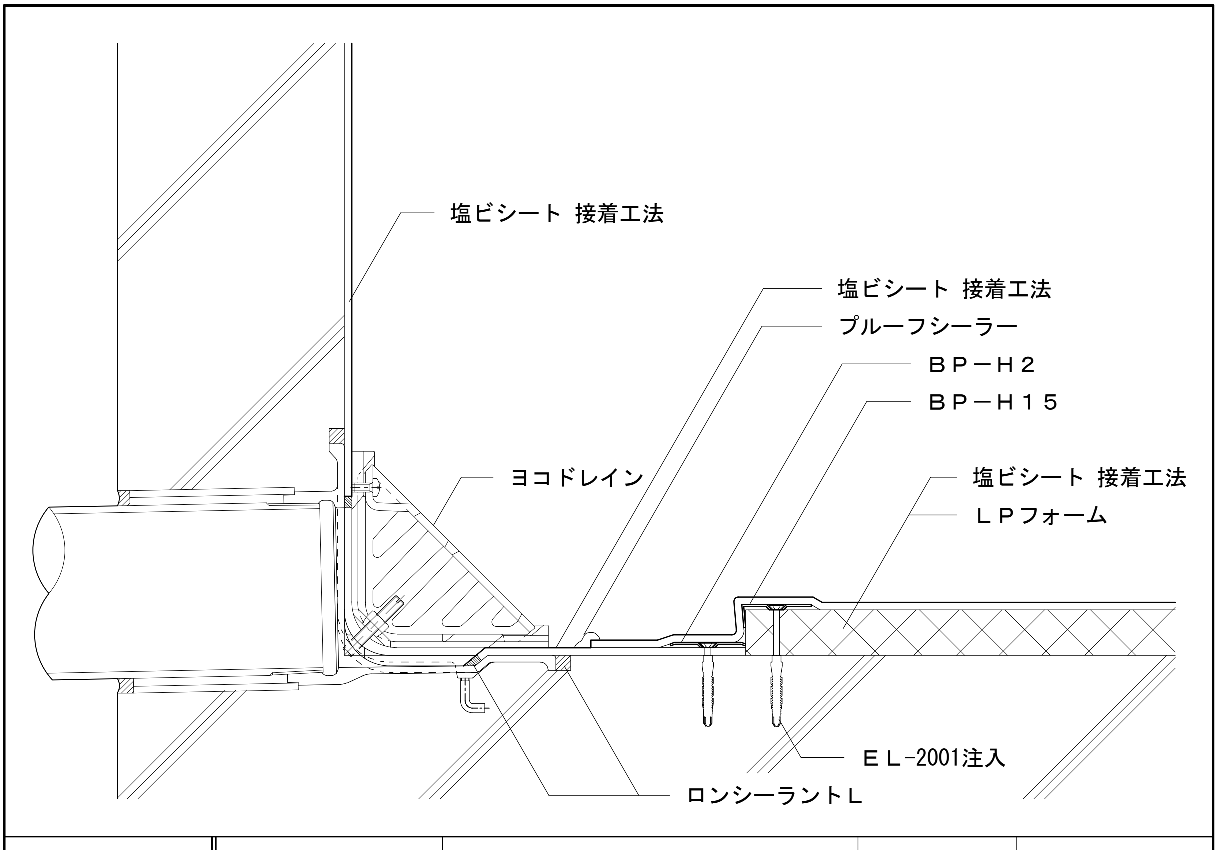
１２３仕様	下地：ＲＣ	部位：平場	Ｓ＝１：５	図番　２−１



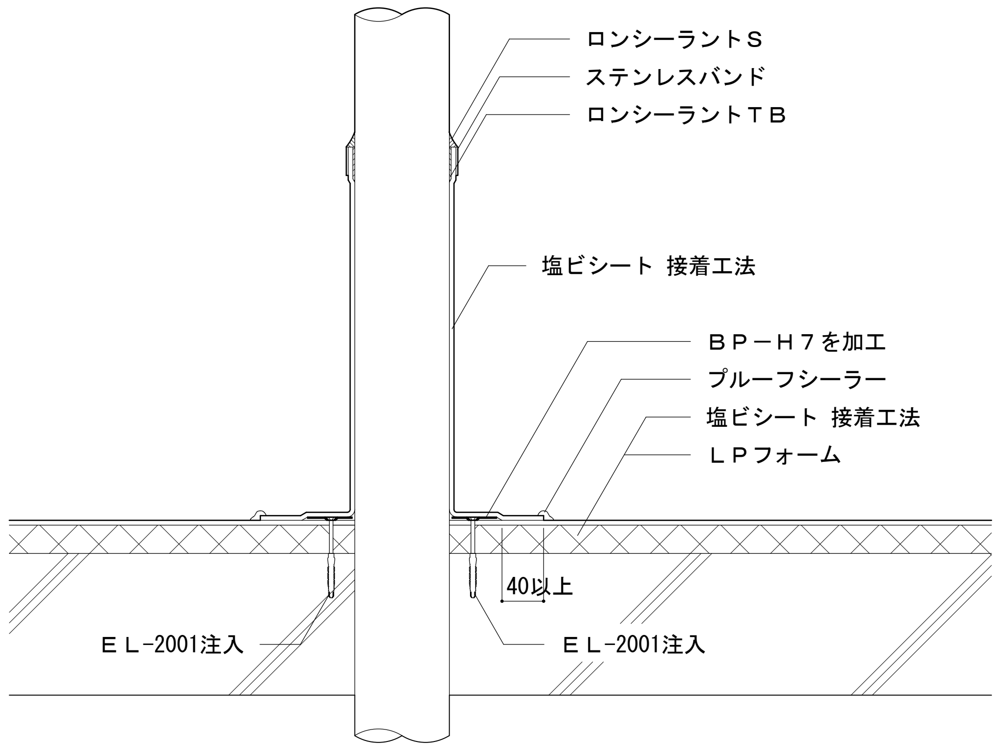
１２３仕様	下地：ＲＣ	部位：立上り角	Ｓ＝１：５	図番　２−２



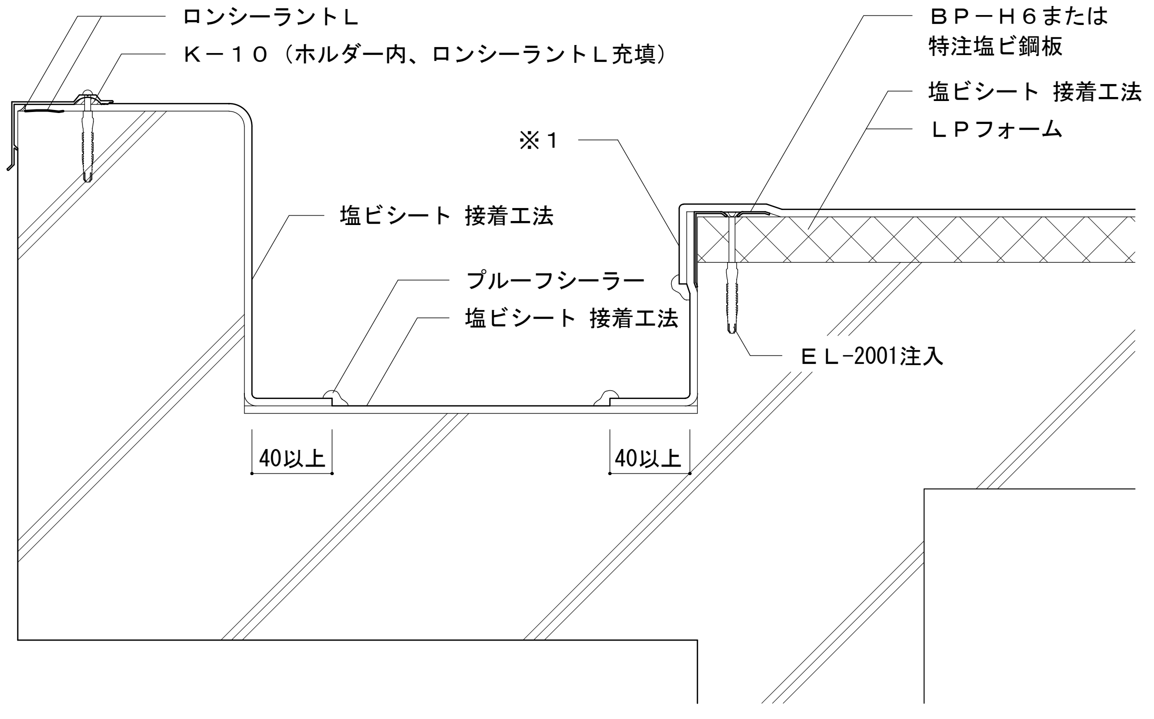
１２３仕様	下地：ＲＣ	部位：ドレイン廻り	Ｓ＝１：５	図番　２－３



１２３仕様	下地：ＲＣ	部位：ドレイン廻り	Ｓ＝１：５	図番　２－４

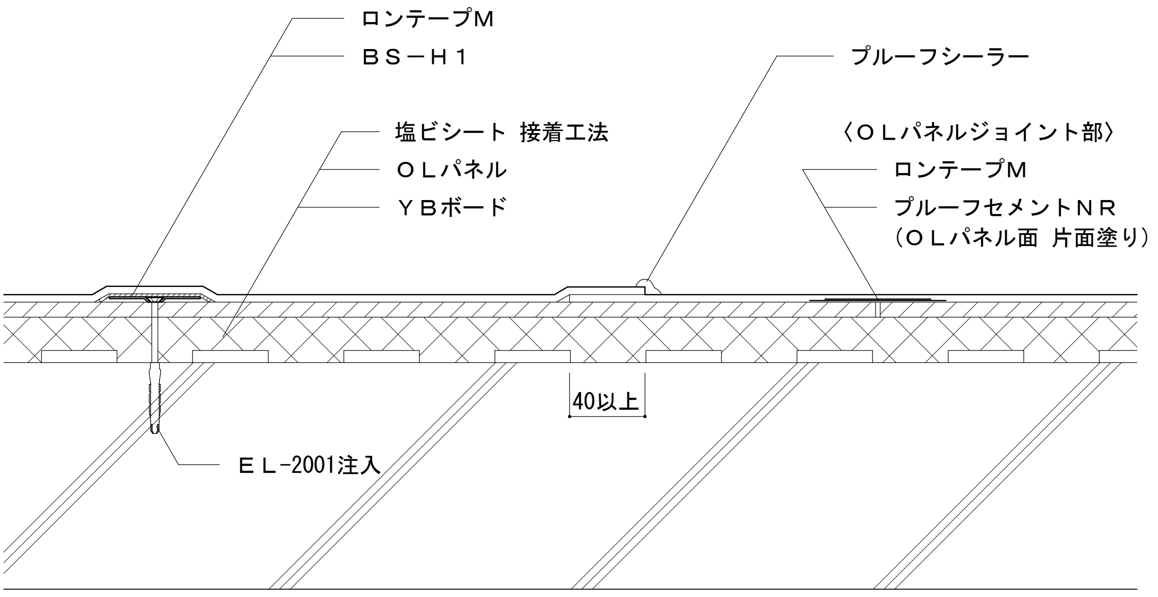


１２３仕様	下地：ＲＣ	部位：パイプ廻り	Ｓ＝１：８	図番　２－５

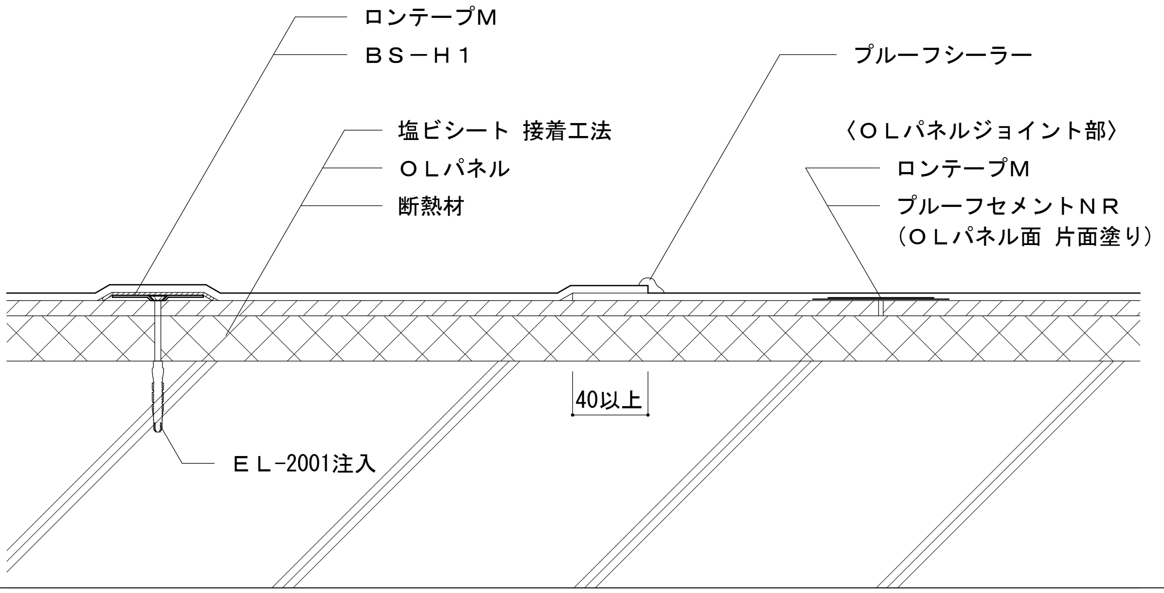


※１：側溝の幅・深さによって、接合位置は調整する。

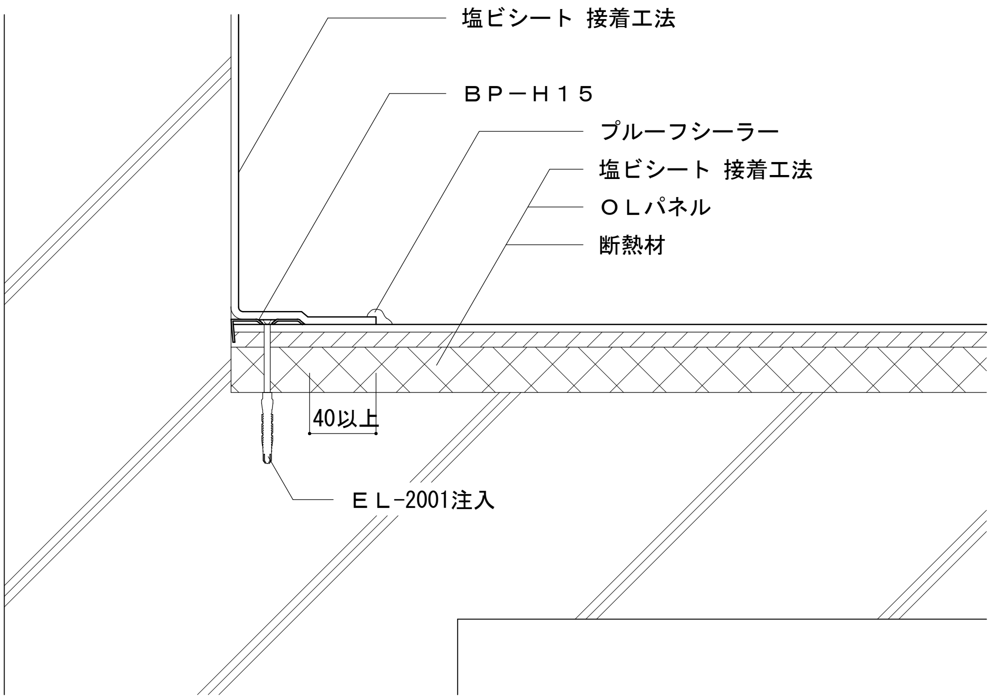
１２３仕様	下地：ＲＣ	部位：側溝	Ｓ＝１：５	図番　２－６



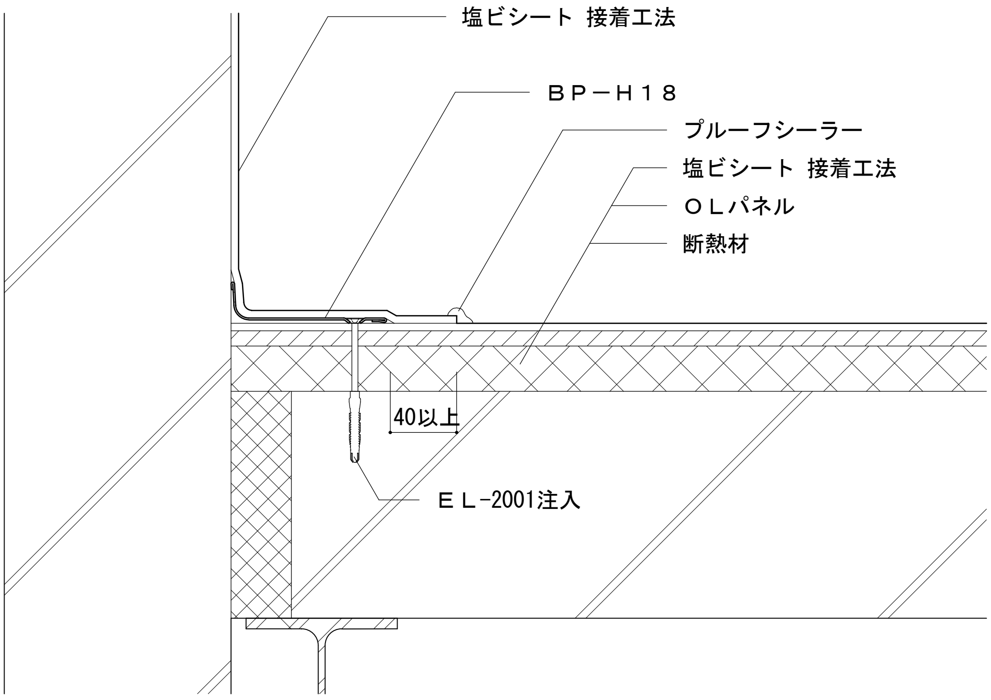
１２４仕様	下地：ＲＣ	部位：平場	Ｓ＝１：５	図番　３－１



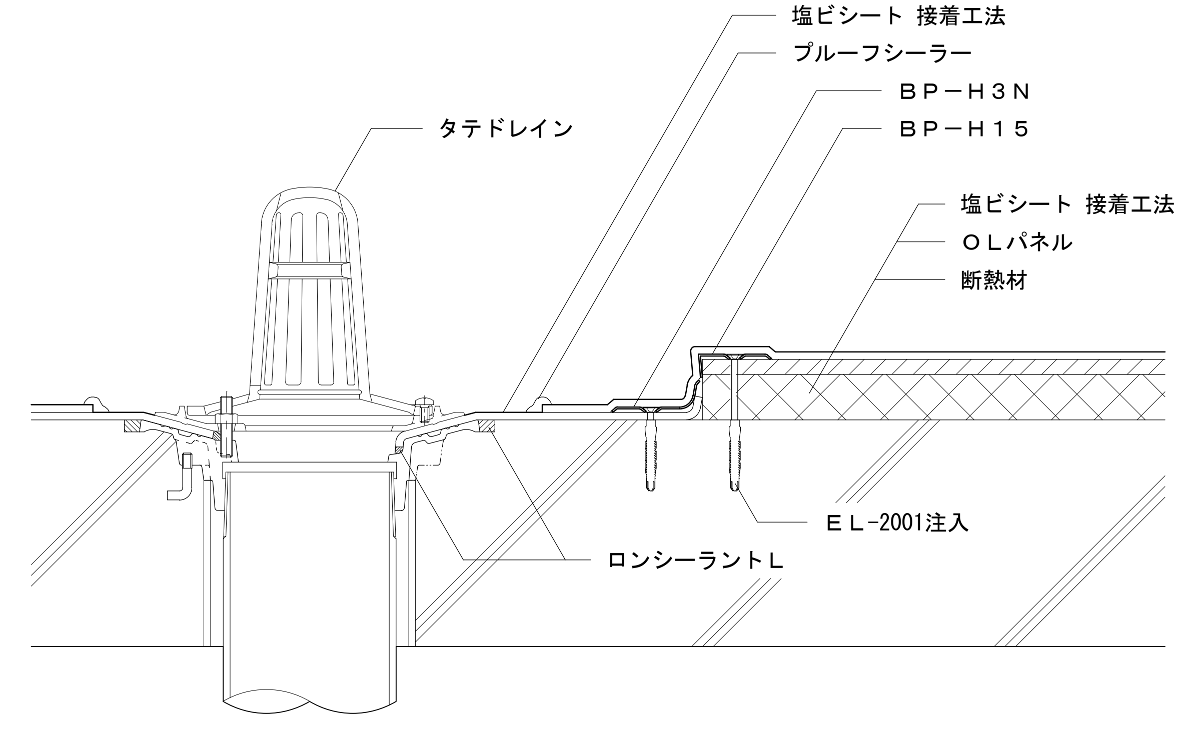
１２５・１２７仕様	下地：ＲＣ	部位：平場	Ｓ＝１：５	図番　３－２



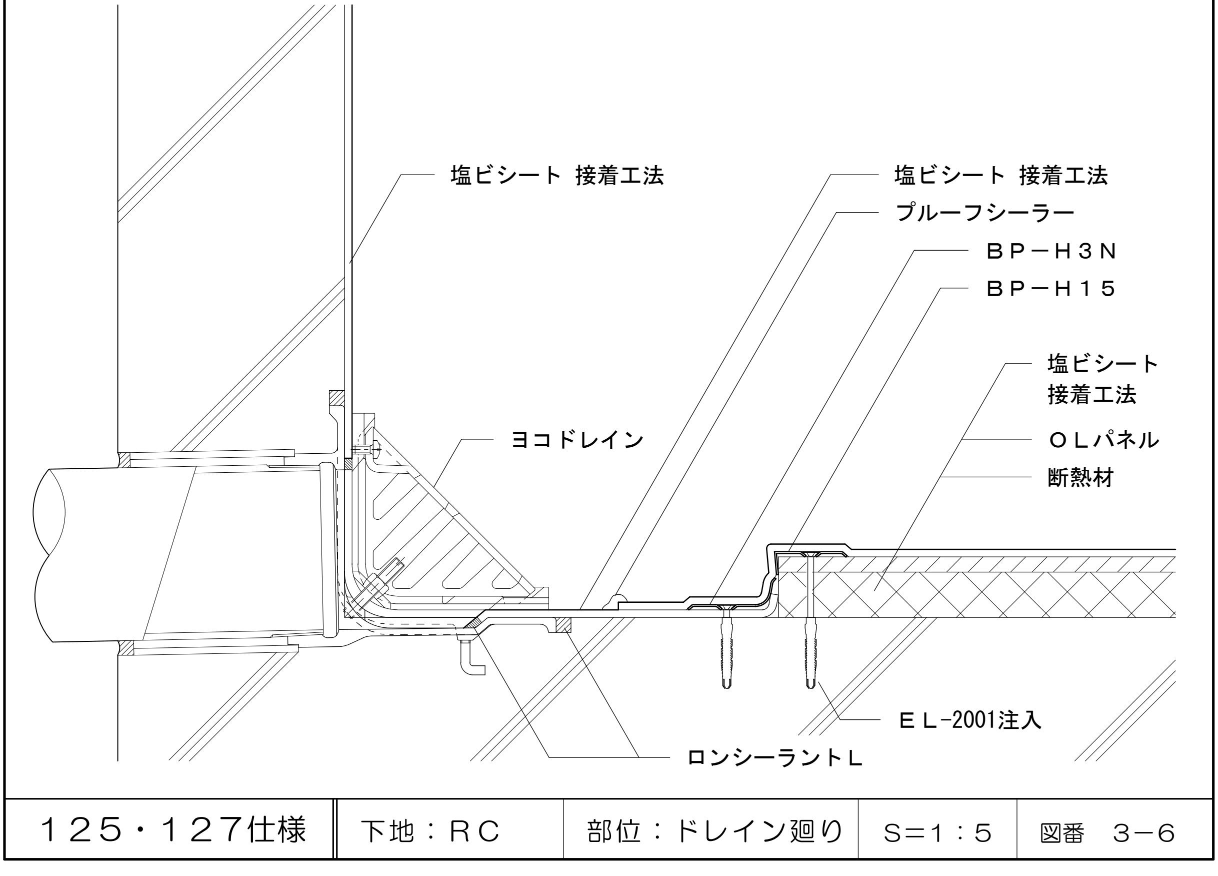
１２５・１２７仕様	下地：ＲＣ	部位：立上り角	Ｓ＝１：５	図番　３－３



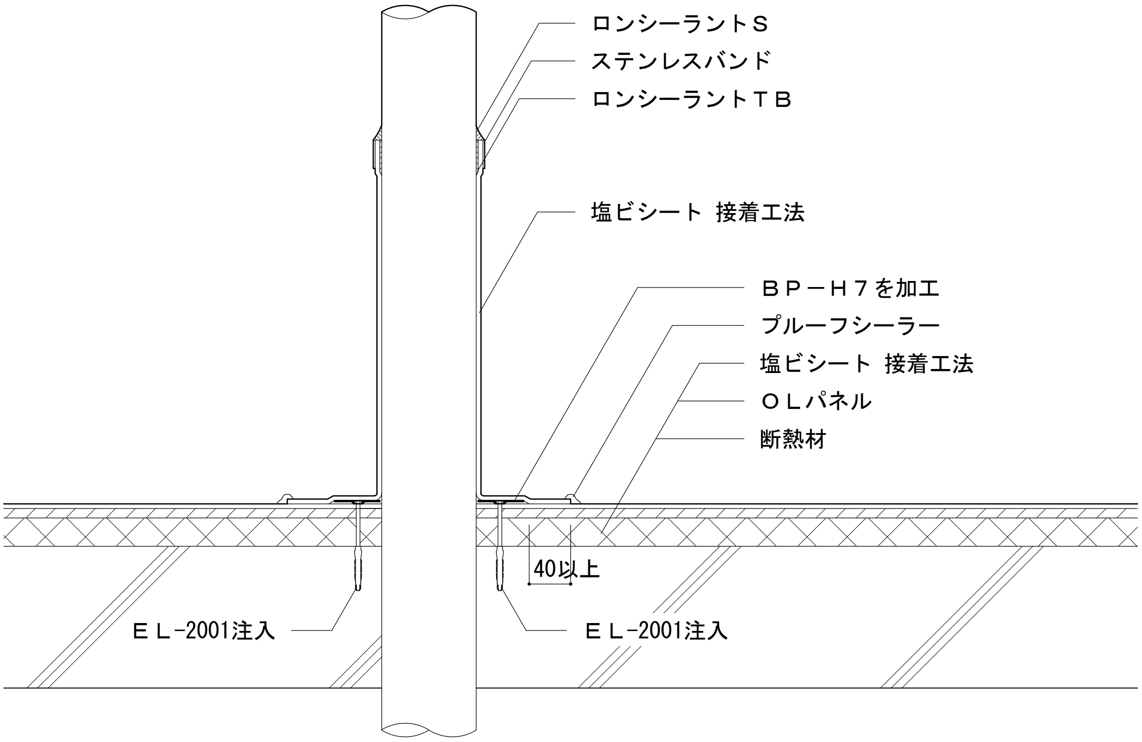
１２５・１２７仕様	下地：ＡＬＣ	部位：立上り角	Ｓ＝１：５	図番　３－４



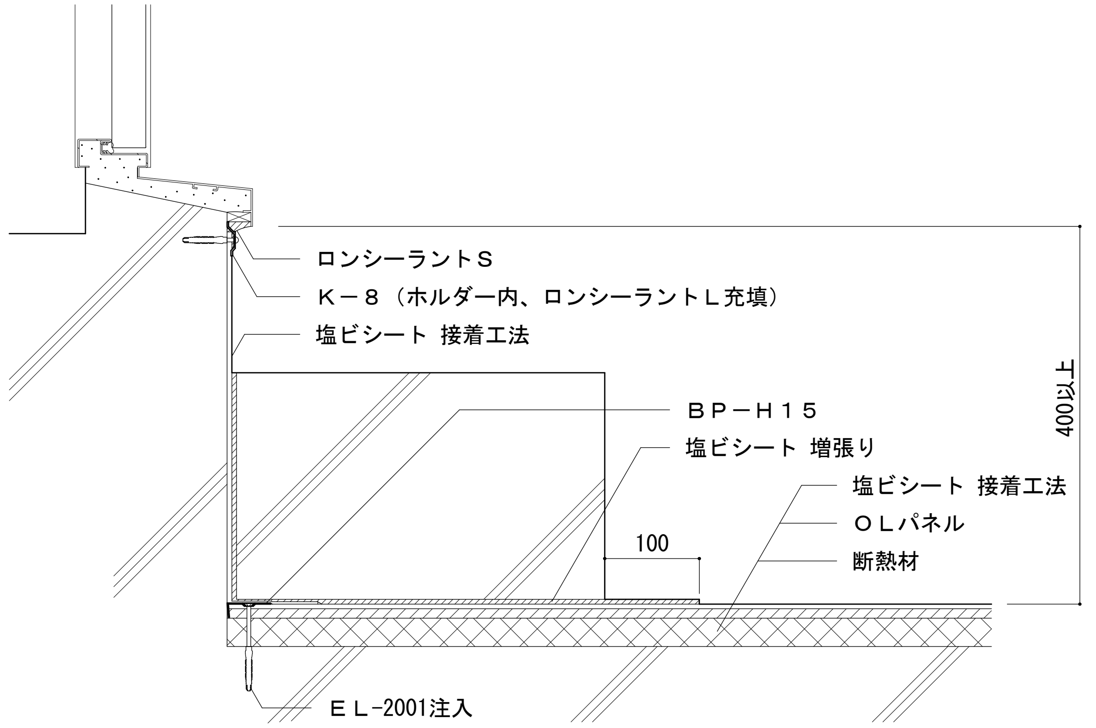
１２５・１２７仕様	下地：ＲＣ	部位：ドレイン廻り	Ｓ＝１：５	図番　３－５



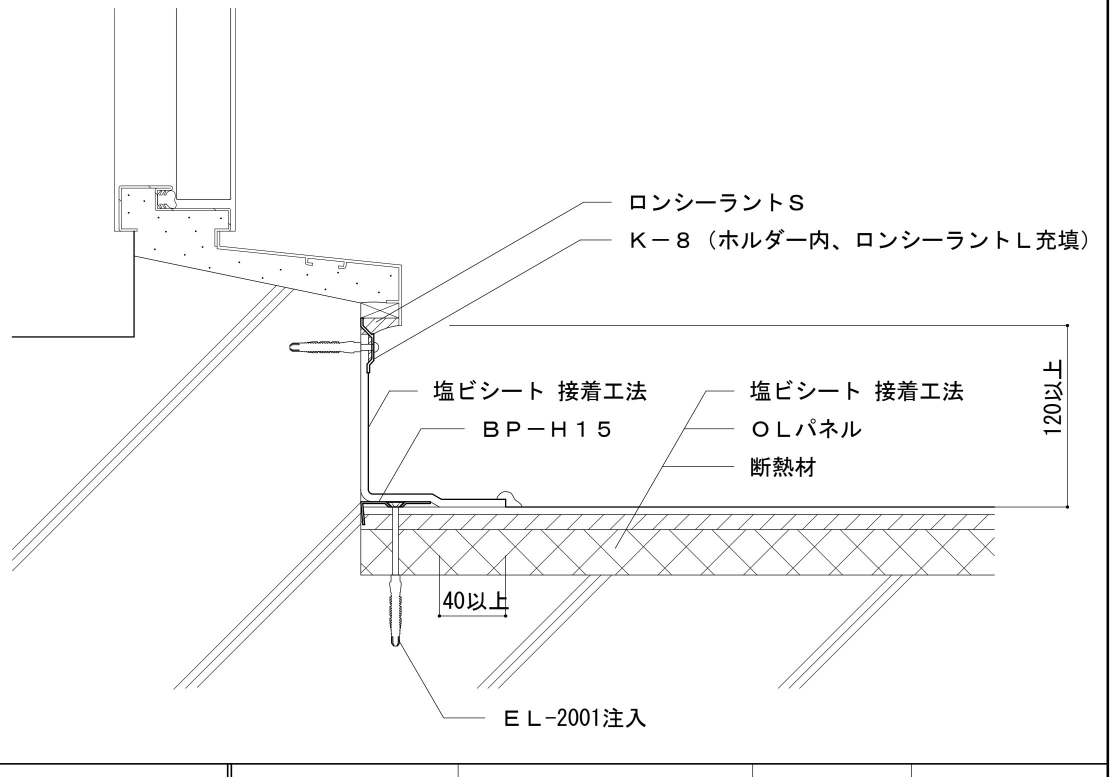
１２５・１２７仕様	下地：ＲＣ	部位：ドレイン廻り	Ｓ＝１：５	図番　３－６



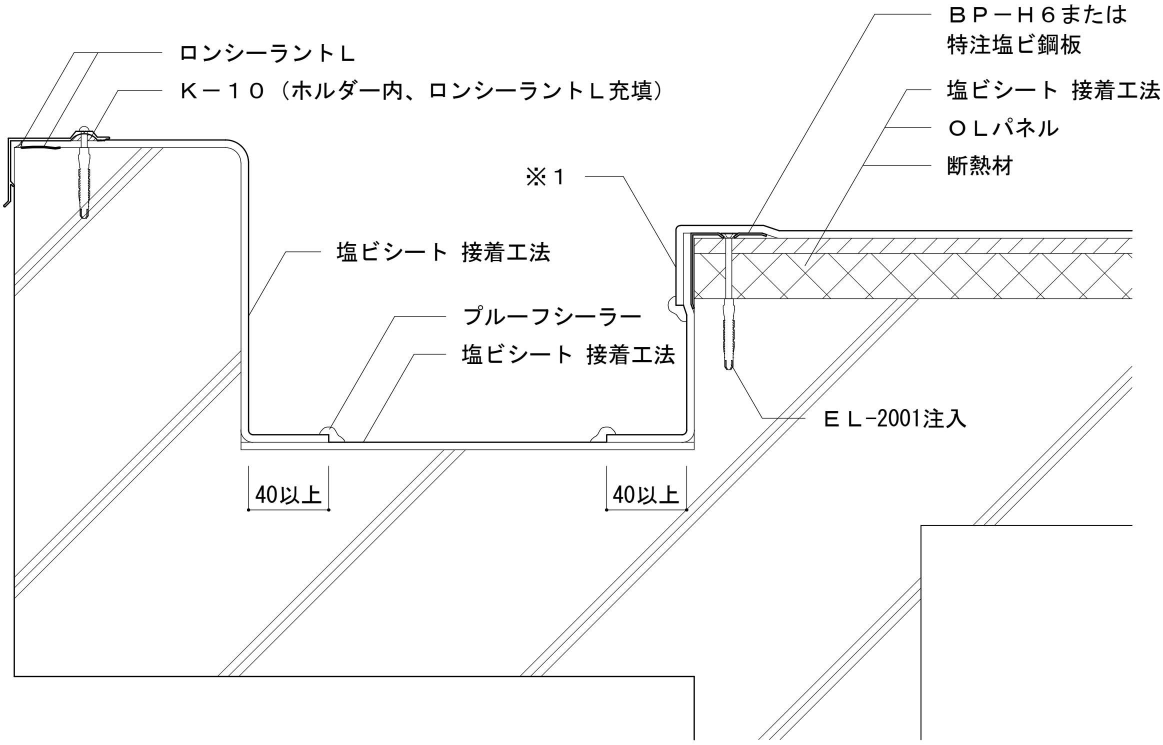
１２５・１２７仕様	下地：ＲＣ	部位：パイプ廻り	Ｓ＝１：８	図番　３－７



１２５・１２７仕様	下地：ＲＣ	部位：出入口	Ｓ＝１：８	図番　３－８

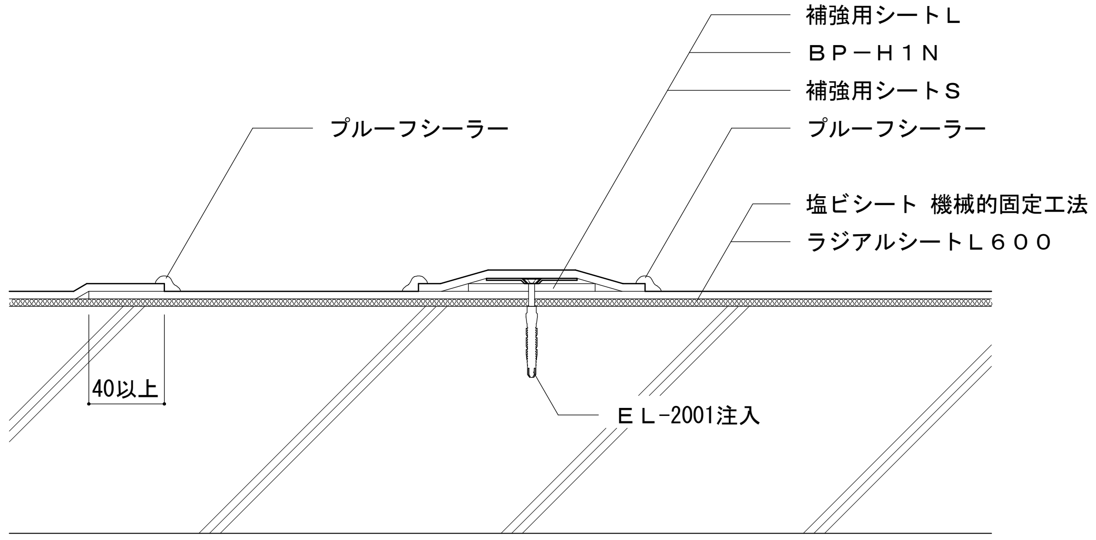


１２５・１２７仕様	下地：ＲＣ	部位：ドアサッシ	Ｓ＝１：５	図番　３－９

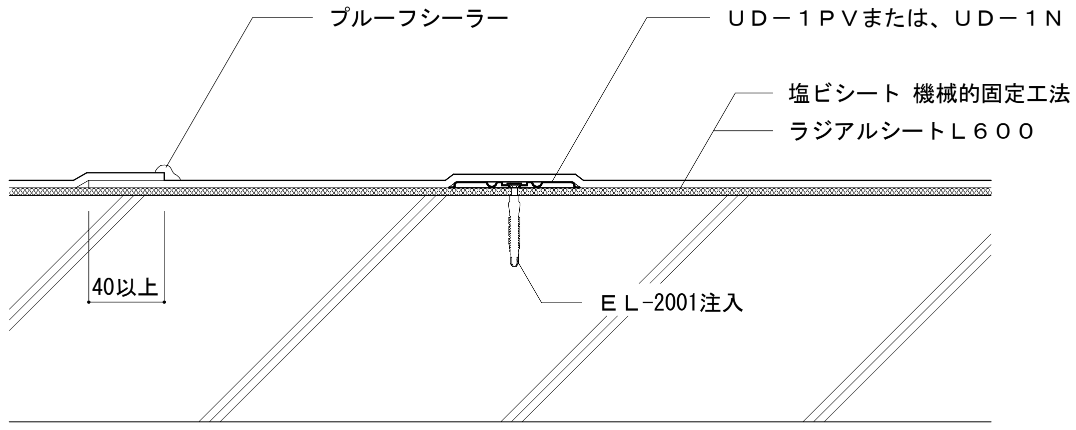


※１：側溝の幅・深さによって、接合位置は調整する。

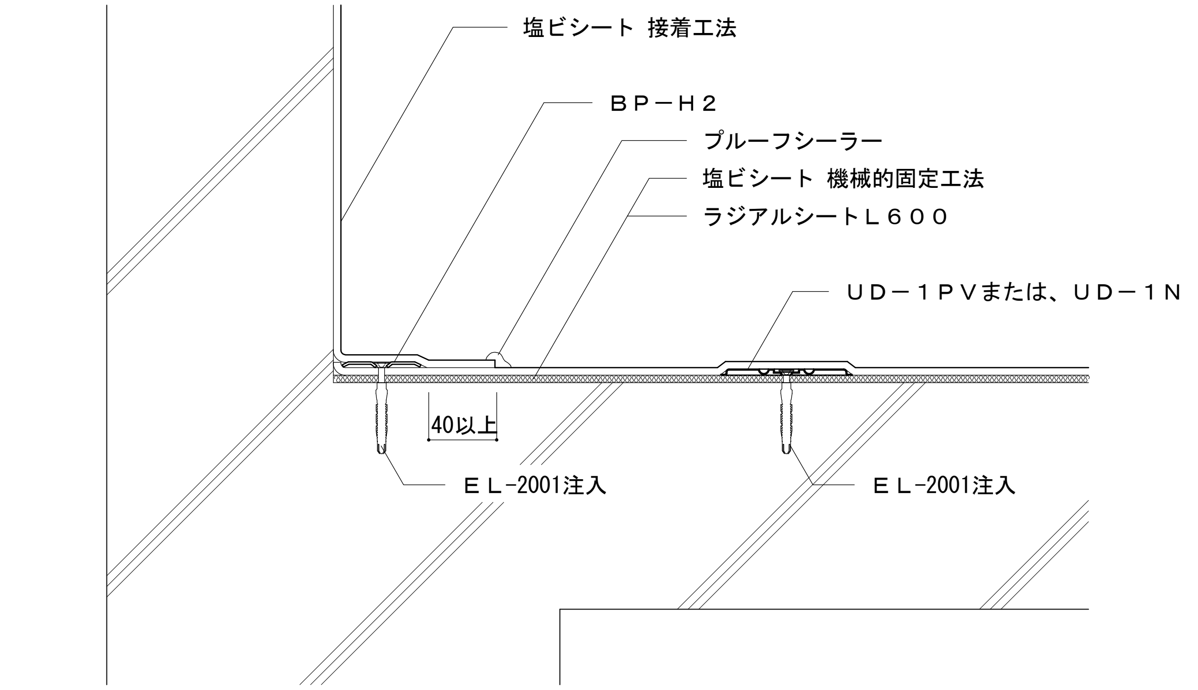
125・127仕様	下地：ＲＣ	部位：側溝	Ｓ＝１：５	図番　３－１０



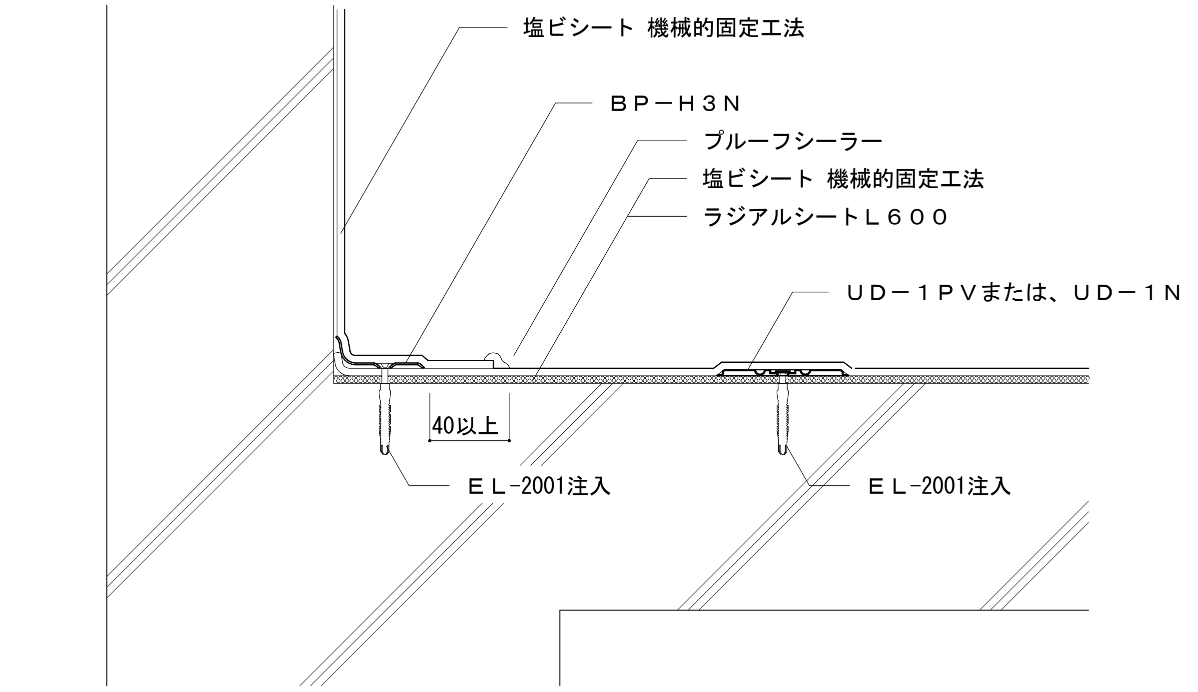
２１０仕様	下地：ＲＣ	部位：平場	Ｓ＝１：５	図番　４－１



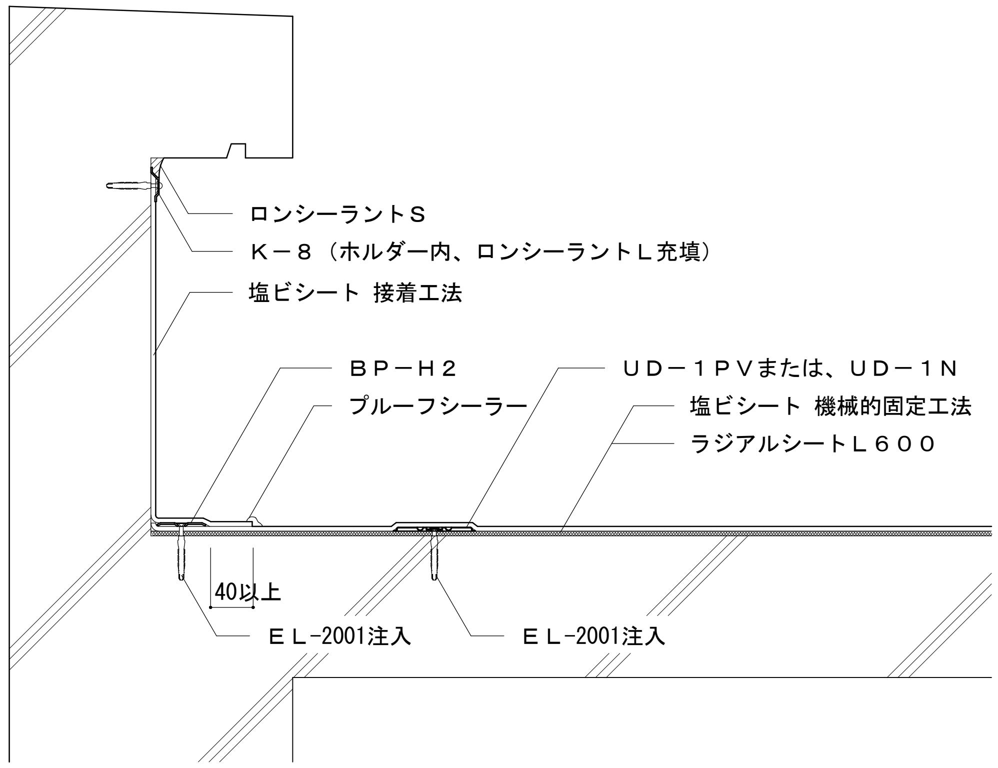
２１０仕様	下地：ＲＣ	部位：平場	Ｓ＝１：５	図番　４－２



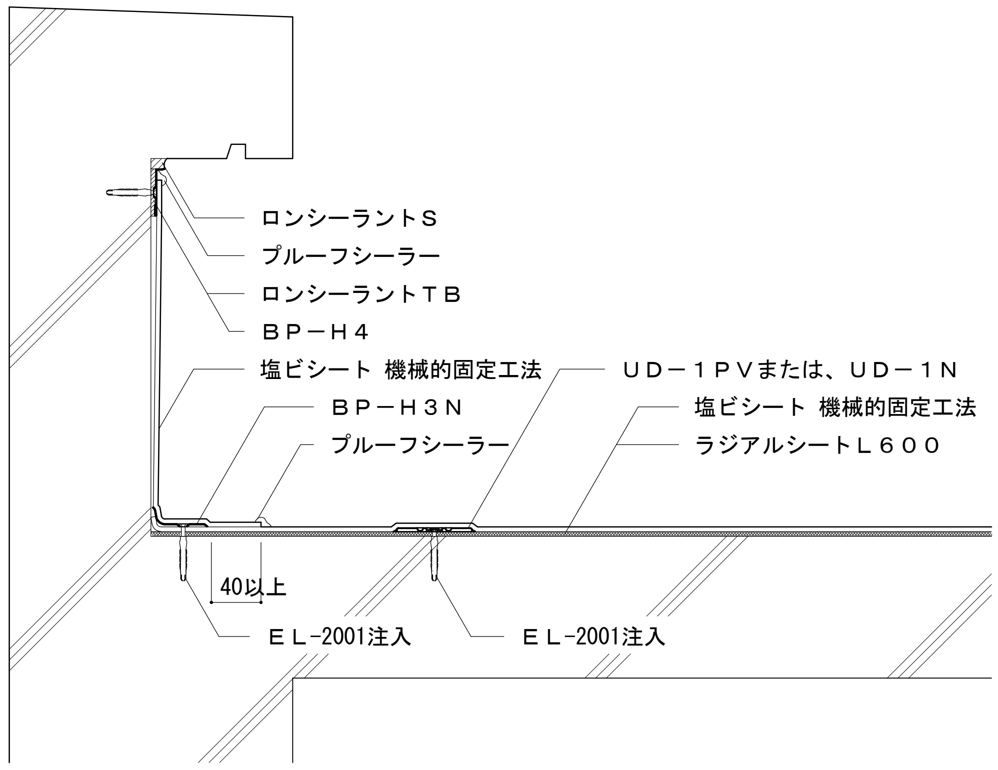
２１０仕様	下地：ＲＣ	部位：立上り角	Ｓ＝１：５	図番　４－３



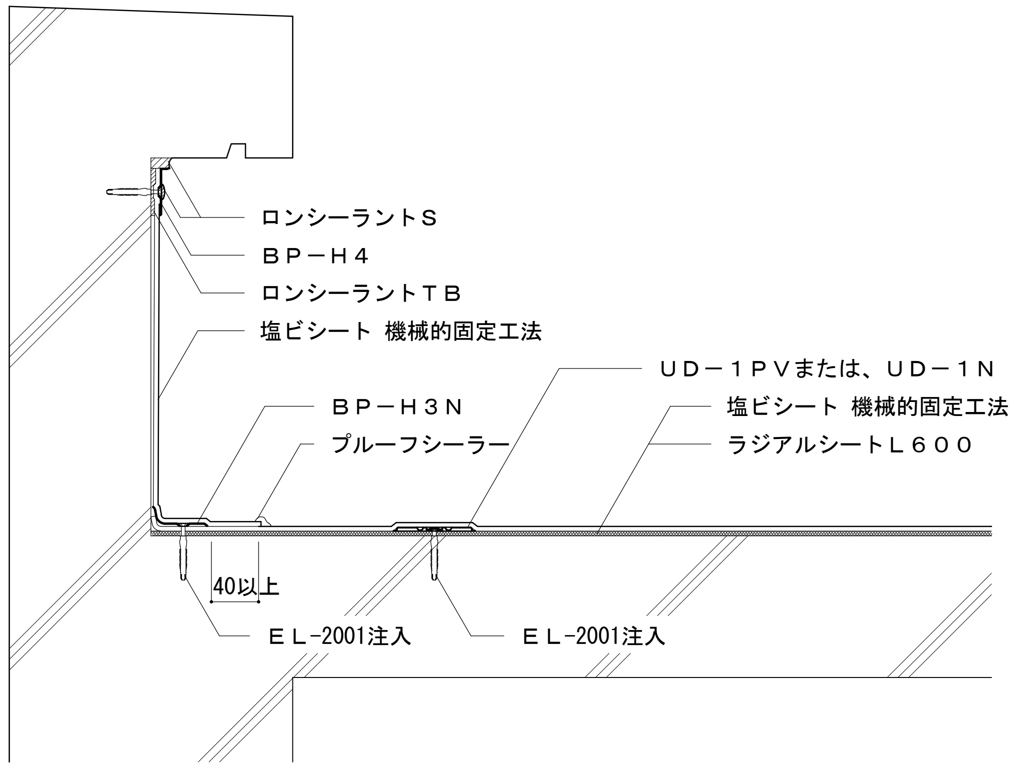
２１０仕様	下地：ＲＣ	部位：立上り角	Ｓ＝１：５	図番　４－４



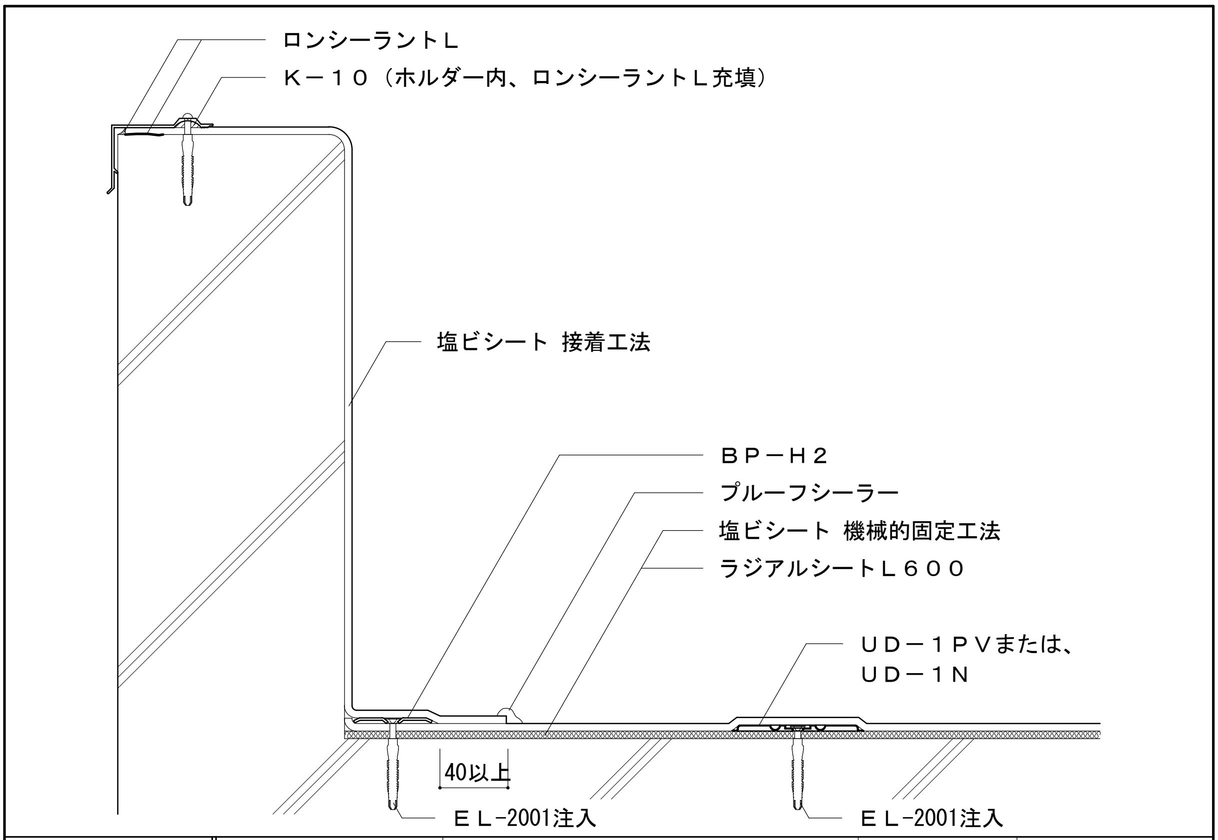
２１０仕様	下地：ＲＣ	部位：パラペット	Ｓ＝１：８	図番　４－５



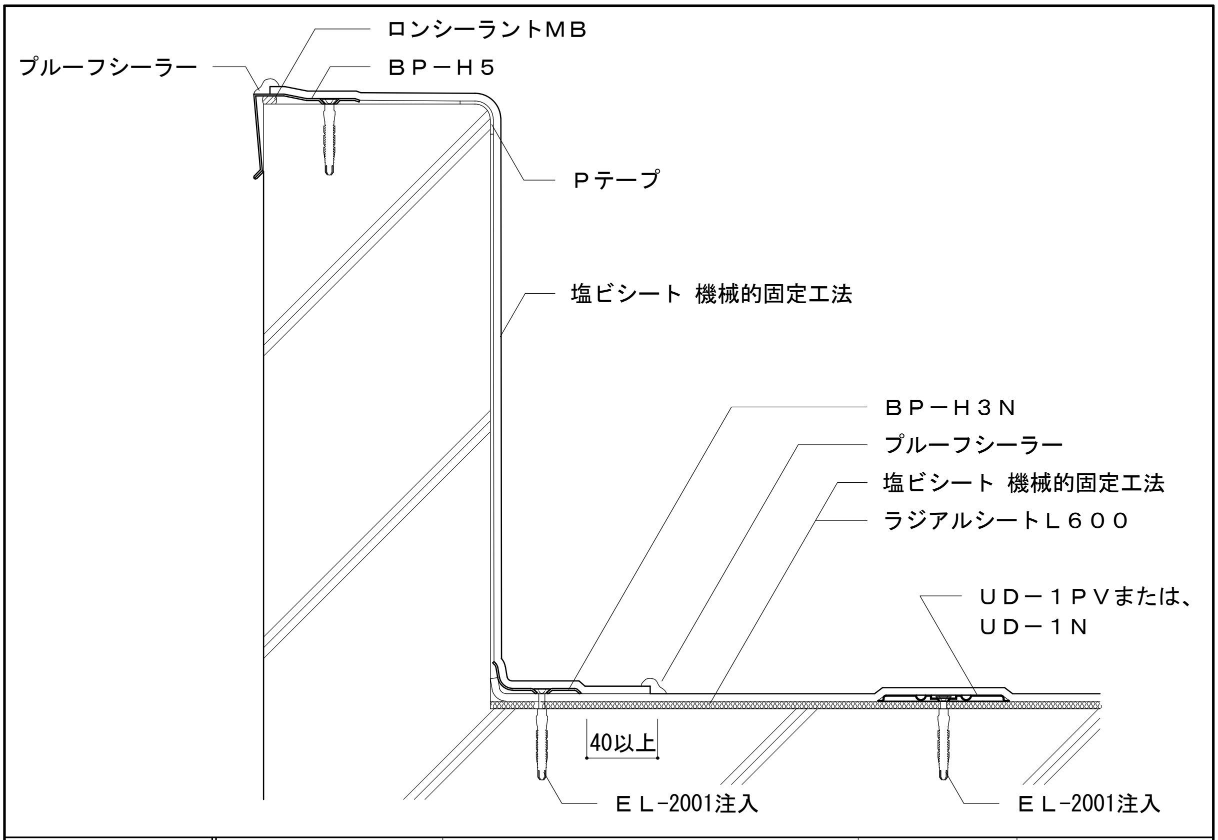
２１０仕様	下地：ＲＣ	部位：パラペット	Ｓ＝１：８	図番　４－６



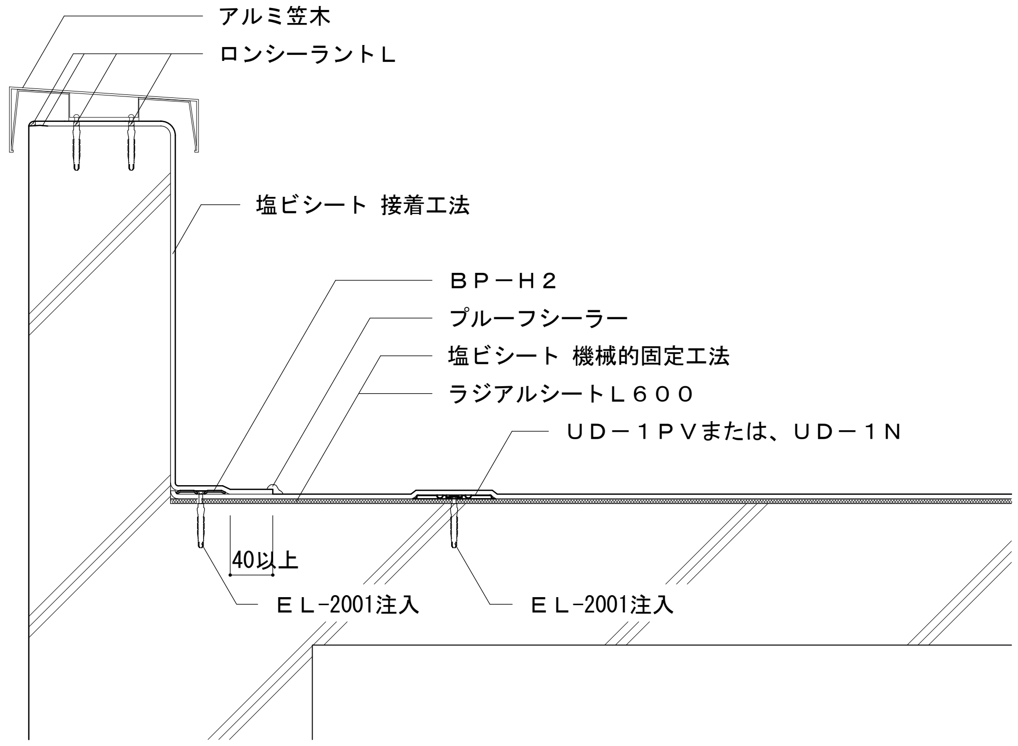
２１０仕様	下地：ＲＣ	部位：パラペット	Ｓ＝１：８	図番　４−７



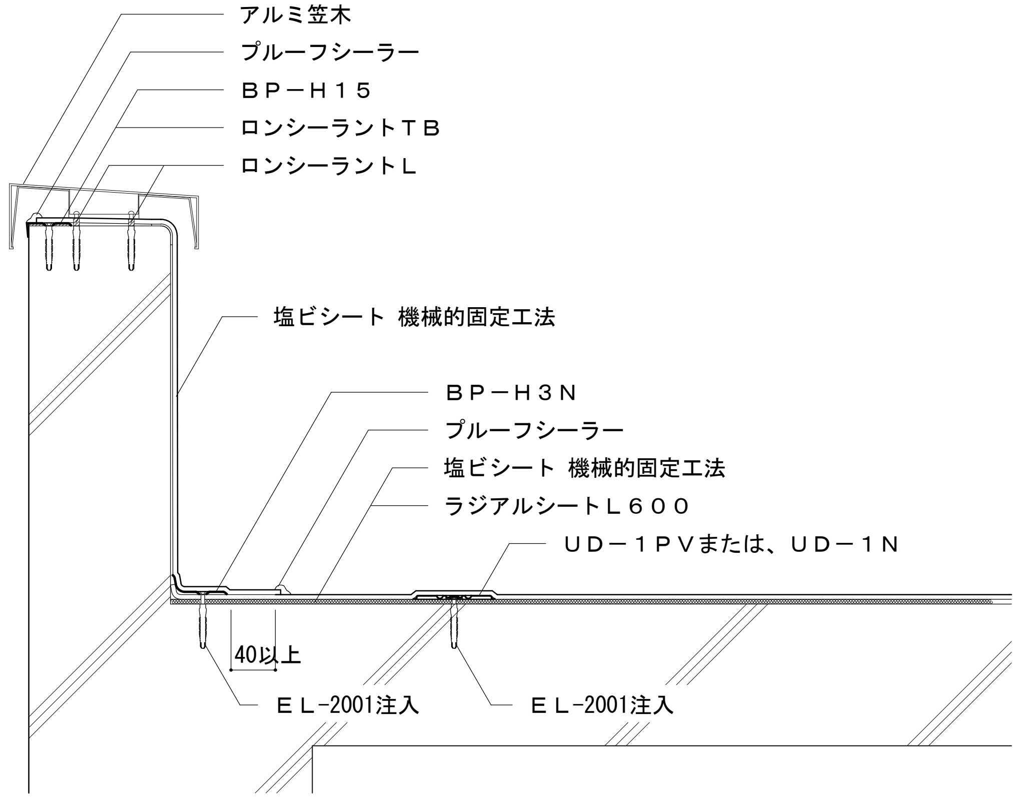
２１０仕様	下地：ＲＣ	部位：パラペット	Ｓ＝１：５	図番　４－８



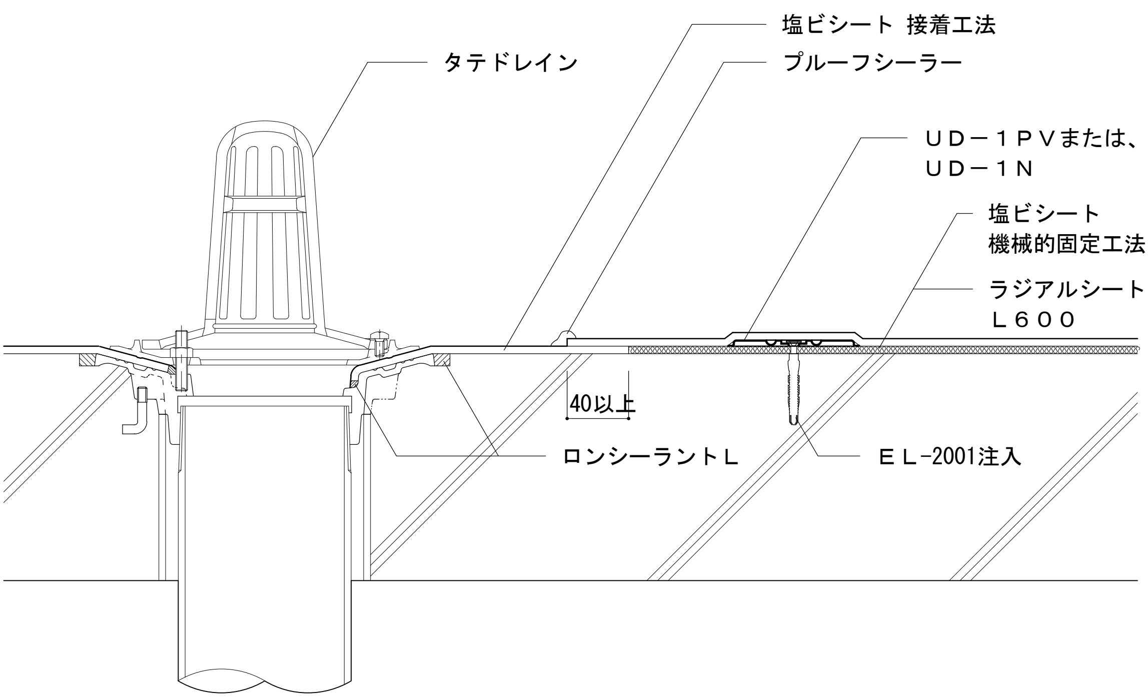
２１０仕様	下地：ＲＣ	部位：パラペット	Ｓ＝１：５	図番　４－９



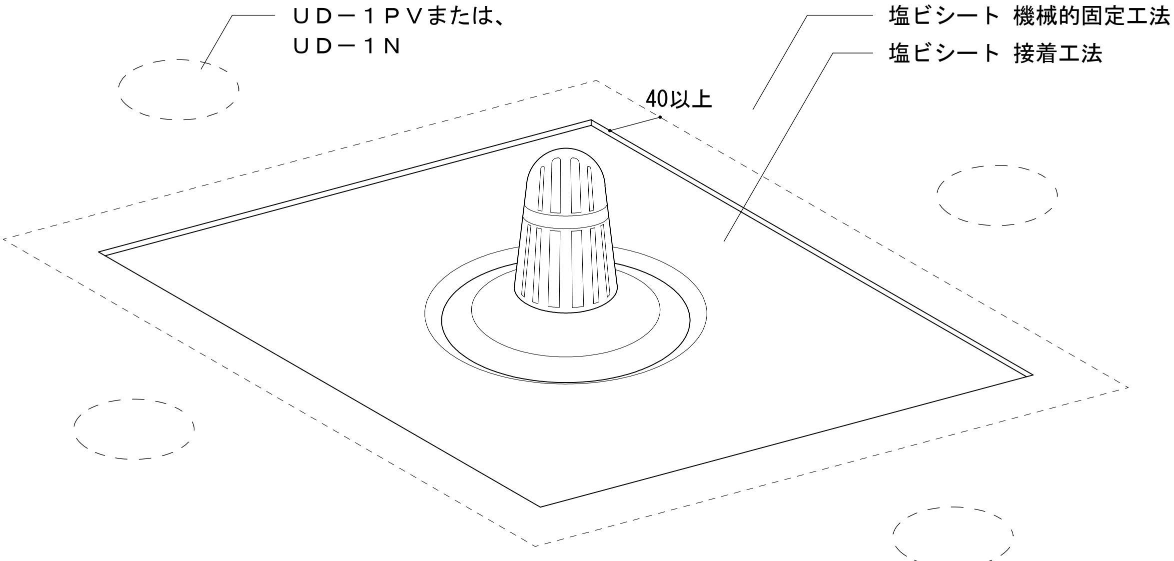
２１０仕様	下地：ＲＣ	部位：パラペット	Ｓ＝１：８	図番　４－１０



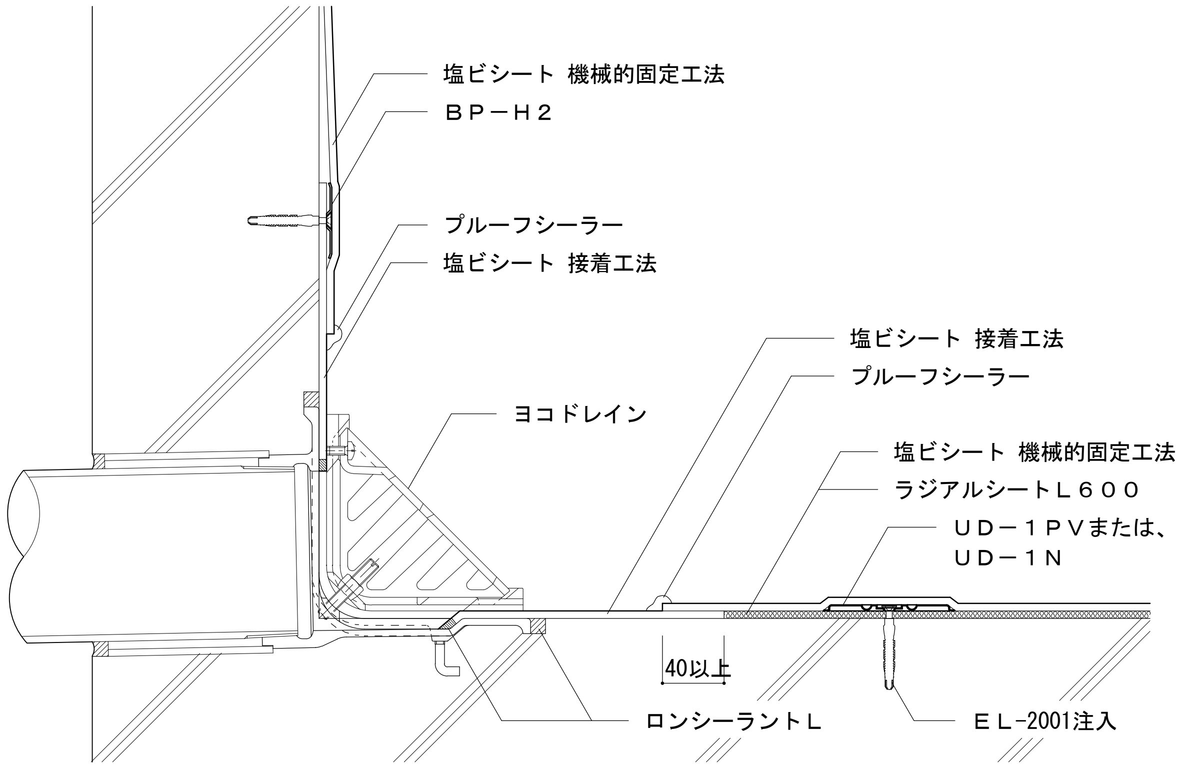
２１０仕様	下地：ＲＣ	部位：パラペット	Ｓ＝１：８	図番　４－１１



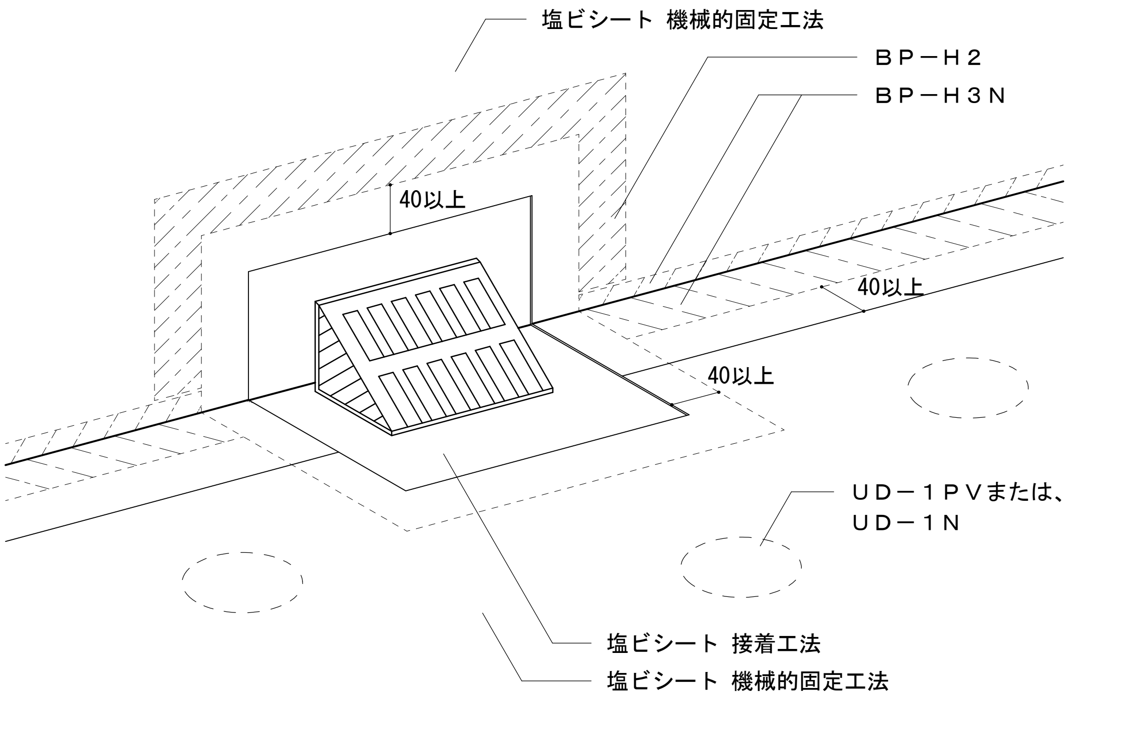
２１０仕様	下地：ＲＣ	部位：ドレイン廻り	Ｓ＝１：５	図番　４－１２



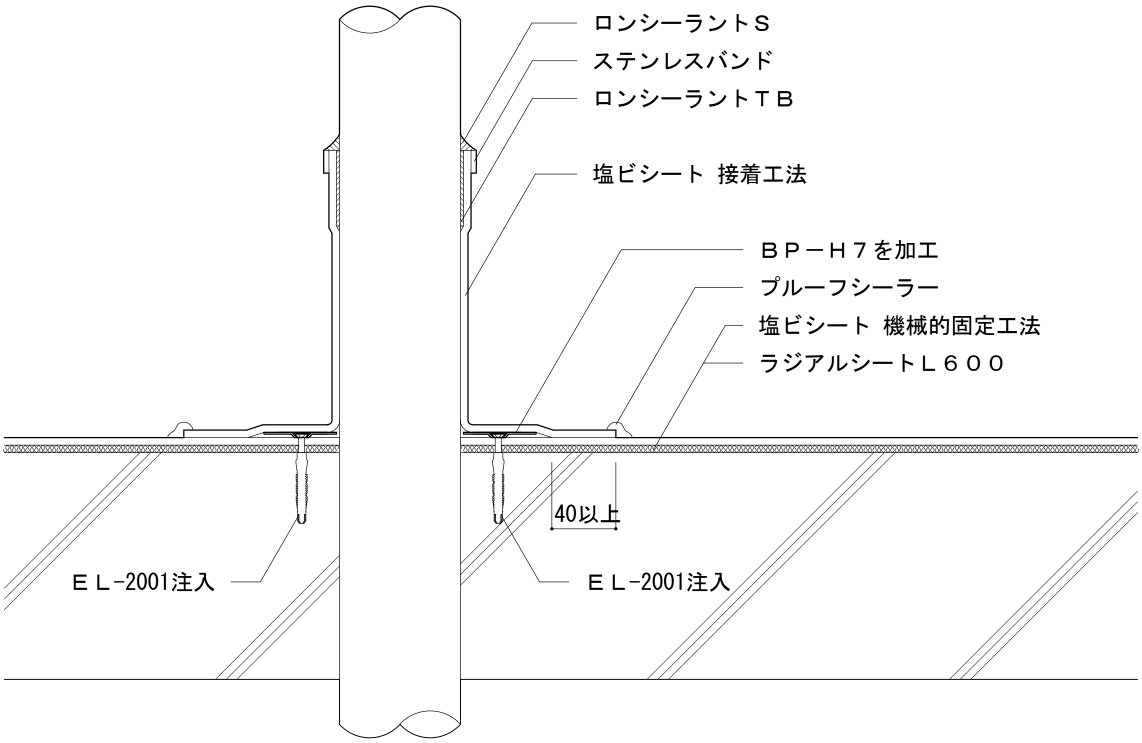
２１０仕様	下地：ＲＣ	部位：ドレイン廻りイメージ図	Ｓ＝１：５	図番　４－１３



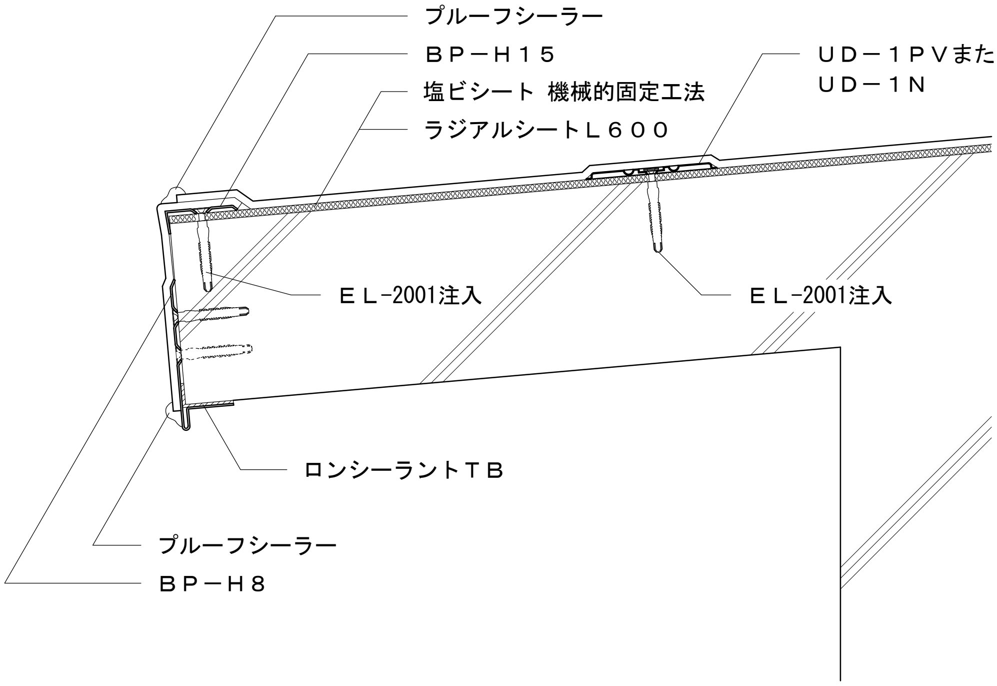
２１０仕様	下地：ＲＣ	部位：ドレイン廻り	Ｓ＝１：５	図番　４－１４



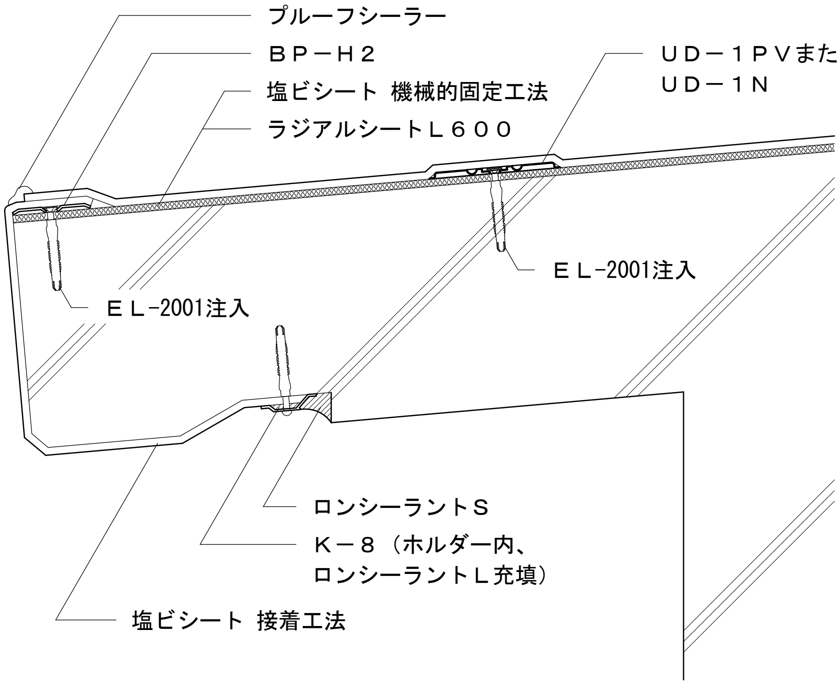
２１０仕様	下地：ＲＣ	部位：ドレイン廻りイメージ図	Ｓ＝１：５	図番　４－１５



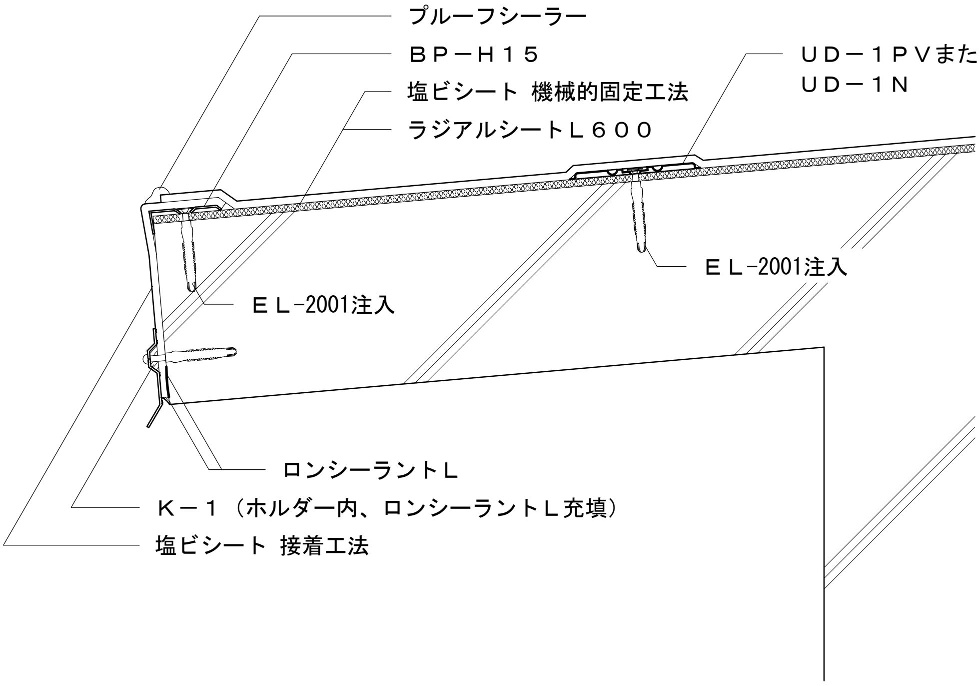
２１０仕様	下地：ＲＣ	部位：パイプ廻り	Ｓ＝１：５	図番　４－１６



２１０仕様	下地：ＲＣ	部位：軒先(寒冷地仕様)	Ｓ＝１：５	図番　４－１７

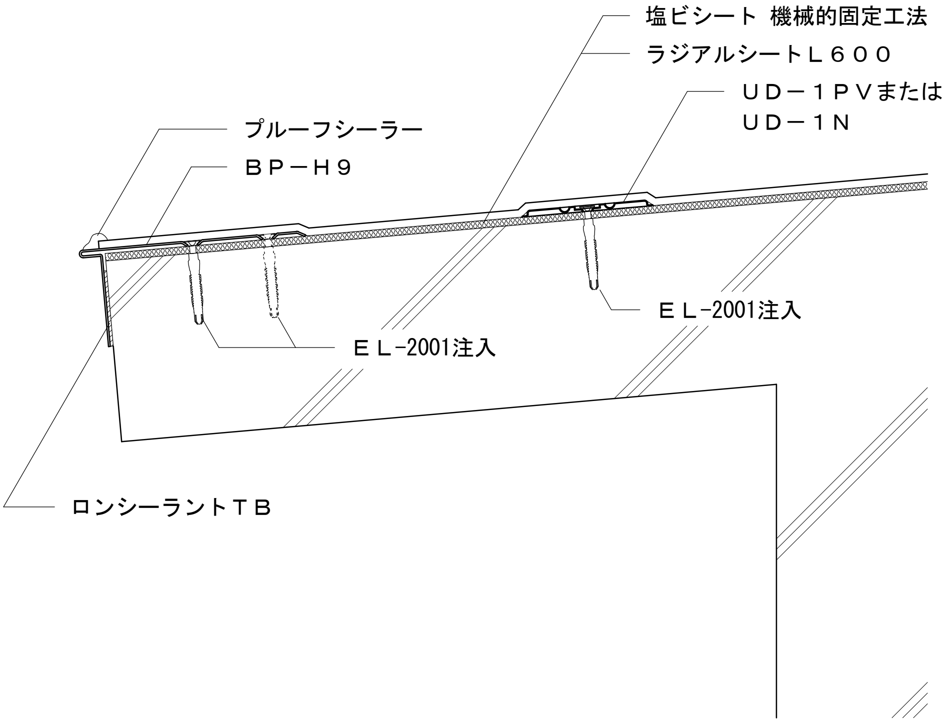


２１０仕様	下地：ＲＣ	部位：軒先(寒冷地仕様)	Ｓ＝１：５	図番　４－１８



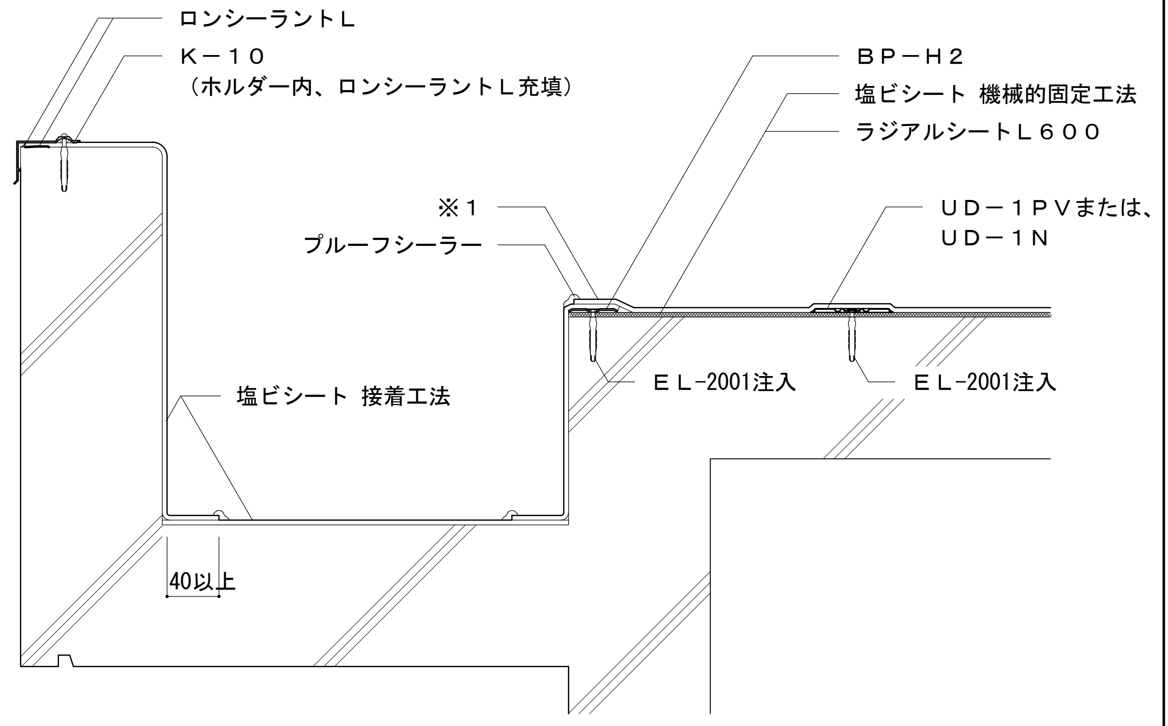
※積雪寒冷地は避けてください。

２１０仕様	下地：ＲＣ	部位：軒先	Ｓ＝１：５	図番　４－１９



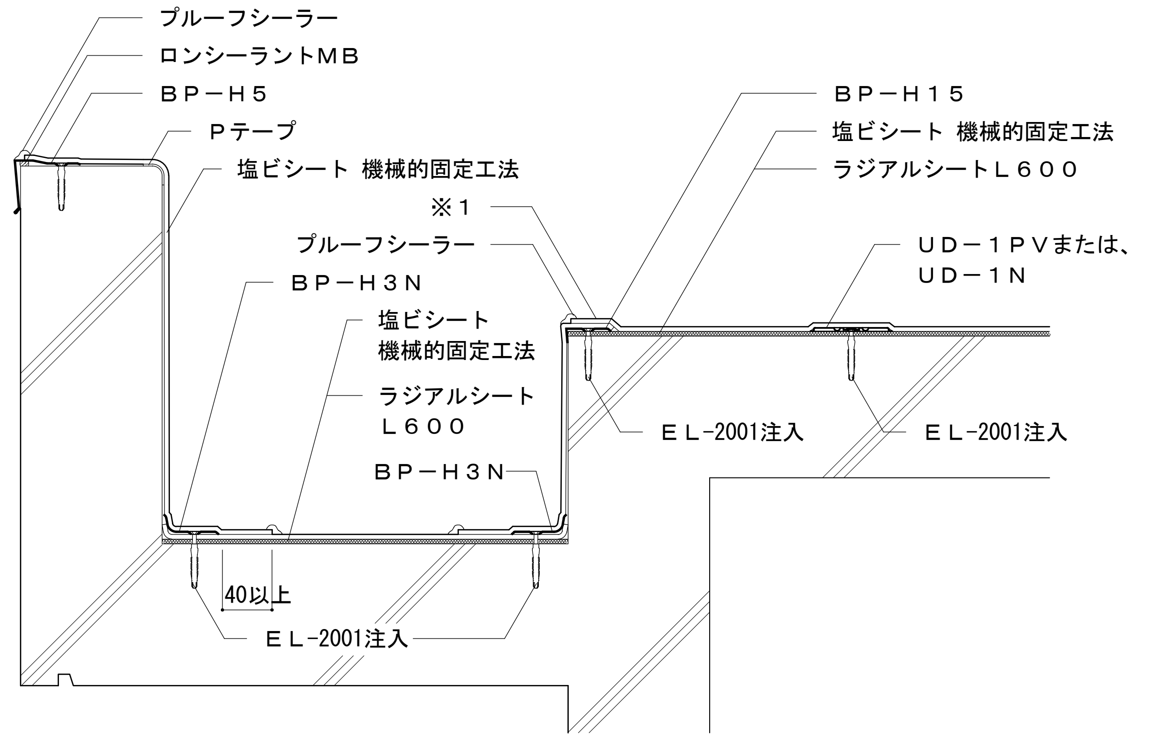
※積雪寒冷地は避けてください。

２１０仕様	下地：ＲＣ	部位：軒先	Ｓ＝１：５	図番　４－２０



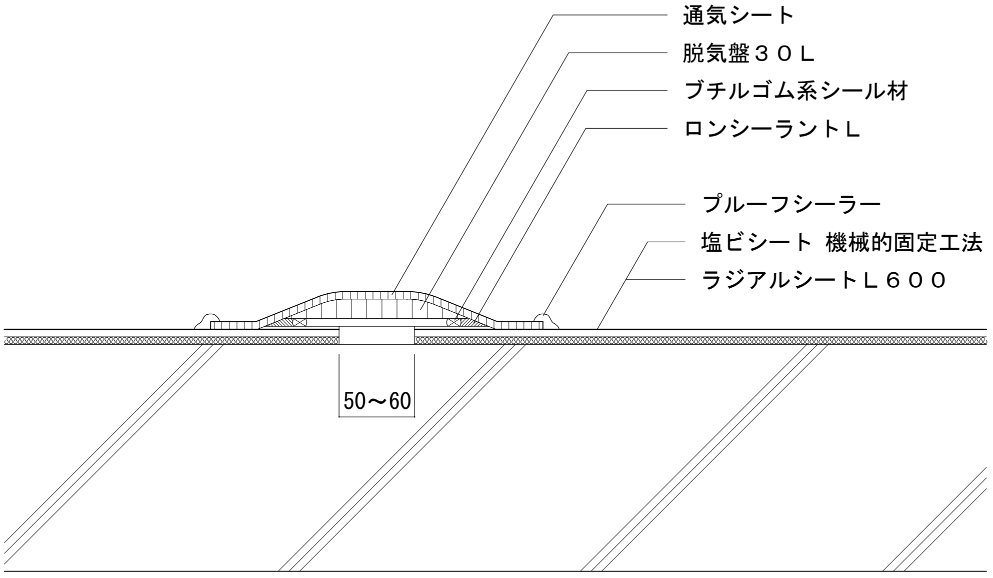
※１：側溝の幅・深さによって、接合位置は調整する。

２１０仕様	下地：ＲＣ	部位：側溝	Ｓ＝１：８	図番　４－２１

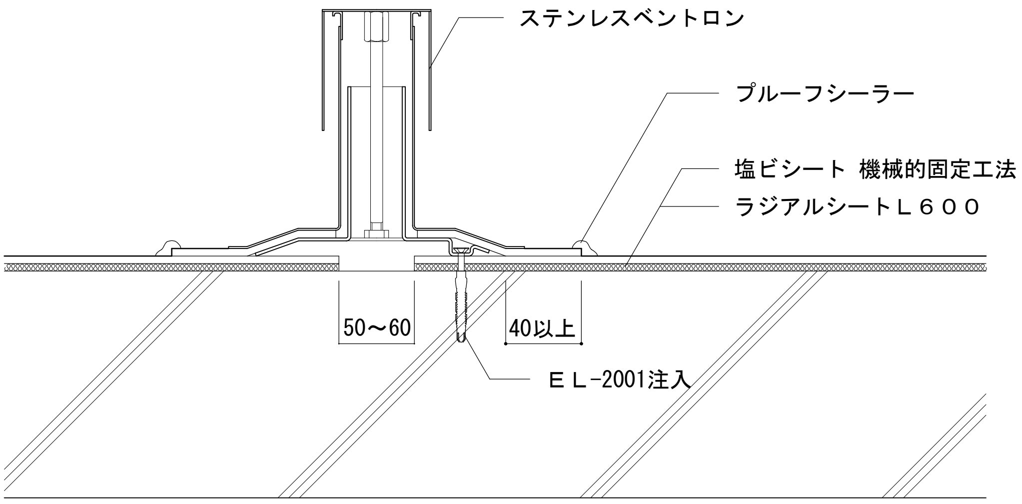


※１：側溝の幅・深さによって、接合位置は調整する。

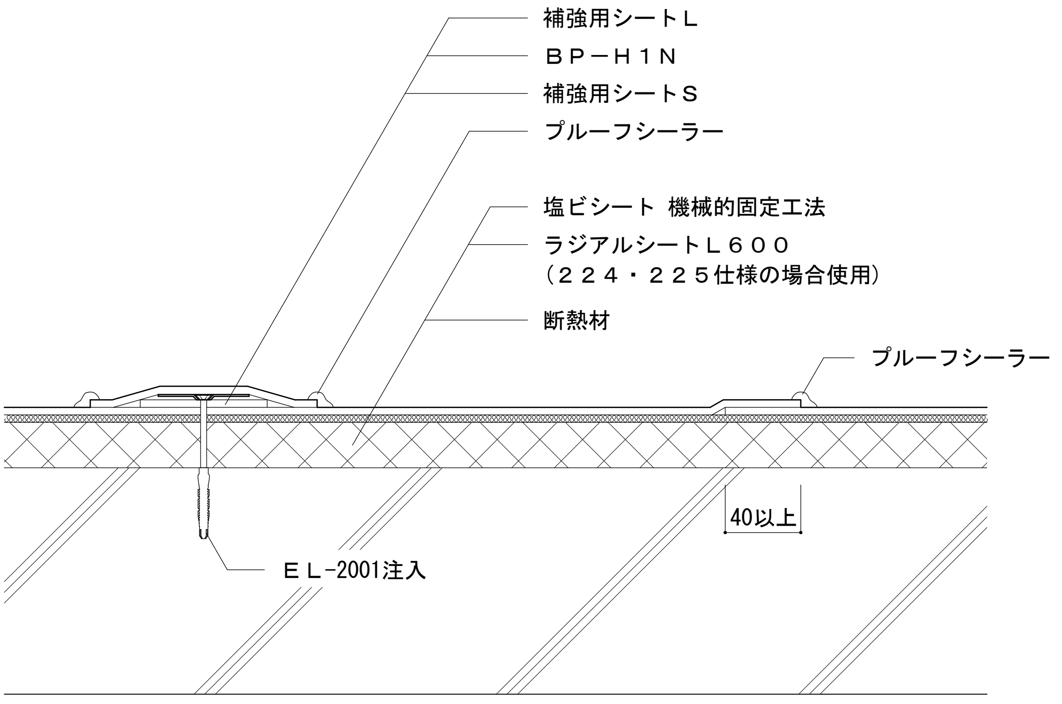
２１０仕様	下地：ＲＣ	部位：側溝	Ｓ＝１：８	図番　４－２２



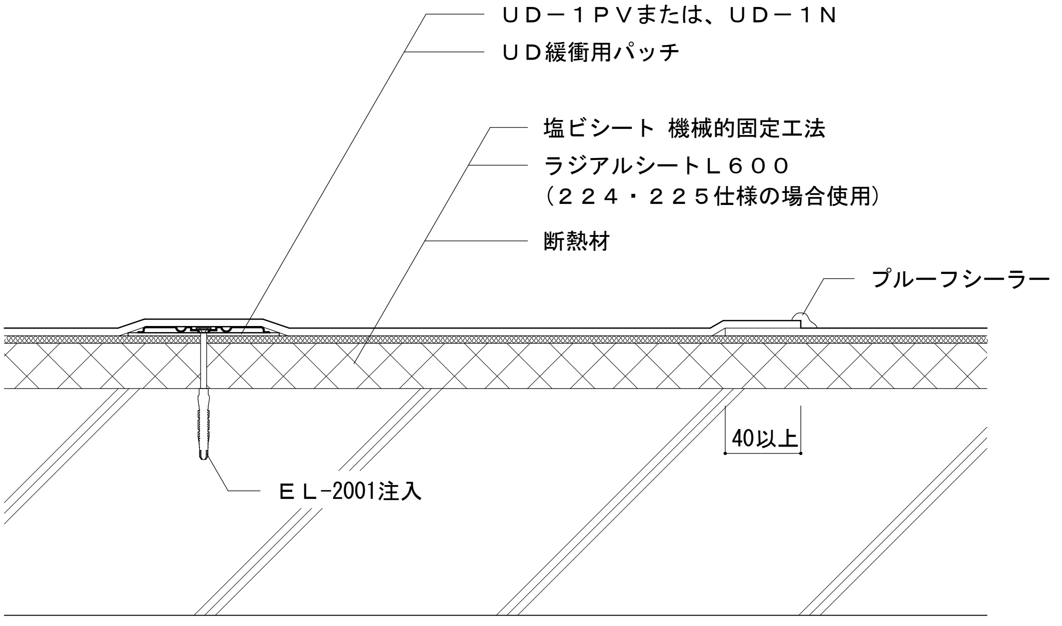
２１０仕様	下地：ＲＣ	部位：脱気盤３０Ｌ	Ｓ＝１：５	図番　４－２３



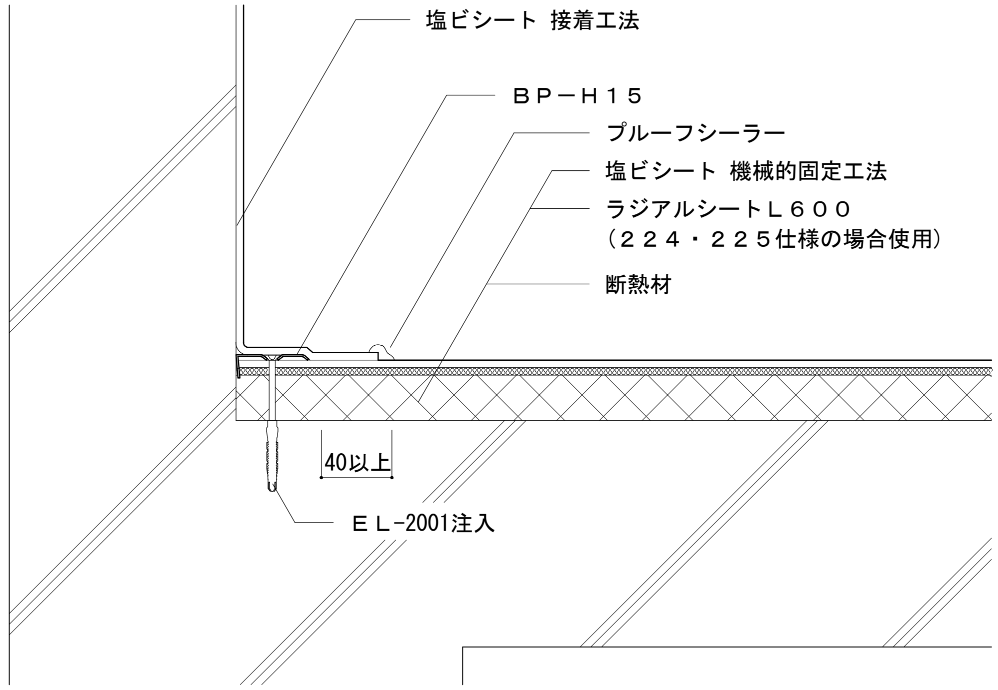
２１０仕様	下地：ＲＣ	部位：ステンレスベントロン	Ｓ＝１：５	図番　４－２４



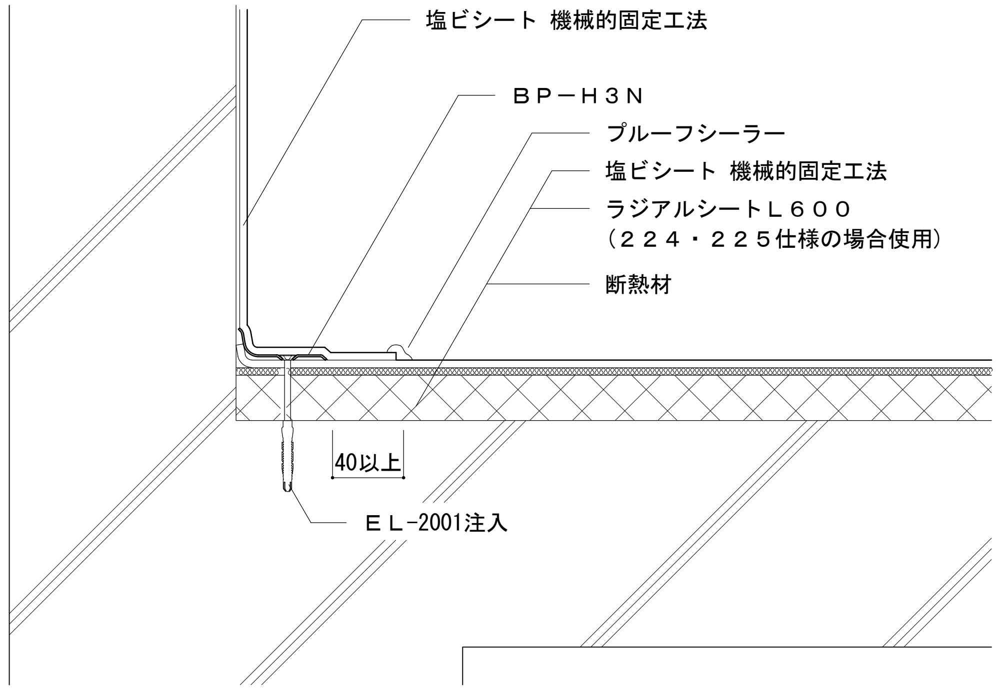
２２４・２２５・２２７仕様	下地：ＲＣ	部位：平場	Ｓ＝１：５	図番　５－１



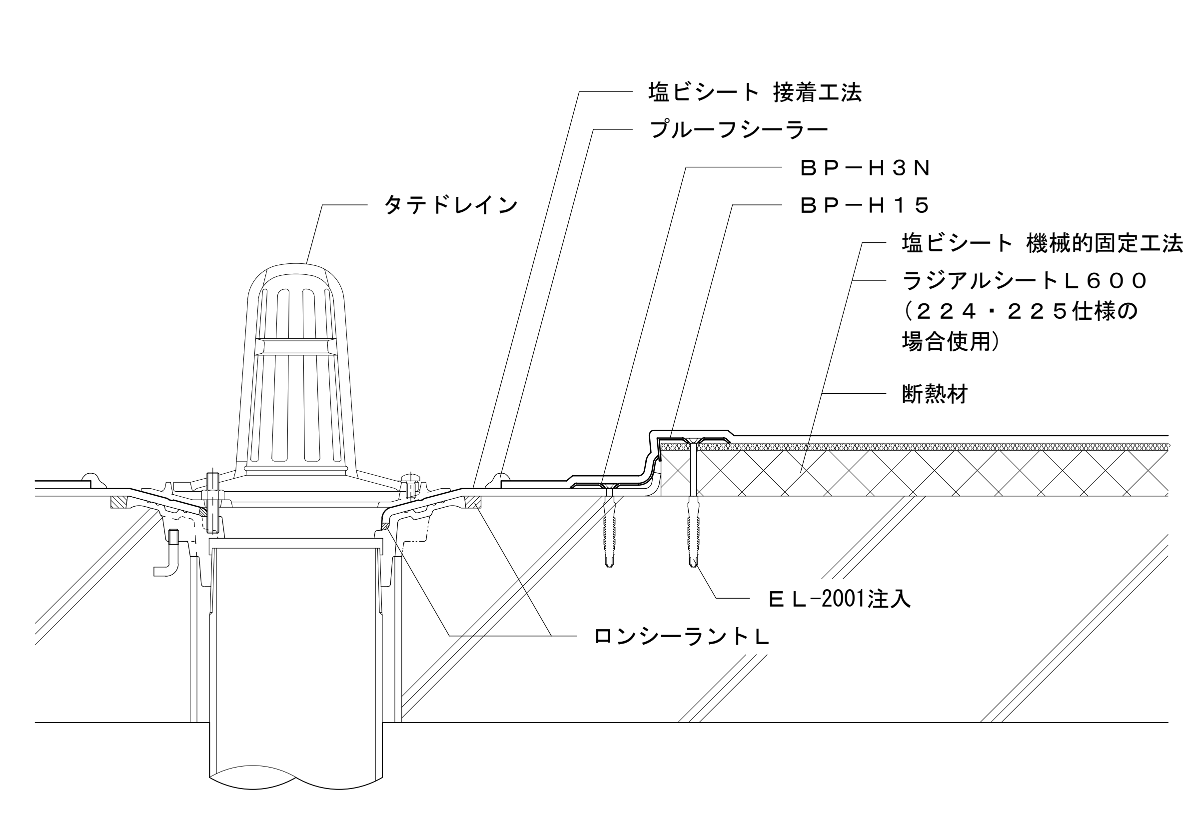
２２４・２２５・２２７仕様	下地：ＲＣ	部位：平場	Ｓ＝１：５	図番　５－２



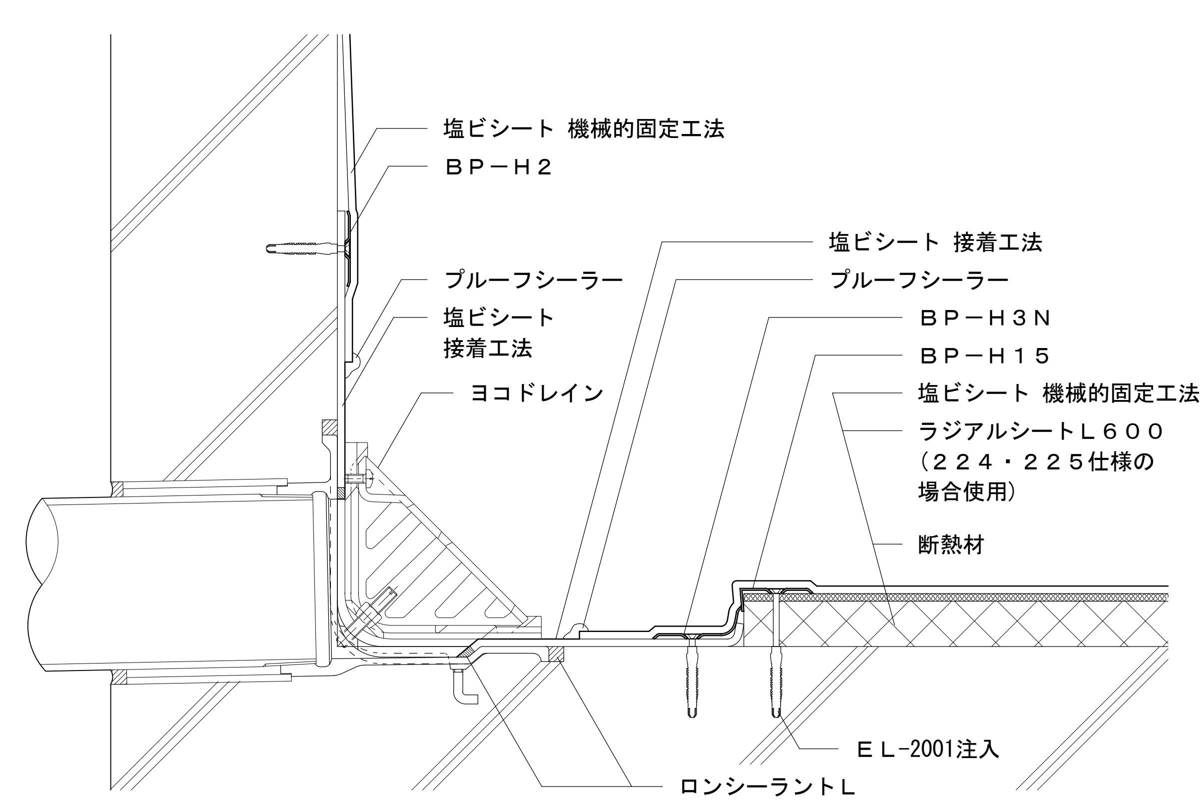
２２４・２２５・２２７仕様	下地：ＲＣ	部位：立上り角	Ｓ＝１：５	図番　５－３



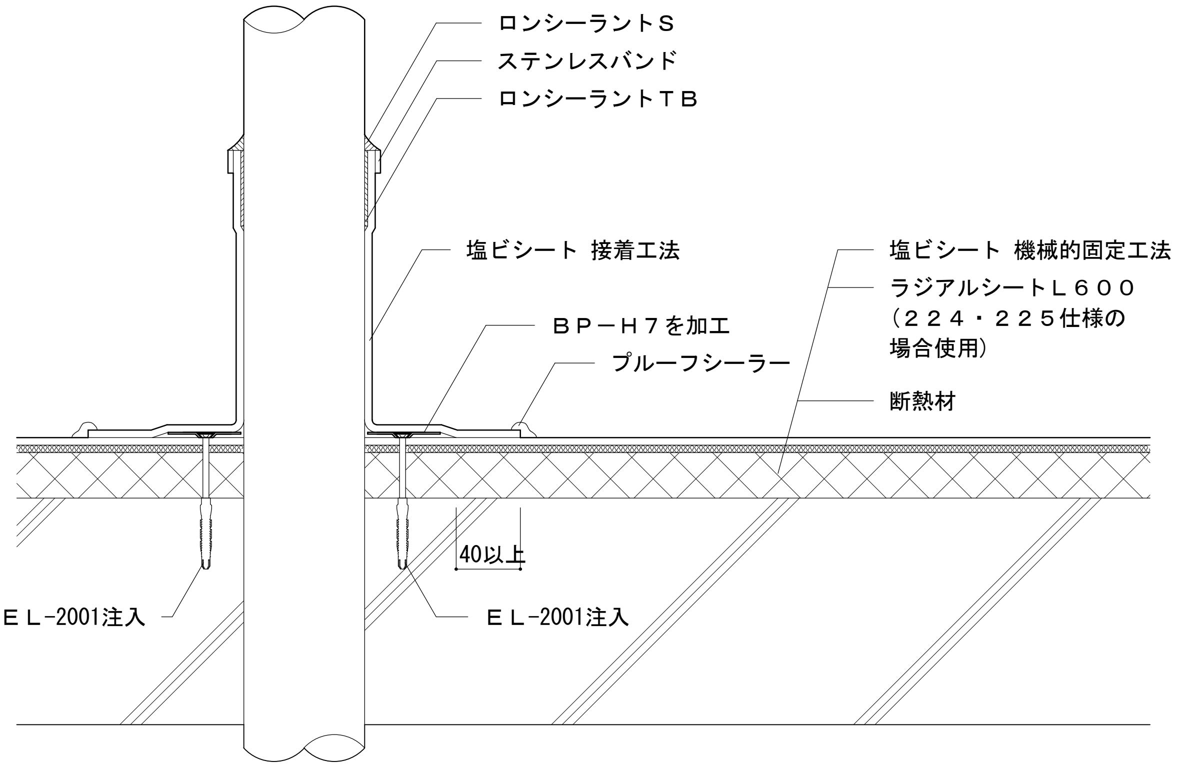
２２４・２２５・２２７仕様	下地：ＲＣ	部位：立上り角	Ｓ＝１：５	図番　５－４



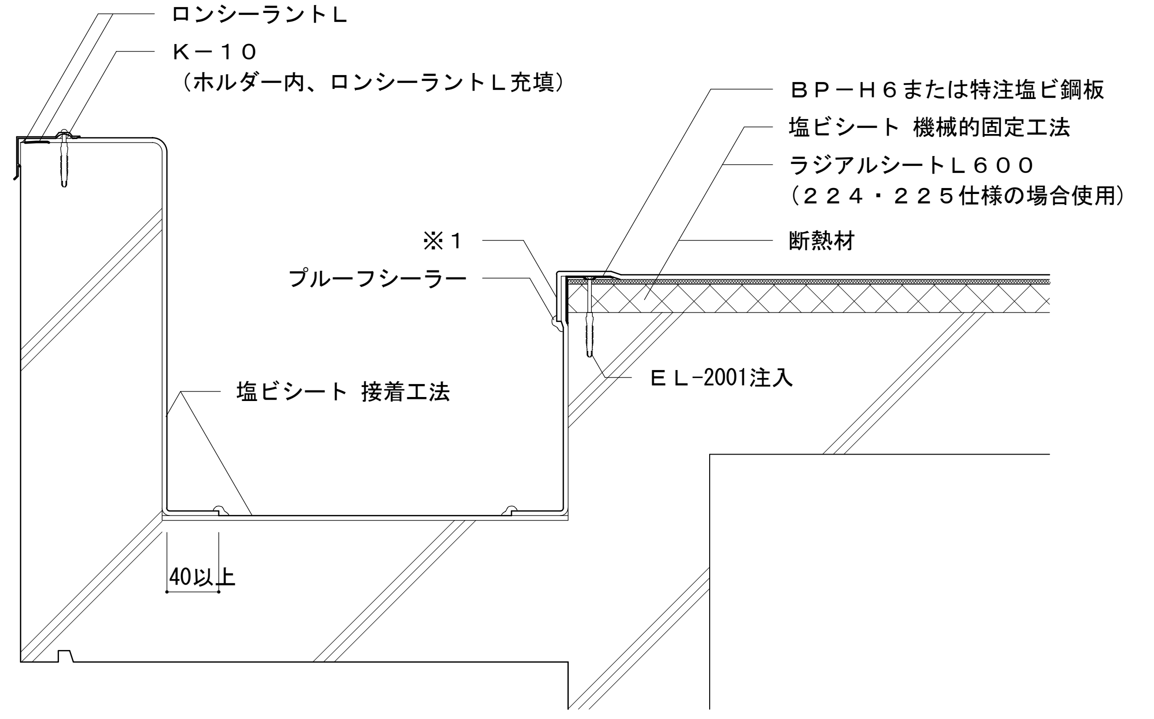
２２４・２２５・２２７仕様	下地：ＲＣ	部位：ドレイン廻り	Ｓ＝１：５	図番　５−５



２２４・２２５・２２７仕様	下地：ＲＣ	部位：ドレイン廻り	Ｓ＝１：５	図番　５−６

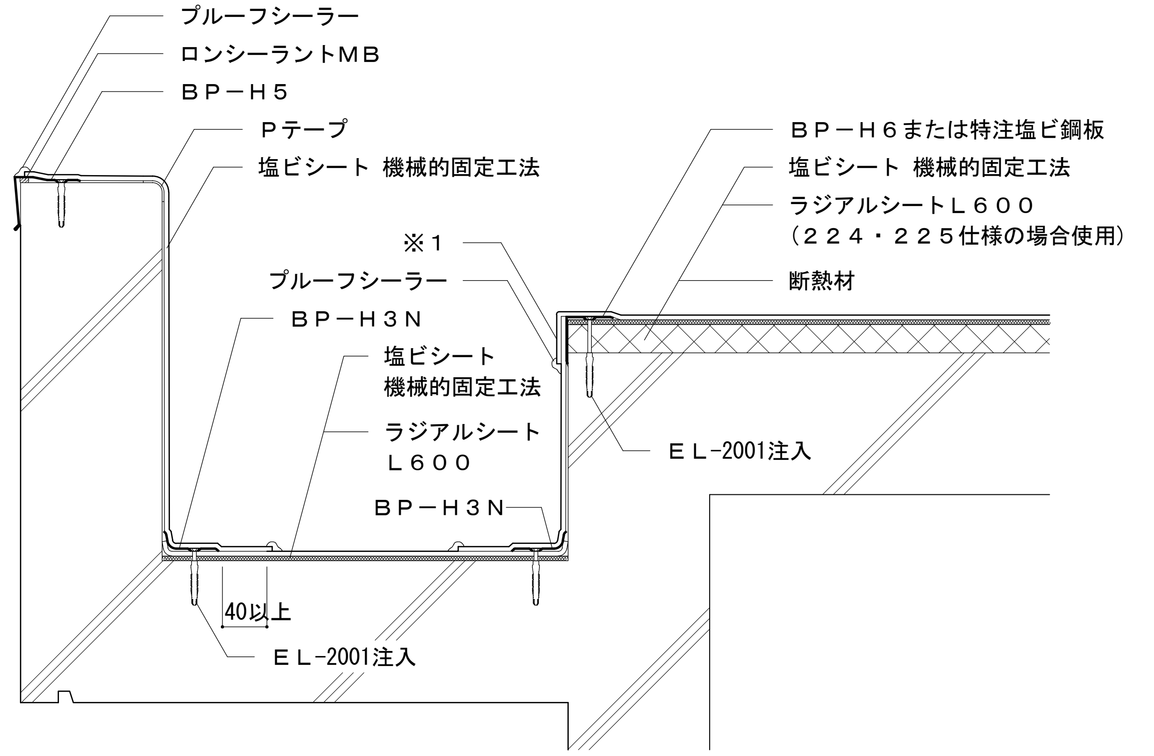


２２４・２２５・２２７仕様	下地：ＲＣ	部位：パイプ廻り	Ｓ＝１：５	図番　５－７



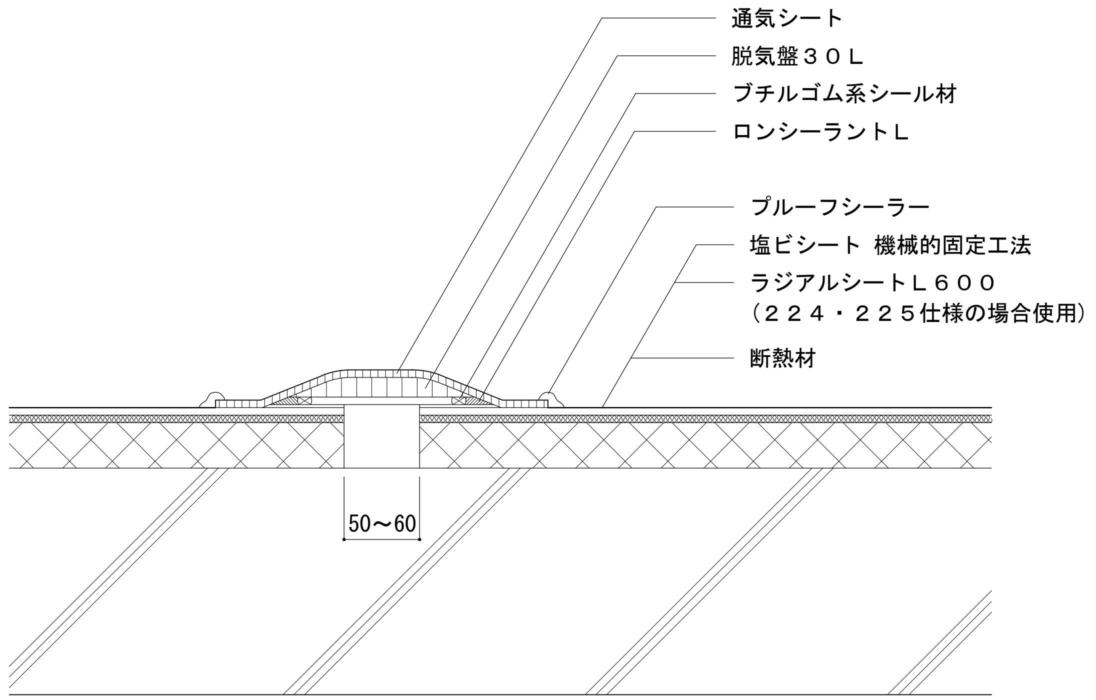
※１：側溝の幅・深さによって、接合位置は調整する。

２２４・２２５・２２７仕様	下地：ＲＣ	部位：側溝	Ｓ＝１：８	図番　５－８

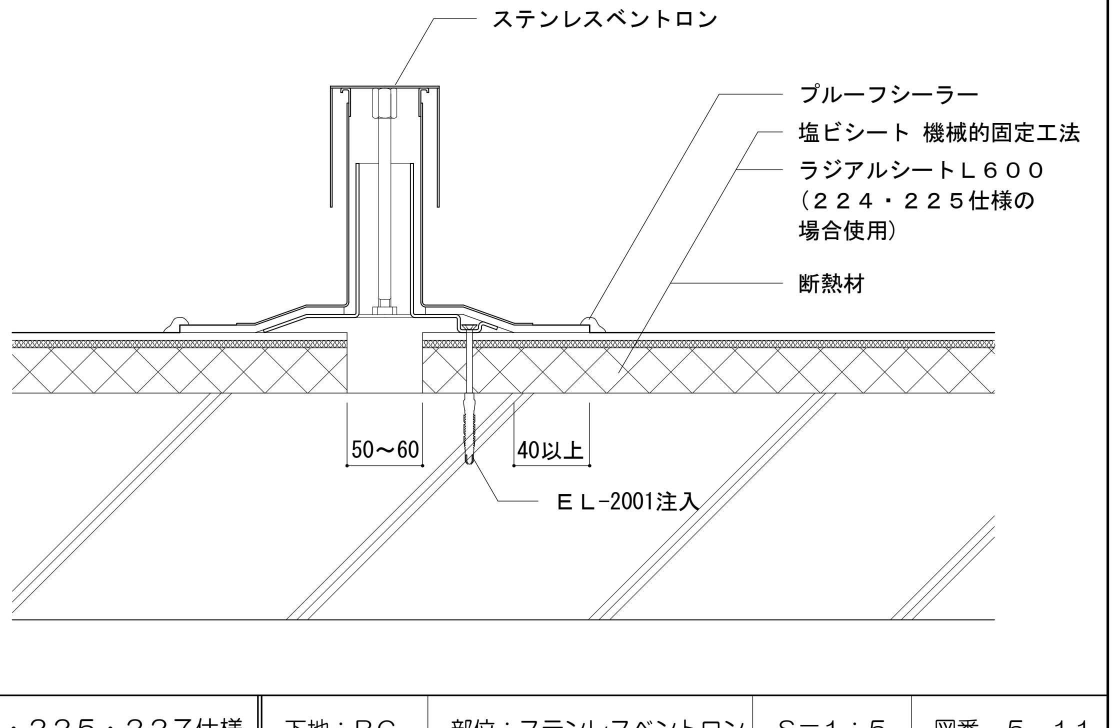


※１：側溝の幅・深さによって、接合位置は調整する。

２２４・２２５・２２７仕様	下地：ＲＣ	部位：側溝	Ｓ＝１：８	図番　５－９



２２４・２２５・２２７仕様	下地：ＲＣ	部位：脱気盤３０Ｌ	Ｓ＝１：５	図番　５－１０



２２４・２２５・２２７仕様	下地：ＲＣ	部位：ステンレスベントロン	Ｓ＝１：５	図番　５－１１

付属資料 2

● 改訂履歴

- 2006 年 9 月　PDF 版初版発行
- 2009 年 1 月　PDF 版改訂 1 版 Ver.2 発行

ロンシール工業株式会社

防水事業部	〒130-8570	東京都墨田区緑4-15-3	TEL.03-5600-1866	FAX.03-5600-1846

東日本営業部

東京営業所	〒130-8570	東京都墨田区緑4-15-3	TEL.03-5600-1866	FAX.03-5600-1846
札幌営業所	〒060-0062	札幌市中央区南二条西13-319 南大通ビル二条館6F	TEL.011-271-0411	FAX.011-271-0422
仙台営業所	〒980-0014	仙台市青葉区本町2-2-3 鹿島広業ビル3F	TEL.022-265-4771	FAX.022-265-4796
北関東営業所	〒331-0812	さいたま市北区宮原町4-15-6 第2斉藤ビル3F	TEL.048-664-1511	FAX.048-664-3431
横浜営業所	〒231-0013	横浜市中区住吉町1-14 第一総業ビル6F	TEL.045-662-7370	FAX.045-661-0860

西日本営業部

大阪営業所	〒532-0011	大阪市淀川区西中島6-9-27 新大阪メイコービル4F	TEL.06-6304-2704	FAX.06-6304-6948
名古屋営業所	〒461-0003	名古屋市東区筒井3-26-25 第29オーシャンビル9F	TEL.052-935-7063	FAX.052-937-5646
広島営業所	〒730-0004	広島市中区東白島町6-11 ホワイトハイツ1F	TEL.082-211-2700	FAX.082-222-4721
福岡営業所	〒812-0008	福岡市博多区東光2-6-6 第3フジクラビル2F201号	TEL.092-472-5857	FAX.092-473-6179

ハウス営業部

東京ハウス部	〒130-8570	東京都墨田区緑4-15-3	TEL.03-5600-1870	FAX.03-5600-1550
大阪ハウス部	〒532-0011	大阪市淀川区西中島6-9-27 新大阪メイコービル4F	TEL.06-6304-2022	FAX.06-6304-6948

販売推進部	〒130-8570	東京都墨田区緑4-15-3	TEL.03-5600-1821	FAX.03-5600-1890

ホームページアドレス **http://www.lonseal.co.jp/**

ロンプルーフ防水事業協同組合

ホームページアドレス http://www.lonproof.or.jp

事務局　〒130-0021　東京都墨田区緑4-15-3 ロンシールビル1F……TEL.03-5600-4036㈹ FAX.03-5600-4037

2009年1月版（PDF）